

Tohoku University Fact Book 2008

東北大学概要 2008



東北大学

CONTENTS

〈はじめに〉

歴史的背景	01
使命と目指す大学の姿	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
100周年記念関連事業	13

〈組 織〉

運営組織	17
機構図	18
役員・主な役職者	19
総長選考会議	22
役員会	22
経営協議会	22
教育研究評議会	22
役員・職員数	23
学部	24
大学院	25
附置研究所	27
学内共同教育研究施設等	27
特定事業組織	27
教養教育院	28
原子分子材料科学高等研究機構	28
情報シナジー機構	28
附属図書館	28
病院	29

〈学 生〉

学生数	31
入学状況	32
学部卒業生数	34
学位授与者数	34
卒業後の状況	35
産業別就職者数	36
学友会	37

〈財 務〉

平成19年度決算	39
研究費等受入状況	40
土地・建物	41

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	43
COE等	43
教育	45
寄附講座・寄附研究部門	47
産学連携ポリシー	47
産学連携	48
社会との連携協力	48

〈国際交流〉

学術交流協定締結等	51
研究者等受入状況	57
海外拠点	58
外国人留学生数	59
国際シンポジウム等開催状況	61
国際交流戦略の基本指針	61

〈キャンパス〉

施設所在地一覧	63
建物配置図	65

■ 歴史的背景(Historical Background)

東北大学は、1907年(明治40年)に、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立。設立当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の国立大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

東北帝国大学は、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、東北大学は、戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

このような精神は、第二次世界大戦、戦後の成長期を経て、グローバル化が進行する現代にも生き生きと息づいている。

2005年12月27日

■ 東北大学の使命 (Mission Statement)

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

■ 東北大学が目指す大学の姿 (Towards Tohoku University 2016)

東北大学は、その使命を果すため、今後10年間で、次のような大学になることを目指す。

〈世界最高水準の総合研究拠点の確立〉

- 自然科学、人文科学、社会科学にわたる、幅広い分野において、世界をリードする研究成果を恒常的に創造する。
- 知識の加速度的集積と知識基盤型社会の要請に応えるために、たえず最適の研究組織の編成を図る。
- 国内外の主要研究機関との研究ネットワーク連携を整備すると共に、世界的総合研究拠点としての声望・評価を確立する。

〈社会の発展と新たな知の創造を担う指導的人材の養成〉

- 教員は、最先端の研究に従事しながら、その成果を教育に反映させる。
- すべての授業を「世界最高水準の教育拠点」にふさわしい内容と方法で提供する。
- 新たな知の創造に必要な基礎知識と社会の指導者としての責任意識を涵養する教育を実施する。
- 高度の国際性、専門知識、応用能力を備えた高度専門職業人を養成する教育プログラムと組織を整備・発展させる。

〈世界と地域への貢献〉

- 研究成果を社会に普及させ、指導的人材を社会に送り出すことによって、人類社会及び地域社会の発展に寄与する。
- 資質と意欲があれば、誰もが、国籍・人種・性別・年齢・宗教・社会階層等に関わりなく、平等に、学生・職員として受け入れられる機会を与える。
- 「実学尊重」の伝統を踏まえて、産学連携を推進し、サイエンスパークを整備する。
- 市民を対象にした教育や、専門知識を活用する相談サービス等の提供を、質・量ともに飛躍的に充実させる。
- キャンパスを市民との共生の場として開放すると共に、大学所蔵の図書・学術資料・施設等の知的資源・財産の社会的有効活用を図る。

〈世界最高水準の研究・教育拠点にふさわしい文化・環境・経営体制の整備〉

- 世界最高水準の研究・教育を活性化するような学内の文化を保持・発展させる。
- キャンパスの景観の美的統一と自然環境との調和を図り、知的創造活動にふさわしい雰囲気醸出する。
- 世界最高水準の研究・教育活動を柔軟且つ機動的に展開するのに必要な施設、人的・物的・財政的基盤及び経営体制を整える。

～世界リーディング・ユニバーシティに向けて～

東北大学は、1907年（明治40年）の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造してきました。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献してきました。その歴史は、東北大学に関わる人々のためめ挑戦を通して築き上げられてきたものです。



いま、人類社会は地球規模で克服すべき様々な複雑かつ困難な課題に直面しています。東北大学は100年という歴史の中で継承してきた知の蓄積と、絶えざる研究・教育の創造を通して、前途に横たわる諸課題に堂々と立ち向かう先導力を持つ「世界リーディング・ユニバーシティ」になる決意をしています。

こうした決意をもってこれからの東北大学について考えると、「Challenge（挑戦）」、「Creation（創造）」、「Innovation（革新）」という3つのキーワードを基軸に行動することが重要と考えます。そして核になるのは、これからの人類社会の形成に向けて卓越性の追求をもって取り組む「挑戦」の精神です。

東北大学は「知の継承体」として、不撓不屈な挑戦の精神を持つ人材を数多く輩出し、更には国際社会で指導的な役割を果たす人材を各方面に送り出すことによって、人類社会に対する貢献を果たしていきます。

また、東北大学は「知の創造体」として、挑戦の精神をエネルギーに世界最高水準の知を「創造」し、その知を実際に活用することによって、人類社会に対する貢献を果たしていきます。特に、人類社会の重要課題である地球環境問題、エネルギー問題、食糧問題、生命・福祉問題などを解決する「革新」を求めて、横断的学際化（Transdiscipline）を重視した融合領域分野における研究に挑戦していきます。

そして、東北大学は内外に開かれた「知の経営体」として、目標達成のための戦略を立て、学内外の様々な英知を結集して努力していくことにより、本学が培った実力を如何なく発揮し、世界最高水準の研究中心大学として輝かしい前途を切り拓いていきます。

こうした理念のもと、「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指した戦略実行プランとして、東北大学は2007年3月に「井上プラン2007」を策定し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営という5つの柱ごとにアクションプランをとりまとめました。

その公表から1年。この間の本学の取組をみると、着実に進捗しているプランが数多くあります。一例を挙げると、教育面においては、海外インターンシップ制度の積極的導入を含めて、東北大学独自の新たな教養教育カリキュラムの構築とそのための実施体制の整備を進めています。

研究面においては、卓越した知識と創造的総合知を備えた、21世紀の学術をリードする研究者を育成する「国際高等研究教育機構」を創設しました。また、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに提案した国際高等原子分子材料研究拠点構想が採択され、「原子分子材料科学高等研究機構」を発足させました。

さらに、産学連携事業等を通じた新実業の創出の先導、世界に開かれた国際水準キャンパスの整備、国際競争力を支える人事システムの構築、東北大学基金の創設など、オリジナリティに溢れた取組を進めています。このような取組は、本学ならでのことと誇りを感じており、本学の教職員、学生、そして同窓生が相互に切磋琢磨をして一体となってその力を発揮していることの表れと自負しています。

“2008年”、東北大学は新たな100年の歴史の創造に向けて確かな一歩を踏み出しました。と同時に、大学を取り巻く変化とスピードがますます加速する時代の中で、社会から知の拠点として人類社会への貢献を委託されている私たちは、堅忍不拔な努力と真摯な研鑽によって絶えず新たな研究・教育を創造し、自ら変化・進歩し続ける必要があります。

これからの東北大学が果たすべき使命及び活動を皆様にご理解いただくとともに、多くの方々と共に挑戦していくことにより、社会から信頼、尊敬、そして愛情を受けられる大学として人類社会の発展に貢献して参る所存です。

2008年6月
東北大学総長 井上明久

歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	沢柳政太郎	明治44(1911)年3月24日～ 大正2(1913)年5月8日
第2代	北条時敬	大正2(1913)年5月9日～ 大正6(1917)年8月24日
(事務取扱)	小川正孝	大正6(1917)年8月25日～ 大正6(1917)年10月14日
第3代	福原鏝二郎	大正6(1917)年10月15日～ 大正8(1919)年6月20日
第4代	小川正孝	大正8(1919)年6月21日～ 昭和3(1928)年6月14日
第5代	井上仁吉	昭和3(1928)年6月15日～ 昭和6(1931)年6月14日
第6代	本多光太郎	昭和6(1931)年6月15日～ 昭和15(1940)年5月30日
第7代	熊谷岱蔵	昭和15(1940)年5月31日～ 昭和21(1946)年2月11日
第8代	佐武安太郎	昭和21(1946)年2月12日～ 昭和24(1949)年3月31日
第9代	高橋里美	昭和24(1949)年4月1日～ 昭和32(1957)年6月30日
第10代	黒川利雄	昭和32(1957)年7月1日～ 昭和38(1963)年6月30日
第11代	石津照璽	昭和38(1963)年7月1日～ 昭和40(1965)年10月4日

代数	氏名	在任期間
(事務取扱)	元村 勲	昭和40(1965)年10月5日～ 昭和40(1965)年11月19日
第12代	本川弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年2月2日
(事務取扱)	水野弥彦	昭和46(1971)年2月3日～ 昭和46(1971)年4月30日
第13代	加藤陸奥雄	昭和46(1971)年5月1日～ 昭和52(1977)年4月30日
第14代	前田四郎	昭和52(1977)年5月1日～ 昭和58(1983)年4月30日
第15代	石田名香雄	昭和58(1983)年5月1日～ 平成元(1989)年4月30日
第16代	大谷茂盛	平成元(1989)年5月1日～ 平成2(1990)年9月30日
(事務取扱)	吉永 馨	平成2(1990)年10月1日～ 平成2(1990)年11月5日
第17代	西澤潤一	平成2(1990)年11月6日～ 平成8(1996)年11月5日
第18代	阿部博之	平成8(1996)年11月6日～ 平成14(2002)年11月5日
第19代	吉本高志	平成14(2002)年11月6日～ 平成18(2006)年11月5日
第20代	井上明久	平成18(2006)年11月6日～



初代 沢柳政太郎



第2代 北条時敬



第3代 福原鏝二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志

沿革図

はじめて

明治9(1876)年8月
札幌農学校

明治40(1907)年 創立
農科大学
明治40(1907)年9月
東北帝国大学
明治40(1907)年6月

大正7(1918)年4月
分離独立・北海道帝国大学
大正8(1919)年4月
大学令

昭和22(1947)年10月
東北大学
昭和24(1949)年5月
新制大学

明治44(1911)年1月
理科大学

大正8(1919)年4月
理学部

明治20(1887)年8月
第二高等学校医学部

明治34(1901)年4月
仙台医学専門学校

明治45(1912)年4月
医学専門部

大正4(1915)年7月
医科大学
大正7(1918)年4月
廃止

大正8(1919)年4月
医学部

昭和14(1939)年5月
臨時附属医学専門部

昭和19(1944)年3月
附属医学専門部

明治39(1906)年4月
仙台高等工業学校

明治45(1912)年4月
工学専門部

大正8(1919)年5月
工学部

大正10(1921)年4月
分離独立・仙台高等工業学校

昭和19(1944)年4月
仙台工業専門学校



正門(昭和初期)



史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月
農学部

大正11(1922)年8月
法学学部

昭和24(1949)年4月
3学部に分立

明治20(1887)年4月
第二高等学校

明治27(1894)年6月
第二高等学校大学予科

大正8(1919)年4月
第二高等学校

昭和24(1949)年5月
教育学部

昭和24(1949)年5月
包括
昭和25(1950)年3月
廃止

昭和24(1949)年6月
分校第一教養部

昭和24(1949)年6月
分校第二教養部

昭和24(1949)年6月
分校第三教養部

明治19(1886)年4月
宮城県尋常師範学校

明治31(1898)年4月
宮城県師範学校

大正2(1913)年4月
宮城県女子師範学校

大正15(1926)年4月
宮城県女子専門学校

昭和18(1943)年4月
宮城県師範学校

昭和24(1949)年5月
併合

昭和24(1949)年5月
包括

昭和24(1949)年6月
分校教育教養部

昭和32(1957)年4月
北分校に改称

昭和20(1945)年4月
宮城青年師範学校

昭和24(1949)年6月
包括

大正8(1919)年5月
附属鉄鋼研究所

大正11(1922)年8月
金属材料研究所

昭和16(1941)年12月
抗酸菌病研究所

昭和18(1943)年10月
高速力学研究所

昭和10(1935)年9月
附属電気通信研究所

昭和19(1944)年1月
電気通信研究所

昭和14(1939)年8月
農学研究所

昭和16(1941)年3月
選鉱製錬研究所

昭和18(1943)年1月
科学計測研究所

昭和18(1943)年10月
航空医学研究所

昭和21(1946)年1月
廃止

昭和19(1944)年1月
非水溶液化学研究所

昭和20(1945)年1月
硝子研究所(ガラス研究所)



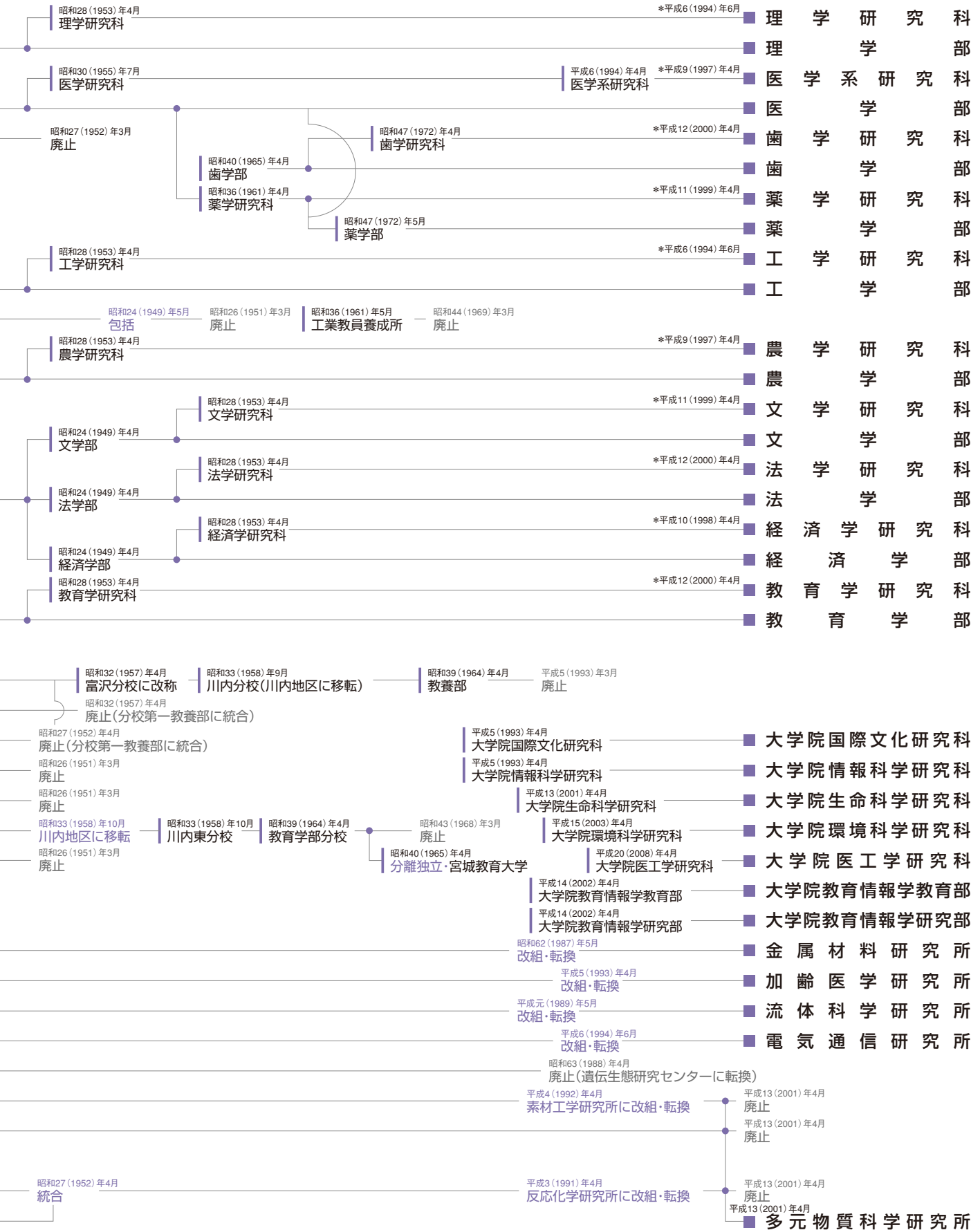
片平キャンパス 本部棟

(平成20年4月現在)

昭和28(1953)年4月 新制大学院 昭和三十二(1957)年 創立50周年 昭和五十七(1982)年 創立75周年 昭和六十二(1987)年 創立80周年 平成十六(2004)年4月 国立大学法人

東 北 大 学

はつめに



* 大学院重点化時期

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(平成20年5月現在)

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	部局(誉博…名誉博士)	受賞理由
1987年	ハンス・ハインリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイリ	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学研究科(客)、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受章	文化功労者	氏名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロンが発見等の極短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晚翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	抗酸菌研究所	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀四郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転断層撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
-	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
-	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
-	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
-	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
-	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
-	昭和40年	真嶋正市	理学部	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
-	昭和45年	渡辺寧	電気通信研究所	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
-	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
-	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
-	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
-	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
-	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
-	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
-	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
-	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
-	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
-	平成12年	増本健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
-	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
-	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
-	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
-	平成18年	伊藤英覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
-	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
-	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第4回 大正3年	日下部 四郎太	理学部	岩石の力学的研究
第6回 大正5年	本多 光太郎	金属材料研究所	鉄に関する研究
第7回 大正6年	真島 利行	理学部	漆の主成分に関する研究
○第8回 大正7年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラヴォン体の研究
○第9回 大正8年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第9回 大正8年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△第17回 昭和2年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○第18回 昭和3年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和6年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回 昭和6年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△第22回 昭和7年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△第23回 昭和8年	野村 博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回 昭和9年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	α-Amidoazotoluolの経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鑄鉄の研究
○第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	薑毒の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稻冷害の生理学的研究
○第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理学部	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	高速力学研究所	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究(共同研究)
○第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	多田 等観	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関(共同研究)
○第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第50回 昭和35年	神田 英蔵	金属材料研究所	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究

*9ページにつづく

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法学部	西ドイツの精神構造
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農学部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山本 義一	理学部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広中 平祐	理学部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀 武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡本 耕造	医学部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山 善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西澤 潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北住 敏夫	文学部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口 陽一	法学部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊藤 英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚志	理学部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第67回 昭和52年	高橋 信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島田 謹二	法文学部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊一	理学部	磁気圏擾乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤 武敏	法文学部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀谷 哲治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木下 彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※ 第72回 昭和57年	角谷 静夫	理学部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石田 名香雄	医学部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩崎 俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪井 善勝	工学部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第78回 昭和63年	沼田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※ 第79回 平成元年	日沼 頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※ 第80回 平成2年	中西 香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工学部(併)	火災の構造および基礎的特性的研究
第82回 平成4年	鈴木 秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山本 肇	歯学部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田 啓也	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊地 吾郎	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第84回 平成6年	櫻井 英樹	理学部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸山 雍成	文学部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原 高嶺	法学部	国際司法裁判制度
※ 第92回 平成14年	飯島 澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第92回 平成14年	栗原 康	理学部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井上 明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向 康吉	農学部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡本 宏	医学部	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤 實	医学部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第94回 平成16年	安元 健	農学部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大野 英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴木 厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加藤 康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理学部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジソンバラ公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

日本学士院会員

選定年月日	氏名	部局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部長 克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 俣祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱藏	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 現之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法文学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法文学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部

選定年月日	氏名	部局
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法文学部
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	法文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	工学部
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法文学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	法文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	法文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法文学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法文学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	松本 達郎	農学部
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 13日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料『金属ガラス』を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成19年度

氏名	職名等	受賞理由
張 山 昌 論	情報科学研究科准教授	全学教育の「情報基礎」において、情報科学・情報技術に対する知的好奇心を刺激する優れた授業を実践し、顕著に高い授業評価を維持した。
馬 場 護	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター教授	放射線・RIの取扱いの基礎、X線の取扱い、SOR(放射光)の取扱いについて、全学の教職員・大学院生・学部学生に対する教育訓練を指導的に行い、放射線安全管理教育に大きく貢献した。

平成18年度

氏名	職名等
今 井 秀 雄	情報科学研究科助教授
佐々木 伸 樹	理学研究科助手
大学院生態学合同講義世話人	生命科学研究科

平成17年度

氏名	職名等
邑 本 俊 亮	情報科学研究科助教授
小野田 泰 明	工学研究科助教授
情報探索マニュアル作成ワーキンググループ	附属図書館

総長賞受賞者 平成19年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

倉本 大樹 文学部	池田 千絵美 薬学部
西野入 仁志 文学部	石井 啓一 工学部
早川 奈都子 教育学部	小笠原 直也 工学部
高田 杏奈 法学部	菊地 俊光 工学部
竹内 友紀子 法学部	黒瀬 健介 工学部
西村 敬哉 経済学部	島田 友華 工学部
古川 雄一郎 経済学部	高橋 宏和 工学部
村上 廣行 経済学部	高橋 容之 工学部
安齋 千隼 理学部	宮尾 健士 工学部
猪俣 翔 理学部	佐藤 優介 農学部
成田 貴宏 理学部	佐藤 洋介 農学部
関 志野 医学部	
日高 高德 医学部	
川久保 直美 歯学部	

修士

若生 幸也 法学研究科(専門職)	本田 義知 歯学研究科
貝塚 公一 理学研究科	小原 拓 薬学研究科
菅原 徹也 理学研究科	阿部 博志 工学研究科
佐上 瑤子 工学研究科	上岡 健太 工学研究科
高橋 健二 工学研究科	小川 修一 工学研究科

博士

荒木 剛 文学研究科	村越 道生 工学研究科
石津 憲一郎 教育学研究科	中畑 崇 農学研究科
三嶋 恒平 経済学研究科	Khajikyan Ruzan 国際文化研究科
市村 晃一 理学研究科	安田 宗樹 情報科学研究科
小西 真広 理学研究科	北澤 大典 生命科学研究科
阿部 修士 医学系研究科	常包 将史 環境科学研究科
中野 誠 医学系研究科	植木 克美 教育情報学部

学友会長賞受賞者 平成19年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏名	部・団体名
岡村 雅普	弓道部
才田 直人	硬式庭球部
内田 有紀	少林寺拳法部

氏名	部・団体名
佐藤 紘子	少林寺拳法部
鈴木 理明	卓球部
長谷川 麻弥	トリアスロン部

学内表彰

沢柳賞受賞者

「沢柳賞（東北大学男女共同参画奨励賞）」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

平成19年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
齊藤綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門	インドネシアの地域保健活動の成立と展開－地域社会からみた「開発の時代」－
阿部未央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)	イギリスにおけるパートタイム労働の平等法理－男女差別からのアプローチ－
工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会 同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門	機械工学系男女共同参画推進委員会の設立と工学分野における先導的活動
尾崎博美 八木美保子 水原克敏 生田久美子	教育学研究科博士課程学生 教育学研究科博士課程学生 教育学研究科教授 教育学研究科教授	プロジェクト部門	男女別学における生徒のライフ/キャリアデザイン－教育目的とカリキュラムの分析－
ヤマモトルシアエミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)	国際労働移動が家族関係にもたらす影響－性別役割の研究を中心に－

平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉田浩	経済学研究科助教授	研究部門
遠山智子 鈴木美智子 玉京子	理学研究科教育研究支援者 理学研究科教育研究支援者 理学研究科助手	活動部門
海老原孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	活動部門
橋本鉦市	教育学研究科助教授	プロジェクト部門

平成17年度

氏名	職名等	受賞部門
矢野恵美	法学研究科 21世紀COEジェンダー法・政策 研究センター研究員	研究部門
石垣政裕	経済学研究科助手	活動部門
畠山正人	経済学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
松崎瑠美	文学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)

東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

平成19年度該当なし

平成18年度該当なし

授賞年度	氏名	所属等
平成17年	孫 毅	北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所属等
平成16年	顧 秉 林	清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部 局	授賞年度	氏名	部 局	授賞年度	氏名	部 局						
平成19年	おう 王	れい 冷	ぜん 然	法学研究科	平成18年	たん 覃	けい 慧	れい 玲	理学研究科					
	りゅう 劉	しん 晨	こう 光	理学研究科		と 社	い 瑋	医学系研究科						
	ちん 陳	えい 鋭	歯学研究科	かん 韓		ほう 峰	薬学研究科	平成17年	さ 薩	り 日	な 娜	文学研究科		
	かく 岳	しん 新	えん 艶	工学研究科		じょう 常	しゅん 春		とう 涛	工学研究科	きん 金	こう 光	う 宇	経済学研究科
	えん 袁	えん 媛	農学研究科	こう 侯		きょく 旭	ひん 濱		生命科学研究科	だい 代	こう 紅	ばい 梅	医学系研究科	
						ゆう 愈	し 志	ぜん 前	歯学研究科	る 呂	しん 晨	工学研究科		

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

本多光太郎記念賞

平成19年度該当なし

平成17年度該当なし

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成18年	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学校リヨン校 学長
	ルノー財団		
	アルペール・プレヴォ	フランス	国際教育学研究センター 所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校 学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学校 国際交流部長
アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所 教授	

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官

東北大学は平成19年6月に創立100周年を迎え、100周年記念式典及び100周年記念祝賀会をはじめ、様々な事業を開催しました。

東北大学100周年記念式典

平成19年8月27日(月) 仙台国際センター大ホール

- ・式辞 東北大学総長 井上 明久
- ・祝辞 文部科学大臣 伊吹 文明(清水 潔 高等教育局長代読)
東京大学総長 小宮山 宏、復旦大学学長 王 生 洪
ローマ大学ラ・サピエンツァ学長 レナート・グアリーニ
- ・感謝状贈呈
受賞者 元東北大学総長(第15代)石田 名香雄
同 (第17代)西澤 潤一
同 (第18代)阿部 博之
前東北大学総長(第19代)吉本 高志
- ・東北大学100周年記念文化貢献賞贈呈
受賞者 <学術> 田中 耕一
<教育> 青木 生子
<産業> 豊田 章一郎
<スポーツ> 東北大学ボート部1960年ローマオリンピック日本代表エイトクルー
<芸術・文化> 小田 和正
- ・祝典曲演奏 「私たちは進む」(岡崎 光治 作曲)
演奏：学友会交響楽部
合唱：学友会男声合唱部・混声合唱部、東北大学卒業生、市民有志



総長式辞



祝典曲演奏

東北大学100周年記念祝賀会(野外パーティー)

平成19年8月26日(日) 東北大学片平キャンパス(野外)

萩植栽紹介、鏡割り、学友会応援団エール、コンサート等



祝賀会会場



鏡割り

東北大学100周年記念まつり

平成19年8月25日(土)、26日(日) 東北大学片平キャンパス

メインステージイベント(パフォーマンスショー、コンサート等)、本学全ての学部・研究科、研究所等による部局出展、学友会出展、地域出展、第22回東北大学国際まつり、その他各種イベント



正面ゲート



ダンスロボット



サイエンスカフェスペシャル

学章・スクールカラー等制定式

平成19年6月22日(金) 東北大学片平キャンパス本部本館

- ・総長挨拶
- ・経過報告
- ・学旗披露
- ・学生歌「青葉もゆるこのみちのく」斉唱 学友会男声合唱部・混声合唱部
- ・学友会応援団エール
- ・スチューデントアンバサダー信任式



学旗披露

東北大学ホームカミングデー

平成19年10月6日(土) 電力ホール

- ・100周年記念仙台セミナー 「“超大国” 中国とのつき合い方」
- ・全学同窓会総会及び懇親会 ～「東北大学校友会（仮称）」の設立集会～

平成19年10月7日(日)

- ・キャンパスツアー～懐かしいキャンパスをバスにて巡る～
- ・在校生と卒業生との親睦会～先輩の話を聞こう@川内キャンパス～
- ・学生会体育部記念シンポジウム「新世紀の文武両道を目指して」
- ・100周年記念国際シンポジウム「女性百年－教育・結婚・職業－」《いかに生きたか・いかに生きるか》



在校生と卒業生との親睦会



学生会体育部記念シンポジウム

東北大学100周年記念セミナー「科学が次の100年で創り出せること」

平成19年12月11日(火) 日経ホール

第8回 世界をリードする科学技術者の育て方－新エリート養成への日仏の挑戦

主催：東北大学、Ecole Centrale de Lyon(フランス国立中央理工科大学院リヨン校)、
INSA de Lyon(フランス国立リヨン応用科学院)、日本経済新聞社

講演者：ソニー株式会社取締役代表執行役社長兼エレクトロニクスCEO 中鉢 良治

トタル社北東アジア代表 Jacques Chambert-Loir

哲学者・元フランス国立美術学校学長 Yves Michaud

元東北大学総長 前総合科学技術会議議員 阿部 博之

フランス科学技術大統領諮問会議座長 Serge Feneuille

東北大学100周年記念・市民コンサート

平成19年8月26日(日) 宮城県民会館大ホール

プログラム：『東北大学祝典曲－私たちは進む』岡崎 光治 作曲

指揮：岡崎 光治 ソプラノ：菅 英三子 オルガン：今井奈緒子

『交響曲第九番二短調 作品125』ベートーヴェン 作曲

指揮：高宮 誠 ソプラノ：菅 英三子 アルト：遠藤 恭子 テノール：中鉢 聡 バス：成田 博之

演奏：学生会交響楽部 合唱：学生会男声合唱部・混声合唱部、東北大学卒業生、市民有志

東北大学100周年記念展示

●東北大学創立100周年記念展示 東北大学の至宝－資料が語る1世紀－

平成19年9月1日(土)～平成19年10月14日(日) 江戸東京博物館

平成19年11月2日(金)～平成19年12月9日(日) 仙台市博物館



国宝
「史記 孝文本紀 第十」



脳神経構造模型

●特別展 夏目漱石－東北大学創立100周年・漱石朝日新聞入社100年・江戸東京博物館開館15周年記念－
平成19年9月26日(水)～平成19年11月18日(日) 江戸東京博物館



漱石筆
オックスフォード大学水彩画



岡本一平画
「漱石先生」

100周年記念関連事業

部局等主催100周年各種事業(平成19年度)

開催日(平成19年度)	事業名	部局等名
平成19年度	理数ユース育成事業	金属材料研究所
4月~12月	アマチュア無線局	学友会アマチュア無線部
4月~12月	アワードの発行	学友会アマチュア無線部
5月25日(金)	法学部主催春季講演会	法学部
5月26日(土)	講演会「地球温暖化問題—残された時間—」	環境科学・工学研究科
6月2日(土)	文部科学省特別教育研究経費(国際連携を活かした高等教育システムの構築)プロジェクト 国際シンポジウム「研究・教育のシナジーとITの到来—教員・部局・全学の有機的連携—」	高等教育開発推進センター
6月5日(火)	国際文化研究科国際公開交流プログラム「2007年仙台におけるフランス・レンヌ年」参加事業講演会「欧州連合—フランスからの視点」	国際文化研究科
6月9日(土)~6月10日(日)	日本公共政策学会2007年度研究大会	情報科学研究科、日本公共政策学会
6月19日(火)	東北大学大学院生命科学研究所設立7周年記念中静透教授みどりの学術賞受賞記念講演会	生命科学研究所
6月22日(金)	第51回東北大学歯学会	歯学研究科
7月4日~9月30日、11月2日~12月9日	平成19年度東北大学附属図書館企画展「絵葉書タイムトラベル~狩野文庫絵葉書コレクションから~」	附属図書館
7月28日(土)	国際文化研究科公開シンポジウム「次世代に残すアジアの文化と技術」	国際文化研究科
7月28日(土)~29日(日)	片平まつり2007	片平まつり2007実行委員会
7月28日(土)~12月9日(日)	記念展「東北大生の一世紀」	学術資源研究公開センター-史料館
7月29日(日)	ジュニアバドミントンフェスティバル	学友会バドミントン部
7月29日(日)~7月31日(火)	東北大学国際シンポジウム「ジェンダー平等と社会的多様性をめぐる国際的展望」	21世紀COEプログラム「男女共同参画社会の基と政策—ジェンダー—」(政策研究センター)
8月1日(水)~9月9日(日)	サイエンス展示	理学・工学・環境科学研究科他
8月8日(水)	東北大学学生相談所50周年記念企画国際シンポジウム学生相談所およびキャリア支援体制をどう充実させるか	高等教育開発推進センター
8月20日(月)~24日(金)	公開サイエンス講座	理学・工学・環境科学研究科他
8月20日(月)~24日(金)	COEアウトリーチカフェ	理学・工学・環境科学研究科他
8月20日(月)~31日(金)	東北大学・ロシア科学アカデミーシベリア支部学術交流締結15周年記念国際シンポジウム	東北アジア研究センター
8月24日(金)	ナノ材料・物質に関する東北大学—韓国国立昌原大学ワークショップ	学際科学国際高等研究センター
8月25日(土)	第15回生体パーオキシド研究会	生体パーオキシド研究会
8月25日(土)~26日(日)	記念茶会	学友会茶道部
8月27日(月)	歯学教育研究に関する国際シンポジウム	歯学研究科
8月28日(火)	東北大学の研究100年セミナー:過去から未来へ	附属図書館
8月31日(金)~9月5日(水)	40年の時空を越えて 第8回唱展	唱展・学友会美術部
9月7日(金)~9日(日)	The 6th Japanese-US Cancer Therapy Symposium & The 5th S.Takahashi Memorial International Joint Symposium	大学病院
9月9日(日)	第30回オリエンテーリング大会	学友会オリエンテーリング部
9月14日(金)~17日(月)	企画展「日本における近代物理学のあけぼのと展開」	理学研究科
9月15日(土)	シンポジウム「魯迅と東北大学の留学生教育」	経済学・医学系・国際文化・情報科学研究科
9月28日(金)	記念出版「加齢医学—健康寿命を保つための医学—」	加齢医学研究所
10月6日(土)	第1回「青春のエッセー 阿部次郎記念賞」授与式	文学部、阿部次郎記念館
10月12日(金)~28日(日)	東北大学総合博物館のすべてⅦ「大学・職人の街—100年の研究を支える匠の技術—」	総合学術博物館
10月27日(土)	国際文化研究科公開国際交流プログラム「2007仙台におけるフランス・レンヌ年」参加事業講演会「音楽に見るブルターニュの文化とその現代的性」	国際文化研究科
10月27日(土)~28日(日)	第56回模擬裁判公演	法学部模擬裁判実行委員会
11月2日(金)~15日(水)	記念展示—東北大学における金属・材料研究—	金属材料研究所・工学研究科・多元物質科学研究所
11月7日(水)~12月14日(金)	第26回写真コンテスト	青葉工業会・工明会
11月14日(水)	電気・情報東京フォーラム2007	電気通信研究所
11月18日(日)	ツリークライミング®	ツリークライミングジャパン®
12月9日(日)	教育特別講演会	教育学研究科・教育学部同窓会
12月12日(水)	第7回東北大学多元物質科学研究所発表会	多元物質科学研究所
12月14日(金)~12月15日(土)	第7回高度流体情報/第4回横断的流体研究融合化に関する国際シンポジウム	流体科学研究所
12月16日(日)	脳カフェ:杜の都で脳を語る	グローバルCOE「脳神経科学を社会に還元する教育研究拠点」
1月12日(土)	北京セミナー「ICT技術の新時代」	国際交流部
3月8日(土)	教育特別講演会	教育学研究科・教育学部同窓会
3月15日(土)~5月18日(日)	特別展 学都に息づく 夏目漱石の精神 仙台の「漱石文庫」から	記念展示企画実行WG

東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

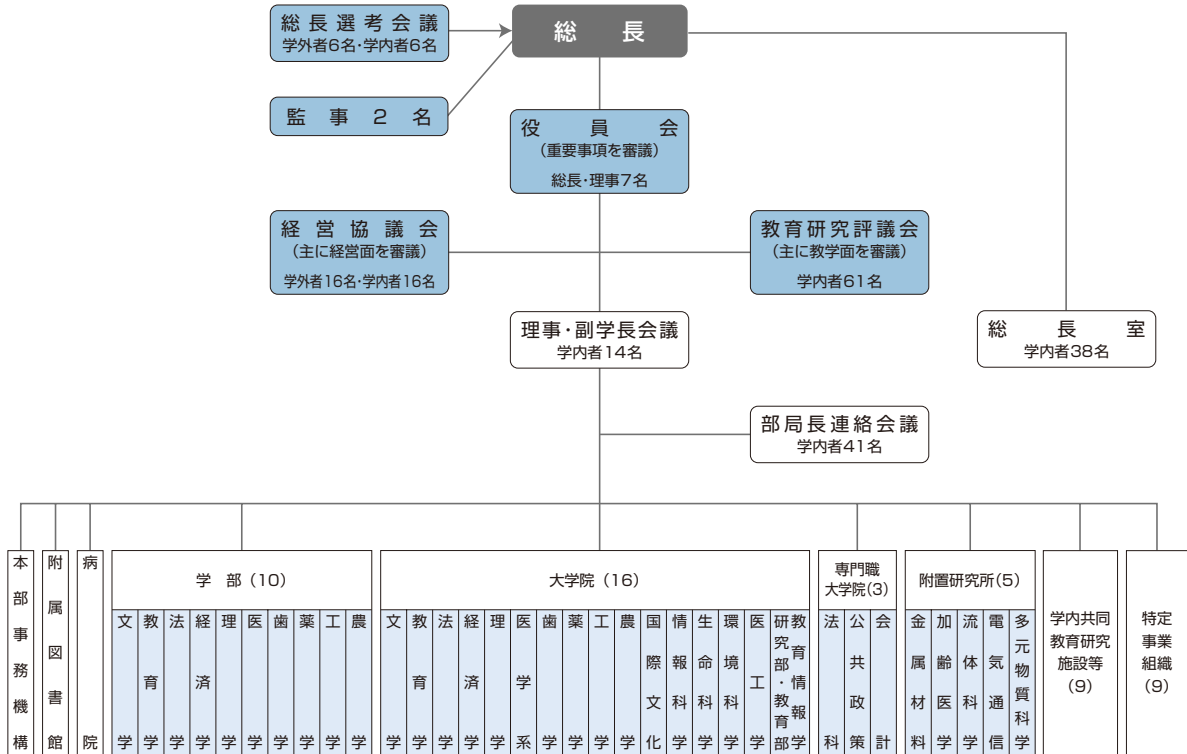
東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition”をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

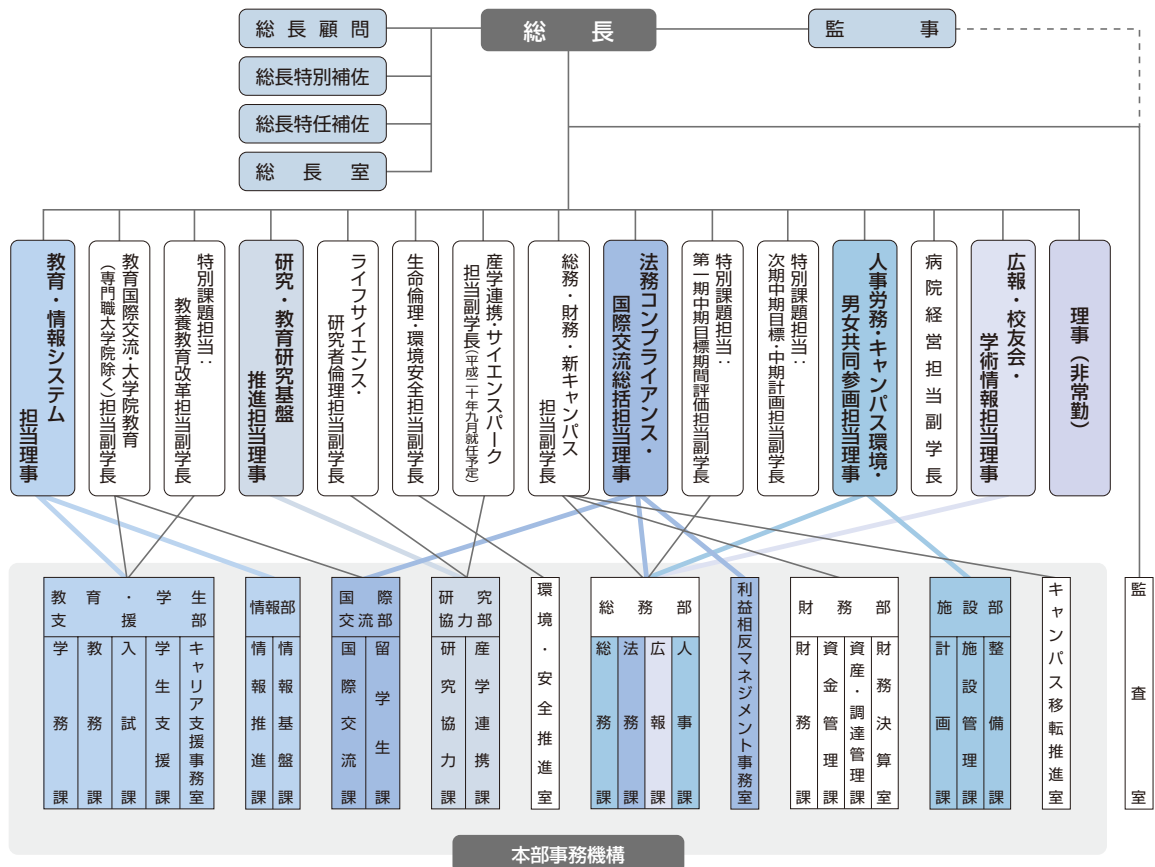


組
織

運営組織



理事・副学長・本部事務機構

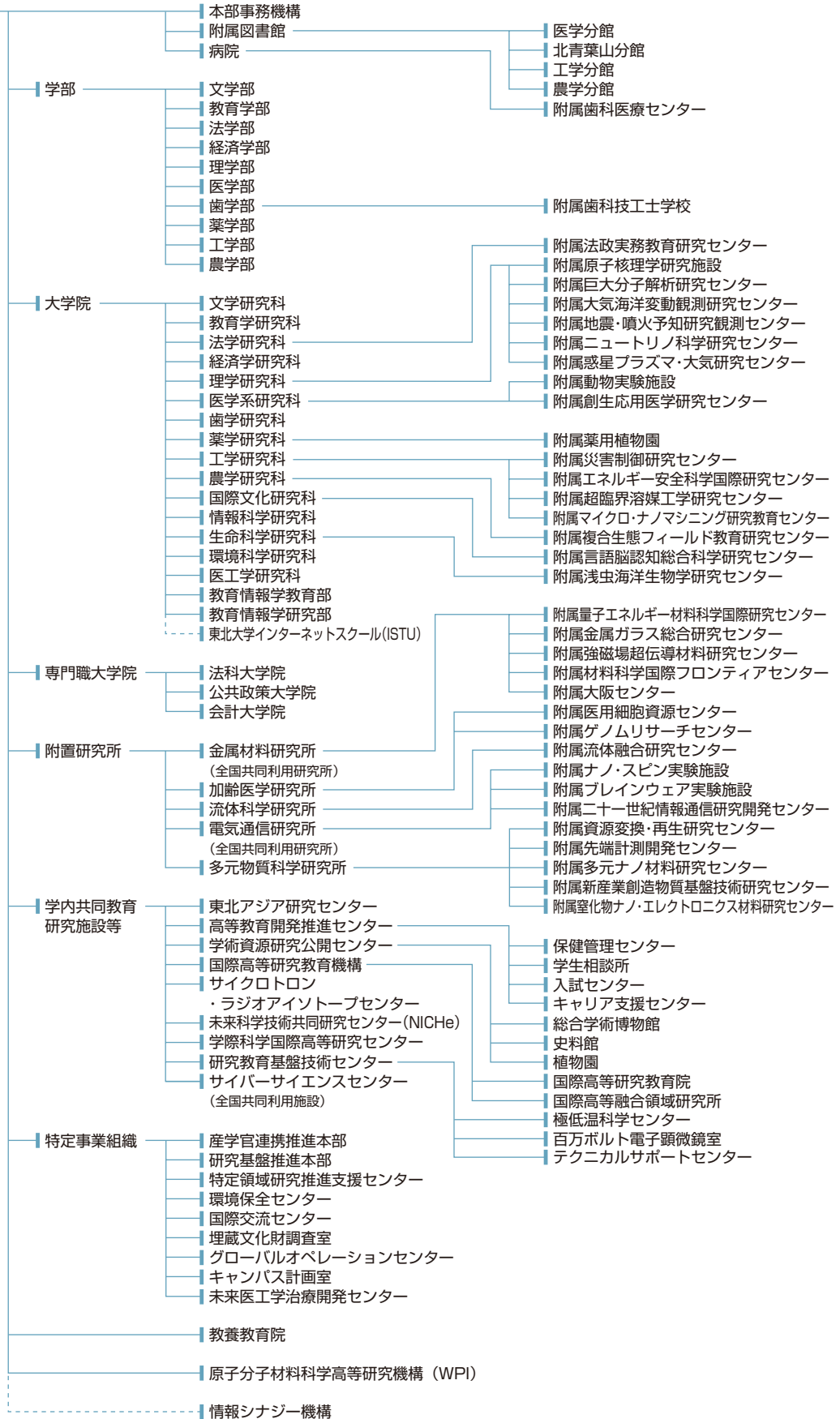


機構図

(平成20年4月1日現在)

国立大学法人東北大学

東北大学



組織

役員・主な役職者

組織

総長	井上明久	総長特任補佐	山口昌弘
理事(法務コンプライアンス・国際交流総括担当)	植木俊哉	総長特任補佐	五十嵐和彦
理事(教育・情報システム担当)	根元義章	総長特任補佐	伊藤貞嘉
理事(研究・教育研究基盤推進担当)	渡邊誠	総長特任補佐	小坂健
理事(広報・校友会・学術情報担当)	野家啓一	総長特任補佐	寺崎哲也
理事(人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当)	折原守	総長特任補佐	金井浩
理事(非常勤)	吉川弘之	総長特任補佐	原山優子
理事(非常勤)	石弘光	総長特任補佐	湯上浩雄
監事	岡本宏	総長特任補佐	佐藤滋
監事(非常勤)	西川知雄	総長特任補佐	青木孝文
副学長(総務・財務・新キャンパス担当)	北村幸久	総長特任補佐	中静透
副学長(教育国際交流・大学院教育(専門職大学院を除く)担当)	橋本久治	総長特任補佐	土屋範芳
副学長(病院経営担当)	里見進	総長特任補佐	新家光雄
副学長(ライフサイエンス・研究者倫理担当)	飯島敏夫	総長特任補佐	古原忠
副学長(生命倫理・環境安全担当)	山本雅之	総長特任補佐	高井俊行
副学長(特別課題担当：第一期中期目標期間評価)	岡田益男	総長特任補佐	小林秀昭
副学長(特別課題担当：教養教育改革)	木島明博	総長特任補佐	進藤大輔
副学長(特別課題担当：次期中期目標・中期計画)	兵頭英治	総長特任補佐	岡洋樹
総長顧問	天野平八郎	ディスティングイッシュトプロフェッサー	浅川照夫
総長顧問	小田滋	ディスティングイッシュトプロフェッサー	内田龍男
総長顧問	勝股康行	ディスティングイッシュトプロフェッサー	大隅典子
総長顧問	マーティ・キーナート	ディスティングイッシュトプロフェッサー	大谷栄治
総長顧問	杉山一彦	ディスティングイッシュトプロフェッサー	大野英男
総長顧問	庄子哲雄	ディスティングイッシュトプロフェッサー	岡芳知
総長顧問	リチャード・ダッシャー	ディスティングイッシュトプロフェッサー	川島隆太
総長顧問	マスード・ベニア	ディスティングイッシュトプロフェッサー	小林隆
総長顧問	増本健	ディスティングイッシュトプロフェッサー	小柳光正
総長特別補佐(入試担当)	鴨池治	ディスティングイッシュトプロフェッサー	佐藤英明
総長特別補佐(学生支援担当)	東谷篤志	ディスティングイッシュトプロフェッサー	佐藤滋
総長特別補佐(利益相反マネジメント担当)	西澤昭夫	ディスティングイッシュトプロフェッサー	佐藤源之
総長特別補佐(百年史編集担当)	今泉隆雄	ディスティングイッシュトプロフェッサー	寒川誠二
総長特別補佐(校友会担当)	圓山重直	ディスティングイッシュトプロフェッサー	庄子哲雄
総長特別補佐(データベース担当)	曾根秀昭	ディスティングイッシュトプロフェッサー	辻村みよ子
総長特別補佐(交通計画担当)	森田康夫	ディスティングイッシュトプロフェッサー	寺崎哲也
総長特別補佐(男女共同参画担当)	大隅典子	ディスティングイッシュトプロフェッサー	照井伸彦
総長特任補佐	岡田益男	ディスティングイッシュトプロフェッサー	中沢正隆
総長特任補佐	木島明博	ディスティングイッシュトプロフェッサー	平間正博
総長特任補佐	兵頭英治	ディスティングイッシュトプロフェッサー	前川禎通
総長特任補佐	阿部宏	ディスティングイッシュトプロフェッサー	水野健作
総長特任補佐	本郷一夫	ディスティングイッシュトプロフェッサー	水原克敏
総長特任補佐	水原克敏	ディスティングイッシュトプロフェッサー	宮下徳治
総長特任補佐	藤本雅彦	ディスティングイッシュトプロフェッサー	宮本明
総長特任補佐	小谷元子	ディスティングイッシュトプロフェッサー	吉野博
■ 本部			
【総長室】		【財務部】	
総長室長	北村幸久	財務部長	斉藤広志
総長室事務統括スタッフ	大友久雄	財務課長	山口顕
総長室主任経営企画スタッフ	内丸幸喜	資金管理課長	藤原昇
総長室主任経営企画スタッフ	佐藤義幸	資産・調達管理課長	門伝孝
総長室主任経営企画スタッフ	大川俊治	【研究協力部】	
総長室主任経営企画スタッフ	伊豆仁志	研究協力課長	村岡利光
【総務部】		産学連携課長	石田秀明
総務課長	武田良正	【施設部】	
法務課長	齋藤仁	施設部長	山下治
広報課長	志田昌幸	計画課長	川田裕
人事課長	寺中哲雄	施設管理課長	長井一夫
【教育・学生支援部】		整備課長	橋本和昭
教育・学生支援部長	高橋秀市	【情報部】	
学務課長	根川博信	情報部長	秋山清
教務課長	芳賀英子	情報推進課長(併任)	秋山清
入試課長	浅沼良庸	情報基盤課長	熊谷功
学生支援課長	坂本秀敬		

(平成20年4月1日現在)

■ 本 部		【監査室】	
【国際交流部】		監査室長	畠 山 一 典
国際交流部長	内 山 博 之	【環境・安全推進室】	
国際交流課長	門 脇 英 雄	環境・安全推進室長	菅 原 正 記
留学生課長	中 尾 ゆかり		
【キャンパス移転推進室】			
キャンパス移転推進室長	後 藤 勝		
■ 大学院研究科・学部等及び附属施設			
【文学研究科・文学部】		薬学研究科副研究科長・薬学部副学部長	寺 崎 哲 也
文学研究科長・文学部長	原 純 輔	薬用植物園長	大 島 吉 輝
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	花 登 正 宏	事務長	菅 原 健 士
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	大 淵 憲 一	【工学研究科・工学部】	
事務長	影 山 洋 正	工学研究科長・工学部長	内 田 龍 男
【教育学研究科・教育学部】		工学研究科副研究科長	内 山 勝
教育学研究科長・教育学部長	細 川 徹	工学研究科副研究科長	米 本 年 邦
教育学研究科副研究科長・教育学部副学部長	水 原 克 敏	工学研究科副研究科長	大 村 達 夫
事務長	二階堂 功	災害制御研究センター長	源 栄 正 人
【法学研究科・法学部】		エネルギー安全科学国際研究センター長	橋 田 俊 之
法学研究科長・法学部長	稲 葉 馨	超臨界溶媒工学研究センター長	猪 股 宏
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	小 粥 太 郎	マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	江 刺 正 喜
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	平 田 武	事務部長	大 庭 利 正
法科大学院長	坂 田 宏	総務課長	佐 藤 克 義
公共政策大学院長	澁 谷 雅 弘	教務課長	及 川 義 孝
法政実務教育研究センター長	辻 村 みよ子	経理課長	田 屋 修 一
事務長	齋 藤 文 男	【農学研究科・農学部】	
【経済学研究科・経済学部】		農学研究科長・農学部長	工 藤 昭 彦
経済学研究科長・経済学部長	佃 良 彦	農学研究科副研究科長	山 口 高 弘
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	鈴 木 俊 夫	農学研究科副研究科長	宮 澤 陽 夫
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	平 本 厚	複合生態フィールド教育研究センター長	中 井 裕
会計大学院長	青 木 雅 明	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	清 和 研 二
事務長	佐 藤 一 永	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	齋 藤 元 也
【理学研究科・理学部】		事務長	長谷川 好 則
理学研究科長・理学部長	花 輪 公 雄	【国際文化研究科】	
理学研究科副研究科長	高 木 泉	国際文化研究科長	石 幡 直 樹
理学研究科副研究科長	福 村 裕 史	国際文化研究科副研究科長	布 田 勉
理学研究科副研究科長	今 泉 俊 文	言語脳認知総合科学研究センター長	佐 藤 滋
原子核理学研究施設長	笠 木 治郎太	事務長	阿 部 竹 廣
巨大分子解析研究センター長	平 間 正 博	【情報科学研究科】	
大気海洋変動観測研究センター長	中 澤 高 清	情報科学研究科長	西 関 隆 夫
地震・噴火予知研究観測センター長	海 野 徳 仁	情報科学研究科副研究科長	出 口 光 一 郎
ニュートリノ科学研究センター長	井 上 邦 雄	情報科学研究科副研究科長	亀 山 充 隆
惑星プラズマ・大気研究センター長	岡 野 章 一	事務長	佐 藤 清 幸
事務長	工 藤 昌 秋	【生命科学研究科】	
【医学系研究科・医学部】		生命科学研究科長	飯 島 敏 夫
医学系研究科長・医学部長	山 本 雅 之	生命科学研究科副研究科長	水 野 健 作
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	伊 藤 貞 嘉	浅虫海洋生物学研究センター長	水 野 健 作
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	五十嵐 和 彦	事務長	門 脇 豊
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	進 藤 千代彦	【環境科学研究科】	
動物実験施設長	笠 井 憲 雪	環境科学研究科長	谷 口 尚 司
創生応用医学研究センター長	北 本 哲 之	環境科学研究科副研究科長	末 永 智 一
事務長	吉 田 隆 幸	【医工学研究科】	
【歯学研究科・歯学部】		医工学研究科長	佐 藤 正 明
歯学研究科長・歯学部長	笹 野 高 嗣	医工学研究科副研究科長	出 江 紳 一
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	佐々木 啓 一	【教育情報学教育部】	
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	菅 原 俊 二	教育情報学教育部長	渡 部 信 一
歯科技工士学校長	菊 地 正 嘉	【教育情報学研究部】	
事務長	小 林 忠 雄	教育情報学研究部長	渡 部 信 一
【薬学研究科・薬学部】			
薬学研究科長・薬学部長	永 沼 章		
■ 附置研究所及び附属施設			
【金属材料研究所】		金属材料研究所副研究所長	後 藤 孝
金属材料研究所長	中 嶋 一 雄	量子エネルギー材料科学国際研究センター長	四 電 樹 男
金属材料研究所副研究所長	前 川 禎 通	金属ガラス総合研究センター長	後 藤 孝

役員・主な役職者

(平成20年4月1日現在)

組織

■ 附置研究所及び附属施設

強磁場超伝導材料研究センター長	渡 邊 和 雄	電気通信研究所副研究所長	鈴 木 陽 一
大阪センター長	今 野 豊 彦	ナノ・スピン実験施設長	大 野 英 男
事務部長	洪 谷 幸 雄	ブレインウェア実験施設長	中 島 康 治
総務課長	鈴 木 孝	21世紀情報通信研究開発センター長	坪 内 和 夫
経理課長	渡 見 裕	事務部長	西 田 均
【加齢医学研究所】		総務課長	石 井 俊 明
加齢医学研究所長	福 田 寛	経理課長	佐 藤 巖
加齢医学研究所副研究所長	佐 竹 正 延	【多元物質科学研究所】	
医用細胞資源センター長	佐 藤 靖 史	多元物質科学研究所長	齋 藤 文 良
ゲノムリサーチセンター長	安 井 明	多元物質科学研究所副研究所長	宮 下 徳 治
事務長	高 橋 豊 志	多元物質科学研究所副研究所長	河 村 純 一
【流体科学研究所】		資源変換・再生研究センター長	葛 西 栄 輝
流体科学研究所長	早 瀬 敏 幸	先端計測開発センター長	進 藤 大 輔
流体科学研究所副研究所長	高 木 敏 行	多元ナノ材料研究センター長	齋 藤 正 男
流体融合研究センター長	大 林 茂	新産業創造物質基盤技術研究センター長	宮 下 徳 治
事務長	山 越 隆 男	窒化物ナノ・エレクトロニクス材料研究センター長	山 根 久 典
【電気通信研究所】		事務部長	加 藤 莊 一
電気通信研究所長	矢 野 雅 文	総務課長	草 刈 芳 実
電気通信研究所副研究所長	庭 野 道 夫	経理課長	丸 山 正 彦

■ 附属図書館及び分館

図書館長	野 家 啓 一	医学分館長	柳 澤 輝 行
図書館副館長	倉 本 義 夫	事務長(併任)	吉 田 隆 幸
事務部長	北 村 明 久	北青葉山分館長	高 木 泉
総務課長	加 藤 信 哉	工学分館長	阿 曾 弘 具
情報管理課長	臼 井 克 巳	農学分館長	池 上 正 人
情報サービス課長	横 山 敏 秋		

■ 病 院

病院長	里 見 進	歯科医療センター長	小 松 正 志
総括副病院長	小 松 正 志	事務部長	長 谷 山 則 夫
副病院長	岡 村 州 博	総務課長	高 橋 正 幸
副病院長	糸 山 泰 人	経営管理課長	小 林 正 行
副病院長	荒 井 陽 一	経理課長	朝 倉 知 明
副病院長	川 村 仁	医事課長	八 木 巻 一 男
副病院長	島 内 英 俊	医療サービス課長	松 本 仁 一

■ 学内共同教育研究施設等

東北アジア研究センター長	瀬 川 昌 久	植物園長	鈴 木 三 男
東北アジア研究センター副センター長	岡 洋 樹	国際高等研究教育機構長	井 小 萩 利 明
東北アジア研究センター副センター長	佐 藤 源 之	国際高等研究教育院長	井 原 聰
高等教育開発推進センター長	木 島 明 博	国際高等融合領域研究所長	井 小 萩 利 明
高等教育開発推進センター副センター長	関 内 隆	サイクロトロン・ラジオ・アイソトープセンター長	石 井 慶 造
保健管理センター所長	飛 田 涉	未来科学技術共同研究センター長	中 島 一 郎
保健管理センター副所長	大 原 秀 一	未来科学技術共同研究センター副センター長	西 澤 昭 夫
学生相談所長	木 島 明 博	未来科学技術共同研究センター副センター長	内 丸 幸 喜
入試センター長	鴨 池 治	学際科学国際高等研究センター長	中 嶋 一 雄
キャリア支援センター長	木 島 明 博	研究教育基盤技術センター長	山 本 嘉 則
学術資源研究公開センター長	鈴 木 三 男	極低温科学センター長	青 木 晴 善
総合学術博物館長	永 廣 昌 之	百万ボルト電子顕微鏡室長	今 野 豊 彦
史料館長	大 藤 修	サイバーサイエンスセンター長	小 林 広 明
史料館副館長	倉 本 義 夫	サイバーサイエンスセンター副センター長	曾 根 秀 昭

■ 特定事業組織

産学官連携推進本部長	渡 邊 誠	埋蔵文化財調査研究室長	阿 子 島 香
研究基盤推進本部長	渡 邊 誠	グローバルオペレーションセンター長	植 木 俊 哉
特定領域研究推進支援センター長	渡 邊 誠	キャンパス計画室長	杉 山 丞
環境保全センター長	山 田 宗 慶	未来医工学治療開発センター長	里 見 進
国際交流センター長	橋 本 治	未来医工学治療開発副センター長	西 田 幸 二
国際交流センター副センター長	重 野 芳 人		

■ 教養教育院

教養教育院長	根 元 義 章
--------	---------

■ 原子分子材料科学高等研究機構

原子分子材料科学高等研究機構長	山 本 嘉 則
-----------------	---------

■ 情報シナジー機構

情報シナジー機構長	鈴 木 陽 一	情報シナジー機構副機構長	曾 根 秀 昭
情報シナジー機構副機構長	小 林 広 明		

総長選考会議・役員会・経営協議会・教育研究評議会

(平成20年4月1日現在)

総長選考会議

学外委員	
天野平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
岸輝雄	独立行政法人物質・材料研究機構理事長
黒田玲子	東京大学大学院総合文化研究科教授
中村久三	株式会社アルバック代表取締役会長
東哲郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長
八島俊章	社団法人東北経済連合会名誉会長

学内委員	
橋本治	副学長
飯島敏夫	副学長(生命科学研究科長)
稲葉馨	法学研究科長
笹野高嗣	歯学研究科長
内田龍男	工学研究科長
中嶋一雄	金属材料研究所長

役員会

井上明久	総長
植木俊哉	理事
根元義章	理事
渡邊誠	理事

野家啓一	理事
折原守	理事
吉川弘之	理事
石弘光	理事

経営協議会

学外委員	
天野平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
安西祐一郎	慶應義塾長
梅原克彦	仙台市長
小野元之	独立行政法人日本学術振興会理事長
小野寺正	KDDI株式会社代表取締役社長兼会長
岸輝雄	独立行政法人物質・材料研究機構理事長
黒田玲子	東京大学大学院総合文化研究科教授
作田久男	オムロン株式会社代表取締役社長
杉田亮毅	株式会社日本経済新聞社代表取締役会長
清野智	東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長
リチャード・ダッシャー	スタンフォード大学工学部 アジア・米国技術経営研究センター所長
遠山敦子	財団法人新国立劇場運営財団理事長 元文部科学大臣
中村久三	株式会社アルバック代表取締役会長
東哲郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長
村井嘉浩	宮城県知事
八島俊章	社団法人東北経済連合会名誉会長

学内委員	
井上明久	総長
植木俊哉	理事
根元義章	理事
渡邊誠	理事
野家啓一	理事
折原守	理事
吉川弘之	理事
石弘光	理事
北村幸久	副学長(総長室長)
橋本治	副学長
里見進	副学長(病院長)
山本雅之	副学長(医学系研究科長)
岡田益男	副学長(総長特任補佐)
兵頭英治	副学長(総長室副室長)
内田龍男	工学研究科長
井小萩利明	国際高等研究教育機構長

教育研究評議会

井上明久	総長	笹野高嗣	歯学研究科長	佐々木啓一	歯学研究科教授
植木俊哉	理事	永沼章	薬学研究科長	大島吉輝	薬学研究科教授
根元義章	理事	内田龍男	工学研究科長	澤谷邦男	工学研究科教授
渡邊誠	理事	工藤昭彦	農学研究科長	山口高弘	農学研究科教授
野家啓一	理事	石幡直樹	国際文化研究科長	布田勉	国際文化研究科教授
折原守	理事	西関隆夫	情報科学研究科長	出口光一郎	情報科学研究科教授
吉川弘之	理事	谷口尚司	環境科学研究科長	高橋秀幸	生命科学研究科教授
石弘光	理事	佐藤正明	医工学研究科長	田路和幸	環境科学研究科教授
北村幸久	副学長(総長室長)	中嶋一雄	金属材料研究所長	松木英敏	医工学研究科教授
橋本治	副学長	福田寛	加齢医学研究所長	前川禎通	金属材料研究所教授
里見進	副学長(病院長)	早瀬敏幸	流体科学研究科長	佐藤靖史	加齢医学研究所教授
飯島敏夫	副学長(生命科学研究科長)	矢野雅文	電気通信研究所長	圓山重直	流体科学研究科教授
山本雅之	副学長(医学系研究科長)	齋藤文良	多元物質科学研究科長	大野英男	電気通信研究所教授
岡田益男	副学長(総長特任補佐)	渡部信一	教育情報学研究部長	宮下徳治	多元物質科学研究科教授
木島明博	副学長(総長室副室長)	瀬川昌久	東北アジア研究センター長	小松正志	病院総括副病院長
兵頭英治	副学長(総長室副室長)	花登正宏	文学研究科教授	関内隆	教育基盤施設群教授
原純	文学研究科長	宮腰英一	教育学研究科教授	石井慶造	学術基盤施設群教授
細川徹	教育学研究科長	芹澤英明	法学研究科教授	井小萩利明	国際高等研究教育機構長
稲葉馨	法学研究科長	鈴木俊夫	経済学研究科教授	山本嘉則	原子分子材料科学高等研究機構長
佃良彦	経済学研究科長	倉本義夫	理学研究科教授		
花輪公雄	理学研究科長	岡芳知	医学系研究科教授		

役員・職員数

(平成20年5月1日現在)

部 局	職 種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			5(2)									7
監事				1(1)								2
本部事務機構	総長室									0	8	8
	総務部							1		1	81	82
	教育・学生支援部									0	68	68
	財務部									0	70	70
	研究協力部									0	22	22
	施設部									0	44	44
	情報部									0	37	37
	国際交流部									0	17	17
	キャンパス移転推進室									0	13	13
	環境・安全推進室									0	1	1
	利益相反マネジメント事務室									1	1	2
	監査室									0	6	6
文学部・文学研究科					44	29	4	15		92	18	110
教育学部・教育学研究科					21	11	1	2		35	11	46
法学部・法学研究科					26	23		6	7	62	16	78
経済学部・経済学研究科					40	20	2		5	67	14	81
理学部・理学研究科					83	78	7	99	3	270	102	372
医学部・医学系研究科					95	71	16	104	13	299	56	355
歯学部・歯学研究科					23	8	9	58		98	24	122
薬学部・薬学研究科					18	15	4	22	8	67	18	85
工学部・工学研究科					113	103	4	122	13	355	201	556
農学部・農学研究科					41	36		28	7	112	62	174
国際文化研究科					27	26				53	11	64
情報科学研究科					34	25	4	26		89	13	102
生命科学研究科					24	22	2	20	4	72	19	91
環境科学研究科					26	12	2	23		63	5	68
医工学研究科					18	5		4		27	5	32
教育情報学研究部					3	3		3		9		9
金属材料研究所					23	28	2	66	3	122	94	216
加齢医学研究所					16	13	1	26		56	22	78
流体科学研究所					16	10	2	13		41	27	68
電気通信研究所					29	18		28		75	32	107
多元物質科学研究所					45	28	4	61		138	79	217
図書館	図書館									0	32	32
	医学分館									0	8	8
	北青葉山分館									0	4	4
	工学分館									0	11	11
	農学分館									0	4	4
病 院				5	19	69	209	2	304	1,489	1,793	
東北アジア研究センター				11	6		4	1	22		22	
高等教育開発推進センター				14	12	11	17	5	59	14	73	
学術資源研究公開センター				3	3		7		13	6	19	
国際高等研究教育機構				1	2		13		16	2	18	
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター				3	3		3	3	12	3	15	
未来科学技術共同研究センター				7			1	1	9	4	13	
学際科学国際高等研究センター				3	4				7	1	8	
サイバーサイエンスセンター				4	3		1		8		8	
産学官連携推進本部				1	1		1		3	2	5	
特定領域研究推進支援センター						8		3	2	13	3	16
環境保全センター								1	2	3	1	4
国際交流センター				2	1	1				4		4
埋蔵文化財調査室										0	4	4
グローバルオペレーションセンター										0	2	2
キャンパス計画室										0	3	3
未来医工学治療開発センター				2	2		3	2	9	1	10	
教養教育院				3					3		3	
原子分子材料科学高等研究機構				16	6	2	16	14	54	12	66	
合 計		1	7	2	840	654	147	1,006	96	2,743	2,803	5,556

※休職者含む。

※()は非常勤で外数。

学部

学部	学科	学科目数	学科目
文学部 1学科5学科目	人 文 社 会 学 科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
教育学部 1学科2学科目	教 育 科 学 科	2	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	法 学 科	1	法学・政治学
経済学部 2学科6学科目	経 済 学 科	3	基礎理論、応用経済、経済史
	経 営 学 科	3	経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	数 学 科	1	数学
	物 理 学 科	1	物理学
	宇 宙 地 球 物 理 学 科	1	宇宙地球物理学
	化 学 科	1	化学
	地 図 環 境 科 学 科	1	地図環境科学
	地 球 惑 星 物 質 科 学 科	1	地球惑星物質科学
	生 物 学 科	1	生物学
医学部 2学科15学科目 7講座	医 学 科	15	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、麻酔・救急医学、社会医学
	保 健 学 科	7 (講座)	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	歯 学 科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、口腔病態基礎外科学
薬学部 2学科2学科目	薬 学 科	1	薬学
	創 薬 科 学 科	1	創薬科学
工学部 5学科47学科目	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	15	知的デザイン学、エネルギーシステム工学、材料メカニクス、ナノテクノロジー、シミュレーション科学、スペーステクノロジー、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、粒子ビーム工学、バイオメカニクス、ロボティクス、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学
	情 報 知 能 シ ス テ ム 総 合 学 科	11	電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動通信工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	8	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、生体分子化学、生体機能化学
	材 料 科 学 総 合 学 科	7	創形創質プロセス学、宇宙材料学、材料環境学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、建築構成学
農学部 2学科13学科目	生 物 生 産 科 学 科	8	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	応 用 生 物 化 学 科	5	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

文学研究科

専攻

文化科学
言語科学
歴史科学
人間科学

講座数

5
3
6
5

講座

日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学
言語学、日本語学、日本語教育学
日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学
社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術論

教育学研究科

専攻

総合教育科学
教育設計評価

講座数

5
1

講座

人間形成論、教育政策科学、成人継続教育論、教授学習科学、人間発達臨床科学
教育設計評価

法学研究科

専攻

綜合法制（法科大学院）
公共法政策（公共政策大学院）
法政理論研究（研究大学院）

講座数

3
2
3

講座

現代市民法、現代企業法、比較法社会論
行政法政策、ガバナンス研究
トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析

経済学研究科

専攻

経済経営学
会計専門職（会計大学院）

講座数

10
4

講座

経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、
グローバルシステム、○中小企業政策（中小機構）、○地域経済金融論（七十七銀行）
会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

理学研究科

専攻

数学
物理学
天文学
地球物理学
化学
地質学

講座数

5
16
2
7
11
7

講座

代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、
相関物理学、領域横断物理学、○原子核物理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、
○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※アクチノイド物理、※量子計測
天文学、理論天体物理学
固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、
○惑星圏物理学、※固体地球物理学
無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、
○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学、◎分子変換学（サンアロイ）
地圏進化学、環境地質学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、
※地圏物質循環学、※地球内部反応

医学系研究科

専攻

医科学
障害科学
保健学

講座数

25
3
7

講座

細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、
神経・感覚器病態学、社会医学、○医用動物学、○分化・発達医学、○臓器病態学、
○腫瘍制御学、○加齢脳・神経学、○遺伝子制御学、○サイクロトロン核医学、
※分子・神経イメージング、※がん医学、◎先端再生生命科学（江東微生物研究所）、
◎先進漢方治療医学（ツムラ）、◎血液病理学、◎腎不全対策研究（アステラス製薬）、
◎循環器先端医療開発学、◎多発性硬化症治療学、◎循環器EBM開発学、◎ナノ医学
機能医科学、◎高齢者高次脳医学、◎先進感染症予防学
臨床実践看護学、家族支援看護学、健康開発看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、
基礎検査医科学、臨床検査医科学

歯学研究科

専攻

歯科学

講座数

11

講座

口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健発育学、口腔病態外科学、顎口腔創生学、
○口腔腫瘍病態学、※難治疾患・口腔免疫学、※長寿口腔科学、◎歯科医薬品創生学、
◎口腔ケア推進開発

薬学研究科

専攻

創薬化学
医療薬科学
生命薬学

講座数

2
5
3

講座

分子制御化学、分子解析化学
機能解析薬学、医療薬学、○病態分子薬学、○天然資源薬学、◎医薬開発構想
生体情報薬学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学

工学研究科

専攻

機械システムデザイン工学
ナノメカニクス
航空宇宙工学
量子エネルギー工学
電気・通信工学
電子工学
応用物理学
応用化学

講座数

7
7
6
9
9
7
5
5

講座

知能システム工学、先進機械システムデザイン工学、知的デザイン学、
エネルギーシステム工学、○破壊機構学、○知能流体システム学、
○多元物質応用システム工学
ナノシステム工学、先進ナノメカニクス、材料メカニクス、ナノテクノロジー、
○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学
航空宇宙システム工学、先進航空宇宙工学、シミュレーション科学、スペーステクノロジー、
○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、
粒子ビーム工学、○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、
○加速器放射線工学、※分子イメージング工学
知的通信ネットワーク工学、電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動工学、
○電磁材料工学、○伝送工学、◎先端電力工学（東北電力）、
◎先端応用量子光学（光電製作所ハーモニック・ドライブ・システムズ）
超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、
○電子デバイス工学、○電子材料工学、○極限表面制御工学
応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、
○電子・分光計測学
原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学、
◎コンピュータリアル計算化学（変化システム、ヘカサソフトウェア）

工学研究科	専攻	講座数	講座
	化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	5	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、○プロセス制御学
	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	5	数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
	都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
農学研究科	専攻	講座数	講座
	資源生物学	6	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学
	応用生命科学 生物産業創成科学	5 6	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学 微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、※蛋白質機能開発、◎テラヘルツ生物工学(竹本油脂・ミツカン)
国際文化研究科	専攻	講座数	講座
	国際地域文化論 国際文化交流論	5 7	アジア文化論、ヨーロッパ文化論、アメリカ研究、イスラム圏研究、比較文化論 言語機能論、言語コミュニケーション論、経済交流論、科学技術交流論、○言語文化交流論、○異文化間教育論、○国際資源政策論
	国際文化言語論	5	言語生成論、言語システム論、多元言語文化社会論、言語応用論、言語教育体系論
情報科学研究科	専攻	講座数	講座
	情報基礎科学	9	情報基礎数学、情報応用数学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○超高速情報処理論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	システム情報科学	9	システム情報数学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学 応用情報科学	5 9	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学 応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑系統計科学、◎先端情報交換技術論(KDDI)
生命科学研究科	専攻	講座数	講座
	分子生命科学 生命機能科学 生態システム生命科学	3 4 5	生命有機情報科学、遺伝子システム学、○生体機能分子科学 細胞機能構築統御学、脳機能解析構築学、○海洋生物学、○分化制御学 環境遺伝生態学、進化生態科学、○植物構造機能進化学、○地域生態学、※ケノム生態学
	環境科学	16	都市環境・環境地理学、国際環境・地域環境学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、※環境適合材料創製学、※地球環境変動学、※環境リスク評価学、◎環境物質制御学(DOWAホールディングス)、◎エネルギー・セキュリティ学(JAPEX)
医工学研究科	専攻	講座数	講座
	医工学	10	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学
教育部 教育情報学 教育部	専攻	講座数	講座
教育部	教育情報学	2	IT教育デザイン論、IT教育ネットワーク論
研究部 教育情報学 研究部	部門数	5	研究部門 IT教育システム原論、IT教育認知科学、IT教育アーキテクチャー、IT教育応用実践論、△比較IT教育論
専門職大学院	専攻	講座数	講座
	法科大学院 公共政策大学院 会計専門職(会計大学院)	3 2 4	現代市民法、現代企業法、比較法社会論 行政法政策、ガバナンス研究 会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

(注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、△は客員研究部門を表す。

■ 附置研究所

研究所	部門数	研究目的及びその研究部門
金属材料研究所	28	材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属物性論、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、※材料制御学、結晶欠陥物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、原子力材料物性学、原子力材料工学、電子材料物性学、※材料設計学、ランダム構造物質学、生体材料学、超構造薄膜化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、放射線金属化学、※材料プロセス評価学、◎ナノ金属高温材料学
加齢医学研究所	7	加齢医学に関する学理及びその応用の研究 遺伝子制御、分化・発達医学、臓器病態、腫瘍制御、加齢脳・神経、◎抗感染症薬開発、◎認知機能発達（公文教育研究会）
流体科学研究所	5	流動現象に関する学理及びその応用の研究 極限流、知能流システム、ミクロ熱流動、複雑系流動、◎衝撃波学際応用研究部門
電気通信研究所 (全国共同利用研究所)	4	高密度及び高次の情報通信に関する学理並びにその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所	7	多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 多元設計、多元制御、多元解析、融合システム、◎窒化物結晶（三菱化学・日本製鋼所）、◎有機ナノ結晶科学技術（富士写真フイルム）、◎先端圧電セラミックス（富士セラミックス）

※は客員研究部門を、◎は寄附研究部門を表す。

■ 学内共同教育研究施設等

施設名	設置目的
東北アジア研究センター	東北アジア（東アジア及び北アジア並びに日本をいう。）地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
高等教育開発推進センター	高等教育等に関する研究開発、企画及び支援を行うとともに、併せて教育内容及び教育方法の高度化を推進する。
学術資源研究公開センター	標本、本学の歴史に関する資料その他の本学が所蔵する学術資料の収集及び保管、植物園の敷地内に生育する生物資源の保全並びに学術資料及び生物資源に関する研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
国際高等研究教育機構	異分野の融合領域における新たな研究分野の創出並びにその学理及び応用の研究並びに国際的に通用する若手研究者の養成の推進を図り、もって本学の研究教育の高度化に資する。
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
学際科学国際高等研究センター	部局間の連携により、未踏学際領域を開拓し、国際化を進めて最先端学術分野の創生を目指した研究を行う。
研究教育基盤技術センター	研究教育の推進に資する大型研究設備を設置し、及び管理運営することにより、本学の教員その他これに準ずる者等の共同利用に供し、並びに低温寒剤の安定供給及び低温技術の指導を行うとともに、本学における研究教育の高度化及び融合化並びに社会貢献の推進を図るため、本学の指定する研究設備及び機器を部局との連携により広く学内外への利用に供する。
サイバーサイエンスセンター	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究、基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。

■ 特定事業組織

組織名	設置目的
産学官連携推進本部	広範な領域の学術研究の推進を図り、知の創造に資するとともに、学術研究の成果を本学の知的財産として組織的に管理し、及び活用し、並びに新たな事業の創出を支援することにより、産学官連携の推進及び社会の発展に寄与する。
研究基盤推進本部	戦略的に競争的資金等を獲得するための方策等に関し、企画し、並びに情報を収集し、及び発信することにより、本学の研究推進に資する。
特定領域研究推進支援センター	戦略的及び全学的に特定領域研究を推進するための各種事業を支援することにより、本学における知の創造及び有機的構造化を推進し、並びに研究成果の社会への還元を積極的に支援する。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤（放射性物質を含む廃棄物を除く。）を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
国際交流センター	本学の学生及び研究者の受入れ、派遣、国際展開活動等の支援を行うとともに、外国人留学生及び外国人研究者に対する修学支援及び生活上の支援を行い、もって国際交流の推進を図る。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
グローバルオペレーションセンター	戦略的かつ機動的に国際交流に取り組むことにより、本学が国際競争力のある世界最高水準の研究・教育拠点として発展し、また世界のアカデミック・コミュニティにふさわしい組織を完備する。
キャンパス計画室	本学におけるキャンパスの整備及び将来計画に関する調査・研究、資料作成及び原案の立案に当たるとともに、キャンパス関係委員会を専門的な観点から支援する。
未来医工学治療開発センター	医工学連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチの支援拠点として、医療機器及び医療材料並びに細胞治療、創薬等に関する基礎研究の成果を臨床応用まで一貫して支援するとともに、トランスレーショナルリサーチを担う人材を育成する。

教養教育院

設置目的

本学の学生に対し幅広い教養を身に付けさせるため、高等教育開発推進センターと連携して教養教育の実施及び支援を行い、もって創造力豊かで高い問題解決能力を有する指導的人材の養成に資する。

原子分子材料科学高等研究機構

設置目的

革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異分野融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。

情報シナジー機構

設置目的

本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用及び管理に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供することにより、本学の情報化の推進を図る。

附属図書館

所蔵冊数

(2008年3月31日現在)

区分	種別	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
蔵書冊数	和漢書	1,402,401	165,014	74,592	154,091	72,766	1,868,864
	洋書	1,115,262	261,419	293,219	171,742	60,456	1,902,098
	計	2,517,663	426,433	367,811	325,833	133,222	3,770,962
雑誌	和雑誌	23,671	4,551	1,932	3,460	3,194	36,808
	洋雑誌	16,338	8,840	6,381	3,996	1,685	37,240
	計	40,009	13,391	8,313	7,456	4,879	74,048

利用状況

(2007年度)

区分	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	535,505	166,725	85,981	106,322	32,630	927,163
学外閲覧者	13,145	1,696	452	267	103	15,663
貸出図書	135,949	10,493	13,087	35,242	5,539	200,310
レファレンスサービス	8,998	3,199	3,795	4,253	1,305	21,550
情報検索サービス	16,858	6,815	1,515	1,914	587	27,689
文献複写	10,062	58,082	17,825	21,367	4,017	111,353

蔵書の特徴

1. 国宝	史記 孝文本紀第十(平安時代) 類聚國史 巻第二十五(平安時代)
2. 貴重本	和漢書820点(うち狩野文庫574点) 洋書110点 } 計930点
3. 特殊文庫等	狩野文庫(前記の国宝2点を含む約108,000冊)、榊田(民蔵)文庫、漱石文庫、長谷田(泰三)文庫、須永(重光)文庫、和田(佐一郎)文庫、児島(喜久雄)文庫、大類(伸)文庫、阿部(次郎)文庫、晩翠文庫、梅原(未治)文庫、石津(照暉)文庫、矢島(玄亮)文庫、木下(彰)文庫、河野(与一)文庫、柳瀬(良幹)文庫、伊東(信雄)文庫、中野(正)文庫、中村(吉治)文庫、松本(金寿)文庫、高柳(真三)文庫、宮田(光雄)文庫、和算関係文庫、平山(諦)文庫、秋田家史料、晴山文書、ヴント文庫(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫(Friedrich Stein)、ゼッケル文庫(Emil Seckel)、チーテルマン文庫(Ernst Zitelmann)、西藏大蔵経(デルゲ版)、ヴュルフェル文庫(Georg Würfel)



西藏大蔵経



坤輿萬國全圖



臨觀世之女史蔵卷

■ 病院

(平成20年4月1日現在)

部門	診療科	病床数	
医科部門	内科	循環器内科、感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、老年科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科	1,308
	外科	肝・胆・膵外科、胃腸外科、移植・再建・内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、麻酔科、緩和医療科、呼吸器外科	
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科	
	脳・神経・精神科	神経内科、脳神経外科、脳血管内治療科、精神科	
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科	
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、運動機能再建リハビリテーション科、内部障害リハビリテーション科、高次機能障害リハビリテーション科	
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科、加齢核医学科	
歯科部門	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科、咬合機能成育室	
	口腔維持系診療科	口腔診断科、顎顔面外科、口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科	
	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科	
	口腔修復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科	

患者数

(平成19年度)

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	387,958	1,060.0
歯科部門	8,990	24.6
部門／外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	528,731	2,158.1
歯科部門	135,282	553.1

先進医療

経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法

泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術

悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索



病院

学
生

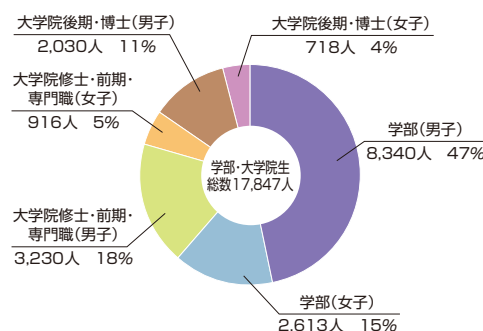
学生総数

区分	学生定員	在籍者	内 留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 日本語研修コース	
			国費	私費	計		
学部学生	9,834	10,953	(2,613)	52	70	122	285
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,772	4,146	(916)	60	274	334	215
大学院学生(後期・博士)	2,859	2,748	(718)	179	261	440	
計	16,465	17,847	(4,247)	291	605	896	500
附属学校	40	40	(27)	-	-	-	-
研究所	-	-	-	-	-	-	36
その他	-	-	-	-	-	-	17
合計	16,505	17,887	(4,274)	291	605	896	553

()の数は女子で内数
私費留学生については、政府派遣留学生を含む

学部

学部名	総定員	在籍者	
文学部	840	956	(529) [14]
教育学部	280	304	(164) [5]
法学部	640	714	(191) [2]
経済学部	1,080	1,197	(263) [15]
理学部	1,296	1,458	(217) [7]
医学部	1,208	1,260	(505) [3]
歯学部	330	325	(115) [0]
薬学部	320	352	(91) [4]
工学部	3,240	3,723	(323) [72]
農学部	600	664	(215) [0]
計	9,834	10,953	(2,613) [122]



()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

大学院

研究科等名	総定員	修士・前期・専門職		在籍者		後期・博士		在籍者	
		総定員	在籍者			総定員	在籍者		
文学研究科	178	171	(75)	[25]	135	238	(83)	[19]	
教育学研究科	83	83	(47)	[10]	58	85	(51)	[10]	
法学研究科	400	324	(66)	[6]	60	48	(19)	[6]	
経済学研究科	180	186	(69)	[63]	60	77	(21)	[26]	
理学研究科	524	533	(80)	[15]	390	248	(34)	[24]	
医学系研究科	120	156	(81)	[10]	597	603	(199)	[49]	
歯学研究科	12	19	(14)	[2]	188	160	(51)	[5]	
薬学研究科	114	161	(46)	[3]	78	65	(11)	[9]	
工学研究科	1,234	1,400	(115)	[77]	608	609	(56)	[163]	
農学研究科	194	261	(95)	[10]	138	115	(30)	[16]	
国際文化研究科	96	96	(68)	[45]	114	101	(61)	[30]	
情報科学研究科	240	281	(30)	[35]	171	146	(30)	[30]	
生命科学研究科	212	216	(77)	[9]	141	104	(36)	[13]	
環境科学研究科	130	200	(47)	[14]	96	112	(26)	[35]	
医工学研究科	31	32	(3)	[1]	10	22	(2)	[4]	
教育情報学部	24	27	(3)	[9]	15	15	(8)	[1]	
計	3,772	4,146	(916)	[334]	2,859	2,748	(718)	[440]	

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

附属学校

学校名	定員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	18(10)	40(27)

()の数は女子で内数



東北大学祭「百『華』繚乱」 平成19年11月2日~4日

入学状況

(平成20年度)

学部		入学定員	入学志願者	入学者
文学部		210	737 (333)	219 (116)
教育学部		70	201 (101)	74 (37)
法学部		160	457 (123)	163 (44)
経済学部		260	1,299 (220)	270 (48)
		20	45 (17)	21 (10)
理学部		324	1,420 (239)	337 (55)
医学部	医学科	100	554 (113)	101 (17)
	保健学科	144	399 (278)	151 (97)
		16	62 (46)	17 (13)
歯学部		55	210 (83)	55 (22)
薬学部		80	258 (90)	88 (20)
工学部		810	2,314 (261)	877 (87)
農学部		150	480 (181)	166 (52)
計		2,363	8,329 (2,022)	2,501 (595)
		36	107 (63)	38 (23)

()の数は女子で内数

下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、()の数は女子で内数

大学院

(平成20年度)

研究科等名	修士・前期・ 後期・博士・ 専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文学研究科	前期	89	129 (54)	68 (32)
	後期	45	38 (10)	26 (7)
教育学研究科	前期	43	102 (63)	39 (24)
	後期	18	39 (17)	17 (9)
法学研究科	前期	20	22 (6)	7 (3)
	後期	20	12 (3)	5 (2)
	専門職	130	601 (127)	120 (21)
経済学研究科	前期	50	89 (39)	35 (17)
	後期	20	10 (2)	9 (2)
	専門職	40	75 (18)	30 (10)
理学研究科	前期	262	329 (45)	250 (39)
	後期	130	72 (6)	72 (6)
医学系研究科	修士	44	108 (53)	87 (43)
	博士	130	146 (35)	142 (33)
	前期	28	34 (17)	27 (13)
	後期	11	10 (5)	9 (5)
歯学研究科	修士	6	7 (4)	7 (4)
	博士	47	47 (16)	44 (15)
薬学研究科	前期	57	107 (35)	76 (24)
	後期	26	13 (2)	13 (2)
工学研究科	前期	636	880 (66)	688 (55)
	後期	174	140 (9)	128 (8)
農学研究科	前期	97	157 (56)	125 (45)
	後期	46	31 (9)	30 (8)
国際文化研究科	前期	48	62 (47)	37 (31)
	後期	38	28 (19)	18 (12)
情報科学研究科	前期	120	173 (19)	126 (14)
	後期	57	36 (9)	34 (9)
生命科学研究科	前期	106	163 (67)	105 (41)
	後期	47	25 (10)	23 (10)
環境科学研究科	前期	65	107 (20)	87 (16)
	後期	32	21 (4)	20 (3)
医工学研究科	前期	31	14 (2)	12 (2)
	後期	10	18 (1)	18 (1)
教育情報学教育部	前期	12	16 (3)	10 (0)
	後期	5	7 (4)	5 (3)
計	修士	50	115 (57)	94 (47)
	博士	177	193 (51)	186 (48)
	前期	1,664	2,384 (539)	1,692 (356)
	後期	679	500 (110)	427 (87)
	専門職	170	676 (145)	150 (31)

()の数は女子で内数



平成20年度東北大学入学式 平成20年4月2日

入学状況

(平成20年4月1日現在)

出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

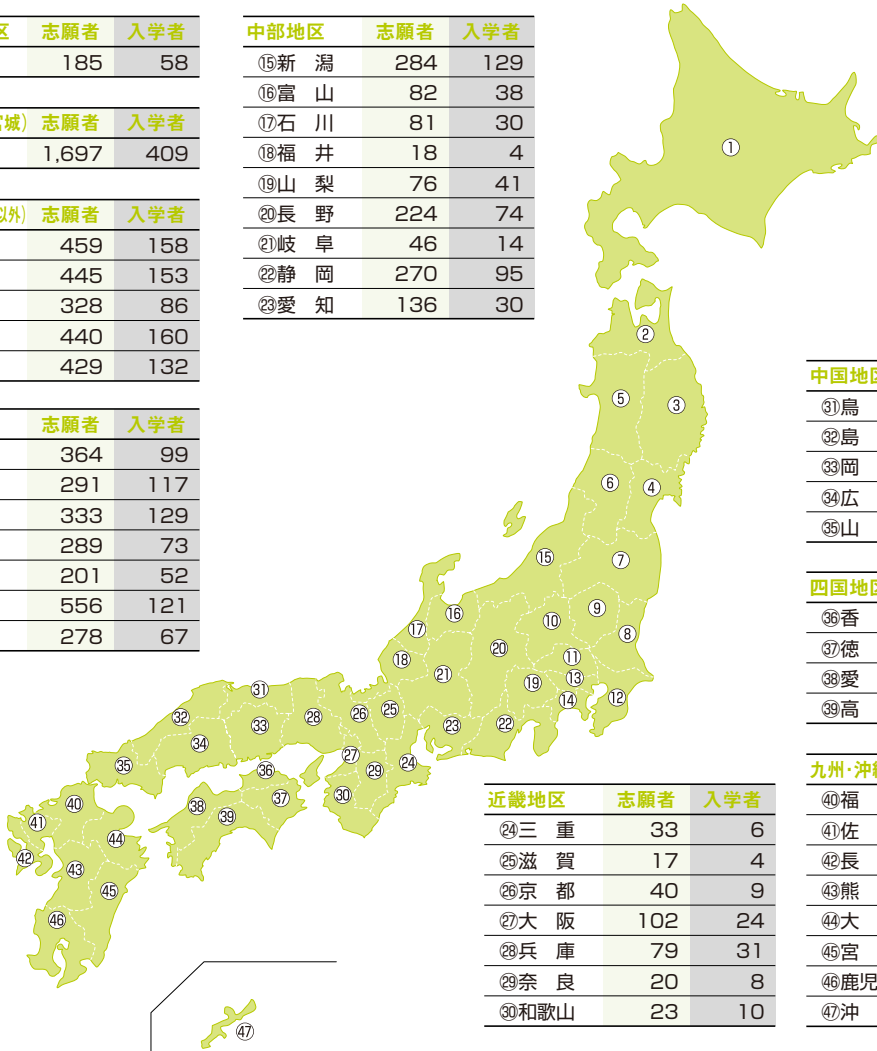
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	185	58

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1,697	409

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	459	158
③岩手	445	153
⑤秋田	328	86
⑥山形	440	160
⑦福島	429	132

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	364	99
⑨栃木	291	117
⑩群馬	333	129
⑪埼玉	289	73
⑫千葉	201	52
⑬東京	556	121
⑭神奈川	278	67

中部地区	志願者	入学者
⑮新潟	284	129
⑯富山	82	38
⑰石川	81	30
⑱福井	18	4
⑲山梨	76	41
⑳長野	224	74
㉑岐阜	46	14
㉒静岡	270	95
㉓愛知	136	30



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	19	4
㉕島根	12	6
㉖岡山	25	4
㉗広島	51	16
㉘山口	21	6

四国地区	志願者	入学者
㉙香川	20	5
㉚徳島	13	7
㉛愛媛	39	18
㉜高知	7	2

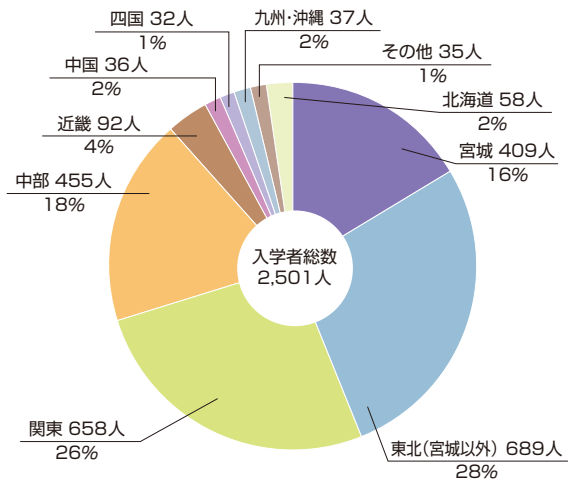
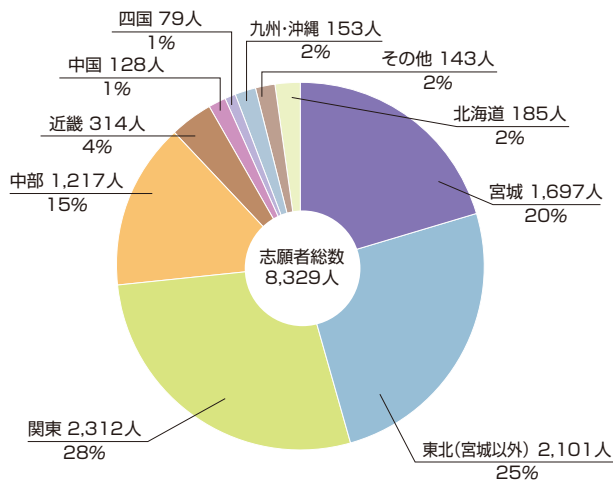
近畿地区	志願者	入学者
㉝三重	33	6
㉞滋賀	17	4
㉟京都	40	9
㊱大阪	102	24
㊲兵庫	79	31
㊳奈良	20	8
㊴和歌山	23	10

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㊵福岡	52	11
㊶佐賀	16	0
㊷長崎	11	2
㊸熊本	12	5
㊹大分	12	5
㊺宮崎	7	3
㊻鹿児島	26	5
㊼沖縄	17	6

志願者	入学者	
その他	143	35

※その他は、帰国生徒、高専等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

平成20年度 学部入学者の出身地区別内訳



学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(平成20年3月31日現在)

区分	旧制	新制	
		平成19年度	累計
文学部	1,277	222	9,301
教育学部	—	80	6,226
法学部	3,844	158	11,248
経済学部	1,446	271	11,989
理学部	2,747	327	13,849
医学部	3,290	234	5,776
歯学部	—	54	2,143
薬学部	—	78	3,270
工学部	3,953	832	40,427
農学部	679	144	7,758
計	17,236	2,400	111,984

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数(修士)

(平成20年3月31日現在)

区分	平成19年度	累計
文学研究科	62	2,893
教育学研究科	37	938
法学研究科	7	540
経済学研究科	54	946
理学研究科	240	7,764
医学系研究科	36	354
歯学研究科	8	21
薬学研究科	72	1,796
工学研究科	707	18,364
農学研究科	117	3,019
国際文化研究科	34	548
情報科学研究科	146	1,836
生命科学研究科	104	620
環境科学研究科	104	375
教育情報学教育部	7	48
計	1,735	40,062

学位授与者数(専門職)

(平成20年3月31日現在)

区分	平成19年度	累計
公共法政策修士(専門職)	23	73
法務博士(専門職)	93	217
会計修士(専門職)	36	71
計	152	361

学位授与者数(博士)

(平成20年3月31日現在)

区分	旧制	新制(課程)		新制(論博)	
		平成19年度	累計	平成19年度	累計
文学研究科	96	26	278	9	246
教育学研究科	—	8	102	2	111
法学研究科	38	9	81	0	52
経済学研究科	50	14	178	2	106
理学研究科	944	78	2,452	7	1,237
医学系研究科	3,715	112	2,720	11	3,420
歯学研究科	—	42	479	5	201
薬学研究科	—	11	419	5	523
工学研究科	554	160	4,013	8	2,198
農学研究科	152	29	943	6	733
国際文化研究科	—	18	95	1	6
情報科学研究科	—	32	439	1	51
生命科学研究科	—	27	130	4	12
環境科学研究科	—	27	101	0	14
教育情報学教育部	—	3	6	1	1
計	5,549	596	12,436	62	8,911



平成20年3月東北大学学位記授与式 平成20年3月25日

卒業後の状況 進路状況調(平成19年度卒業修了)

(平成20年4月1日現在)

学部

区分	卒業生数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学部	222 (121)	49 (24)	-	132 (86)	21 (12)	111 (74)	41 (11)
教育学部	80 (37)	18 (9)	-	48 (21)	13 (5)	35 (16)	14 (7)
法学部	158 (52)	45 (17)	-	86 (26)	8 (4)	78 (22)	27 (9)
経済学部	271 (60)	25 (7)	-	220 (49)	34 (8)	186 (41)	26 (4)
理学部	327 (57)	276 (47)	-	39 (7)	4 (1)	35 (6)	12 (3)
医学部	6年	88 (16)	1 (1)	86 (15)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	4年	146 (94)	39 (18)	0 (0)	94 (69)	43 (29)	51 (40)
歯学部	54 (21)	0 (0)	47 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (3)
薬学部	78 (27)	63 (20)	-	11 (5)	0 (0)	11 (5)	4 (2)
工学部	832 (67)	726 (53)	-	89 (13)	9 (2)	80 (11)	17 (1)
農学部	144 (56)	118 (45)	-	20 (9)	2 (2)	18 (7)	6 (2)
計	2,400 (608)	1,360 (241)	133 (33)	739 (285)	134 (63)	605 (222)	168 (49)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:前期2年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学研究科	62 (21)	14 (2)	-	32 (13)	7 (4)	25 (9)	16 (6)
教育学研究科	37 (24)	5 (3)	-	23 (16)	11 (8)	12 (8)	9 (5)
法学研究科	7 (2)	2 (0)	-	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (2)
経済学研究科	54 (25)	12 (4)	-	26 (13)	4 (3)	22 (10)	16 (8)
理学研究科	240 (36)	80 (10)	-	147 (24)	8 (1)	139 (23)	13 (2)
医学系研究科	20 (15)	11 (9)	0 (0)	7 (4)	5 (2)	2 (2)	2 (2)
歯学研究科	-	-	-	-	-	-	-
薬学研究科	72 (25)	9 (1)	-	61 (23)	5 (1)	56 (22)	2 (1)
工学研究科	707 (48)	71 (2)	-	619 (42)	24 (3)	595 (39)	17 (4)
農学研究科	117 (42)	18 (5)	-	88 (34)	7 (4)	81 (30)	11 (3)
国際文化研究科	34 (24)	16 (12)	-	7 (6)	1 (1)	6 (5)	11 (6)
情報科学研究科	146 (19)	21 (4)	-	99 (10)	8 (1)	91 (9)	26 (5)
生命科学研究科	104 (33)	23 (12)	-	61 (17)	0 (0)	61 (17)	20 (4)
環境科学研究科	104 (21)	10 (2)	-	89 (15)	7 (1)	82 (14)	5 (4)
教育情報学教育部	7 (3)	1 (0)	-	4 (1)	2 (1)	2 (0)	2 (2)
計	1,711 (338)	293 (66)	0 (0)	1,265 (218)	90 (30)	1,175 (188)	153 (54)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:後期3年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
文学研究科	26 (7)	0 (0)	-	14 (5)	3 (0)	11 (5)	12 (2)	0 (0)
教育学研究科	8 (1)	0 (0)	-	4 (1)	0 (0)	4 (1)	4 (0)	2 (0)
法学研究科	9 (4)	0 (0)	-	2 (1)	2 (1)	0 (0)	7 (3)	0 (0)
経済学研究科	14 (7)	0 (0)	-	6 (3)	0 (0)	6 (3)	8 (4)	0 (0)
理学研究科	78 (17)	0 (0)	-	48 (10)	7 (1)	41 (9)	30 (7)	6 (1)
医学系研究科	6 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (2)	3 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)
歯学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-
薬学研究科	11 (0)	0 (0)	-	9 (0)	1 (0)	8 (0)	2 (0)	0 (0)
工学研究科	160 (13)	0 (0)	-	105 (6)	10 (0)	95 (6)	55 (7)	2 (1)
農学研究科	29 (7)	0 (0)	-	12 (4)	4 (1)	8 (3)	17 (3)	0 (0)
国際文化研究科	18 (13)	0 (0)	-	3 (2)	0 (0)	3 (2)	15 (11)	9 (7)
情報科学研究科	32 (4)	0 (0)	-	17 (2)	5 (2)	12 (0)	15 (2)	0 (0)
生命科学研究科	27 (6)	0 (0)	-	9 (2)	2 (2)	7 (0)	18 (4)	0 (0)
環境科学研究科	27 (4)	0 (0)	-	22 (1)	1 (0)	21 (1)	5 (3)	0 (0)
教育情報学教育部	3 (1)	0 (0)	-	2 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)
計	448 (86)	0 (0)	0 (0)	258 (40)	39 (8)	219 (32)	190 (46)	20 (9)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:修士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
医学系研究科	16 (7)	6 (3)	0 (0)	9 (3)	3 (1)	6 (2)	1 (1)	0 (0)
歯学研究科	8 (5)	3 (2)	0 (0)	5 (3)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	24 (12)	9 (5)	0 (0)	14 (6)	8 (4)	6 (2)	1 (1)	0 (0)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:博士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
医学系研究科	106 (28)	1 (1)	8 (0)	83 (21)	59 (15)	24 (6)	14 (6)	0 (0)
歯学研究科	42 (10)	0 (0)	0 (0)	27 (7)	21 (4)	6 (3)	15 (3)	0 (0)
計	148 (38)	1 (1)	8 (0)	110 (28)	80 (19)	30 (9)	29 (9)	0 (0)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:専門職学位課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
法学研究科	23 (5)	0 (0)	-	21 (4)	1 (0)	20 (4)	2 (1)
法学研究科(法科大学院)	93 (19)	0 (0)	-	4 (0)	0 (0)	4 (0)	89 (19)
経済学研究科	36 (11)	0 (0)	-	10 (2)	0 (0)	10 (2)	26 (9)
計	152 (35)	0 (0)	0 (0)	35 (6)	1 (0)	34 (6)	117 (29)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

産業別就職者数

(平成20年4月1日現在)

学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農・林・漁業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	2	0	0	4	1	0	0	0	4	0	11
製造業	27	11	15	51	8	5	0	0	51	9	177
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	5	17	0	0	0	0	3	0	29
通信・運輸業	16	2	3	26	6	1	0	0	15	1	70
卸売・小売業	9	1	2	6	1	0	0	6	3	1	29
金融・保険業	14	1	9	62	6	1	0	0	2	2	97
不動産業	1	1	5	2	1	0	0	0	0	0	10
飲食店・宿泊業	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
医療・福祉	1	0	2	1	0	69	0	3	0	0	76
教育・学習支援業	10	9	1	2	6	0	0	0	1	0	29
複合サービス事業	7	0	0	2	2	1	0	0	0	1	13
サービス業	10	2	9	8	3	5	0	0	2	0	39
公務	31	18	32	34	3	11	0	2	7	5	143
その他	1	0	2	4	2	1	0	0	1	1	12
計	132	48	86	220	39	94	0	11	89	20	739

大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	教育情報学	計
農・林・漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	5
鉱業	1	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	7
建設業	0	1	0	0	1	0	0	0	32	1	0	0	0	2	0	37
製造業	8	1	2	7	102	7	0	48	488	50	0	64	42	70	0	889
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0	0	3	0	0	0	36	1	0	2	0	4	0	47
通信・運輸業	6	0	3	7	30	1	0	0	53	2	0	25	5	8	2	142
卸売・小売業	0	2	0	1	0	0	0	4	5	8	1	0	1	0	0	22
金融・保険業	0	1	7	6	9	0	0	0	6	1	2	3	0	2	0	37
不動産業	0	0	0	0	1	0	0	0	4	1	0	1	0	0	0	7
飲食店・宿泊業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
医療・福祉	2	2	0	0	0	73	29	9	0	1	0	1	1	0	0	118
教育・学習支援業	22	7	3	5	15	18	3	1	25	3	4	10	6	7	3	132
複合サービス事業	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	8
サービス業	1	2	3	9	20	4	0	4	50	12	2	6	4	3	0	120
公務	5	11	10	4	6	1	0	3	13	13	0	1	2	9	1	79
その他	0	0	0	2	3	0	0	1	11	0	0	2	7	4	0	30
計	46	27	29	42	195	104	32	70	724	100	10	116	70	111	6	6,1682

■ 学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	根元 義章		理事
文化部	末光 眞希	電気通信研究所	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
生活部	小菅 一弘	工学研究科	教授
報道部	大村 泉	経済学研究科	教授

文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	境田 清隆	環境科学研究科	教授
2 混声合唱部	島途 健一	国際文化研究科	教授
3 交響楽部	松原 洋一	医学系研究科	教授
4 文芸部			
5 美術部	芳賀 京子	文学研究科	准教授
6 映画部	原 研二	文学研究科	教授
7 演劇部	浅野 裕一	環境科学研究科	教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	工藤 純一	東北アジア研究センター	教授
10 能楽部	牧原 出	法学研究科	教授
11 邦楽部	早川 美徳	理学研究科	准教授
12 放送研究部	村岡 裕明	電気通信研究所	教授
13 アマチュア無線部	曾根 秀昭	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	山田 誠	国際文化研究科	准教授
16 囲碁部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
17 奇術部	松木 英敏	医工学研究科	教授
18 軽音楽部	澤谷 邦男	工学研究科	教授
19 マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教授
20 化学部	飛田 博実	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	金崎 芳輔	経済学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	井上 祥雄	工学研究科	教授
24 書道部	猪又 宏	工学研究科	教授

体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	山田 章吾	病院	教授
3 準硬式野球部	横堀 壽光	工学研究科	教授
4 硬式庭球部	岡 芳知	医学系研究科	教授
5 軟式庭球部	松木 英敏	医工学研究科	教授
6 ラグビー部	荒井 陽一	医学系研究科	教授
7 男子バレーボール部 女子バレーボール部	長坂 徹也	環境科学研究科	教授
8 蹴球部	土屋 滋	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部	須藤 彰三	理学研究科	教授
10 卓球部	三橋 博三	工学研究科	教授
11 山岳部	川村 宏	理学研究科	教授
12 水泳部	伊藤 義文	農学研究科	教授
13 漕艇部	黒川 良望	未来医工学センター	教授
14 ヨット部	高木 敏行	流体科学研究所	教授
15 スケート部	井上 克己	工学研究科	教授
16 乗馬部	工藤 昭彦	農学研究科	教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	村本 光二	生命科学研究所	教授
19 スキー部	日出間 純	生命科学研究所	准教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	小濱 泰昭	流体科学研究所	教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	鈴木 章二	理学研究科	准教授
24 空手道部	大滝 精一	経済学研究科	教授
25 自動車部	和田 仁	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	植松 康	工学研究科	教授
27 ゴルフ部	板谷 謹悟	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	環境科学研究科	准教授
29 フェンシング部	佐藤 明	医学系研究科	准教授
30 応援団	岡村 州博	医学系研究科	教授
31 サイクリング部	中井 裕	農学研究科	教授
32 ボディビル部	宮腰 英一	教育学研究科	教授
33 少林寺拳法部	佐藤 正明	医工学研究科	教授
34 体操部	中島 信博	教育学研究科	教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	中畑 則道	薬学研究科	教授
38 アーチェリー部	大島 徹	国際文化研究科	准教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
41 アイススケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
42 レーシングカート部	(選考中)		
43 極真カラテ部	石井 圭一	農学研究科	准教授
44 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
45 ソフトボール部	徳山 豪	情報科学研究科	教授



第47回全国七大学総合体育大会 平成19年12月8日～14日
「アイスホッケーの部」東北大学優勝



財 務

平成19年度決算

平成19年度貸借対照表

(平成20年3月31日)

		(単位:百万円)	
科目	金額		
資産の部	343,286		
固定資産	302,275		
有形固定資産	301,411		
土地	135,580		
建物・構築物	101,269		
機械備品	37,622		
図書・美術品	25,154		
船舶・車両	129		
建設仮勘定	1,639		
その他	16		
無形固定資産	777		
投資その他資産	86		
流動資産	41,010		
現金・預金	32,101		
未収入金	6,920		
たな卸資産等	1,989		

		(単位:百万円)	
科目	金額		
負債の部	147,131		
固定負債	108,789		
資産見返負債	48,742		
長期寄附金債務等	278		
国立大学財務・経営センター債務負担金	30,510		
その他借入金	18,139		
長期未払金等	11,120		
流動負債	38,341		
運営費交付金債務	2,950		
寄附金債務等	10,822		
預り金	1,949		
一年以内返済予定			
国立大学財務・経営センター債務負担金	3,409		
一年以内返済予定借入金	581		
未払金	18,117		
未払費用等	510		
純資産の部	196,155		
資本金	180,227		
資本剰余金	4,930		
利益剰余金	10,997		

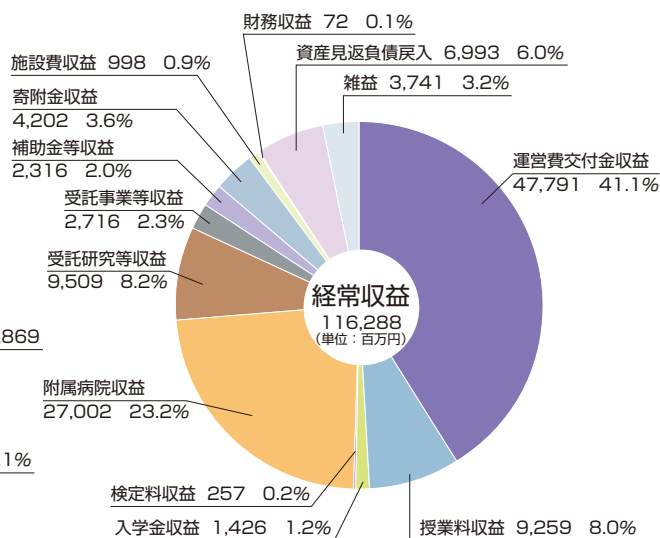
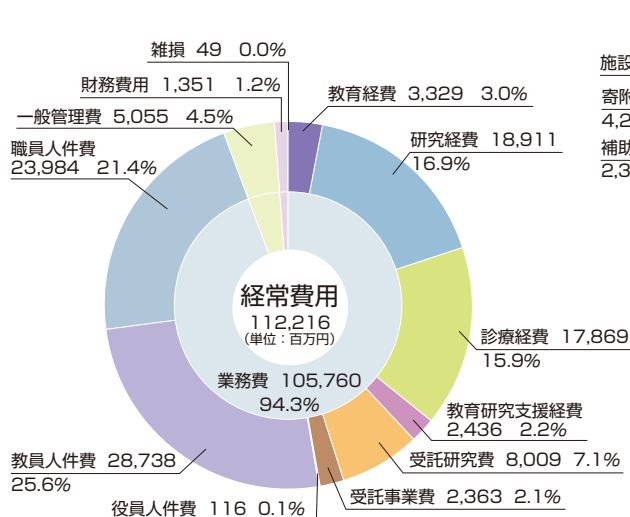
平成19年度損益計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

		(単位:百万円)	
科目	金額		
経常費用	112,216		
業務費	105,760		
教育経費	3,329		
研究経費	18,911		
診療経費	17,869		
教育研究支援経費	2,436		
受託研究費	8,009		
受託事業費	2,363		
役員人件費	116		
教員人件費	28,738		
職員人件費	23,984		
一般管理費	5,055		
財務費用	1,351		
雑損	49		
臨時損失	192		

		(単位:百万円)	
科目	金額		
経常収益	116,288		
運営費交付金収益	47,791		
授業料収益	9,259		
入学金収益	1,426		
検定料収益	257		
附属病院収益	27,002		
受託研究等収益	9,509		
受託事業等収益	2,716		
補助金等収益	2,316		
寄附金収益	4,202		
施設費収益	998		
財務収益	72		
資産見返負債戻入	6,993		
雑益	3,741		
経常利益	4,071		
臨時利益	257		
当期純利益	4,137		
目的積立金取崩額	74		
当期総利益	4,212		

※6月1日現在 文部科学省未承認



研究費等受入状況

(平成19年度)

科学研究費補助金

研究種目	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	14	932,793	279,838	1,212,631
特定領域研究	226	1,826,556	-	1,826,556
基盤研究(S・A・B・C)	923	3,923,544	1,177,063	5,100,607
萌芽研究	249	366,103	-	366,103
若手研究(S・A・B・スタートアップ)	548	1,164,171	161,218	1,325,389
奨励研究	14	10,340	-	10,340
特別研究促進費	2	2,900	-	2,900
研究成果公開促進費 (研究成果公开发表(A)・学術図書・データベース)	8	25,000	-	25,000
特別研究員奨励費	313	292,329	-	292,329
学術創成研究費	7	491,100	147,330	638,430
計	2,304	9,034,836	1,765,449	10,800,285

寄付金・受託研究等

区分	件数(件)	受入金額(千円)
寄附金	2,687	4,871,786
民間等との共同研究	698	2,085,998
受託研究等経費		
受託研究	一般	338
	競争的資金	216
	小計	554
学術指導	1,252	11,186,881
計	121	96,131
	4,060	16,154,798

その他補助金

経費	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
21世紀COEプログラム	8	1,185,500	118,550	1,304,050
グローバルCOEプログラム	5	1,266,100	379,830	1,645,930
産業技術研究助成事業	56	341,190	100,617	441,807
厚生労働科学研究費補助金	35	954,242	102,541	1,056,783
廃棄物処理等科学研究費補助金	6	45,540	9,712	55,252
大学改革推進等補助金	5	170,356	0	170,356
革新的実用原子力技術開発費補助金	2	138,642	6,758	145,400
研究拠点形成費等補助金 (21世紀COE、グローバルCOEプログラムを除く)	8	626,907	130,838	757,745
国際共同研究助成事業	1	22,530	0	22,530
大学発事業創出実用化研究開発事業	1	42,739	0	42,739
原子力研究環境整備補助金	2	34,088	0	34,088
建設技術研究開発助成制度	2	36,492	10,948	47,440
がん診療連携拠点病院機能強化事業	1	16,689	0	16,689
計	132	4,881,015	859,794	5,740,809



世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「原子分子材料科学高等研究機構」
研究風景 原子レベル制御によるナノ物質科学の創成



グローバルCOEプログラム「脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点」
研究風景 (大隅典子教授：左)

■ 土地・建物

(平成20年4月1日現在)

(単位:㎡)

地区名/面積		土地			建物			
		所有	借入	計	所有	借入	計	
宮城県	仙台市	片平地区	237,532	31	237,563	156,645	—	156,645
		米ヶ袋地区	3,231	—	3,231	512	—	512
		川内・青葉山地区	2,583,256	14,942	2,598,198	422,407	—	422,407
		星陵地区	179,155	59	179,214	259,767	—	259,767
		雨宮地区	92,746	—	92,746	31,297	—	31,297
		三条地区	50,612	—	50,612	10,776	—	10,776
		富沢地区	113,877	—	113,877	8,659	—	8,659
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781
		宮城地区	—	399	399	26	—	26
		秋保地区	—	4	4	—	20	20
		越路地区	—	2	2	—	—	—
		北中山地区	—	58	58	—	—	—
		八木山地区	12,810	—	12,810	1,520	—	1,520
		学生寄宿舍	44,212	—	44,212	22,660	—	22,660
		職員宿舎	80,834	—	80,834	43,152	—	43,152
		小計	3,416,933	15,495	3,432,428	958,202	20	958,222
	仙台市外	蔵王地区	—	30,287	30,287	399	—	399
		七ヶ浜地区	—	528	528	355	—	355
		女川・牡鹿地区	23,463	43,338	66,801	1,922	—	1,922
		鹿島台地区	10,077	—	10,077	270	—	270
		鳴子・川渡地区	18,541,862	1,347	18,543,209	17,521	—	17,521
		名取地区	1,863	454	2,317	1,050	—	1,050
		釜房地区	—	144	144	—	5	5
		小牛田地区	—	1,038	1,038	19	—	19
		気仙沼地区	—	112	112	—	—	—
		米山地区	—	1,600	1,600	101	—	101
		丸森地区	—	181	181	6	—	6
		若柳地区	—	100	100	12	—	12
		その他の地区	—	68	68	—	—	—
		職員宿舎	5,411	1,123	6,534	1,516	—	1,516
		小計	18,582,676	80,320	18,662,996	23,171	5	23,176
		計	21,999,609	95,815	22,095,424	981,373	25	981,398
宮城県外	青森県	28,506	76,290	104,796	2,658	—	2,658	
	秋田県	1,049	6,611	7,660	932	—	932	
	山形県	—	1,452	1,452	298	—	298	
	岩手県	10,012	18,159	28,171	934	—	934	
	福島県	990	25,887	26,877	362	—	362	
	新潟県	—	315	315	6	—	6	
	埼玉県	660	1	661	739	—	739	
	茨城県	4,541	12,161	16,702	6,086	—	6,086	
	栃木県	—	25	25	—	—	—	
	岐阜県	—	666	666	424	—	424	
	計	45,758	141,567	187,325	12,439	—	12,439	
合計	22,045,367	237,382	22,282,749	993,812	25	993,837		

特色ある研究・教育・社会貢献活動

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)

原子分子材料科学高等研究機構(WPI-AIMR)

文部科学省の「世界トップレベル研究拠点形成促進プログラム(World Premier International Research Center Initiative = WPI)」において、「国際高等原子分子材料研究拠点構想」が全国5拠点の1つとして採択され、平成19年10月に原子分子材料科学高等研究機構(WPI Advanced Institute for Materials Research = WPI-AIMR)を発足しました。

WPI-AIMRは、世界中から第一線の材料科学、物理学、化学、機械工学・電子工学の研究者が集い、異分野を融合させて、従来の既成概念を凌駕した斬新な原子分子制御法により、新物質・新材料の創製、これらを用いたデバイス開発、社会還元を軸とする材料システムの構築など、唯一無比の国際材料科学研究拠点の形成を目指します。

材料科学分野

構成原子クラスターの制御により金属ガラスの大型化、高強度及び高機能化を実現し、世界唯一無比の非平衡相先端材料の開発を行う。

ナノ物理学分野

世界最先端の計測機器の開発を行い、ナノ材料の物性解明及び新規ナノ物質群の開拓を行う。

ナノ化学分野

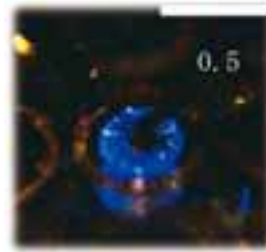
分子の自己組織化による有機・無機ハイブリッド材料の開発など、材料科学の未踏分野ともいえるソフトマテリアルの開拓を行う。

デバイス・システム分野

21世紀の情報化社会を支える微小電気機械システムに多様な機能をもたらす材料、新磁性体の探索、先端光通信、超高性能LSIの開発を行う。



新規Z系バルク金属ガラス(最大直径30mm)



世界初のエコ型発光材料を用いた紫外発光素子

COE等

グローバルCOE

グローバルCOEプログラムは、平成14年度から文部科学省において開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的として設置されたものです。

平成19年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
生命科学 大隅 典子 教授	脳神経科学	脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点	遺伝子から個体の行動までを扱う「ゲノム行動神経科学」、脳機能を身体との相互作用によって理解する「身体性認知脳科学」、人間を取り巻く環境や人間同士の関連性までを包括する「社会脳科学」という新規の脳神経科学分野を推し進める研究を通じ、脳神経基礎科学の研究者を国内外のアカデミアに輩出することを目指します。また、育成されるべき人材が社会で果たす役割を意識したアウトカム指向の教育を提供し、脳画像診断、脳数理、精神疾患診断治療、神経経済等の分野の研究者や、先端脳神経科学の素養を社会に還元する教育学者や福祉・介護従事者、創業や福祉機器の開発者、医療行政従事者等の新領域の人材を日本発に育成します。
化学、材料科学 山口 雅彦 教授	複合化学	分子系高次構造体化学国際教育研究拠点	化学の学問的特性に原子・分子レベルの技術革新をもとにして、高度にシステム化するボトムアップ方法論を取りうる点があります。本プログラムでは物質による高機能発現を具現化する目的で、10nm-0.1mmサイズの物質を空間的に制御して配置するとともにその構造体が経時的に変化するプロセスを制御する分子系高次構造体化学の教育研究を行います。あわせて、幅広い物質の高度な研究開発を先端的に担うことのできる博士人材を育成します。
化学、材料科学 後藤 孝 教授	材料工学	材料インテグレーション国際教育研究拠点	材料科学は、全ての産業の基盤をなす学問領域であり、その発展なくして人類の社会活動の発展はありません。本学は、最先端の物質・材料研究教育拠点として、世界を先導してきました。今後、研究開発における世界規模での競争と協調連携は、ますます重要です。本拠点では、社会基盤・生体材料、エレクトロニクス材料、エネルギー・環境材料、物質・材料基礎科学の4分野において、材料インテグレーションの概念(材料科学における融合領域の形成と学際化)を基として、視野の広い世界の第一線で活躍できる人材の育成と、これまでにない新機能・新材料の創製、新材料科学の展開を目指します。
情報、電気、電子 安達 文幸 教授	電気・電子工学	情報エレクトロニクスシステム教育研究拠点	独創的研究を通じた教育により世界をリードする人材を育成し、教育と研究の両面で世界最強の拠点形成を目指しています。教育面では、複眼的視点をもち、独創的科学技術の創出と国際性豊かで基礎からシステム応用に至る幅広い分野で世界的な活躍ができる若手研究者を育成します。研究面では、人間性豊かなコミュニケーションを可能とするグローバルネットワークの構築をめざして、情報・デバイス基礎、ネットワークから知能情報システムに至る幅広い分野が連携した研究を行います。
学際、複合、新領域 山口 隆美 教授	人間工学	新世紀世界の成長焦点に築くナノ工学拠点	21世紀のキーテクノロジーであるナノ工学の成否は新たな学術の地平を切り開く医工融合に基づく人材の育成にかかっています。ナノ工学グローバルCOEプログラムでは、この分野を開拓し発展を担う学生・若手研究者を、国際的に組織された融合領域の教育・研究に没入させます。これを通じ、ナノ工学を含む21世紀の科学技術の担い手である東アジア・環太平洋地域の諸国、諸社会をリードするグローバルな拠点を形成します。

計/5件

COE等

平成20年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
医学系 岡 芳知 教授	内科・糖尿病代謝	Network Medicine 創生拠点	疾患研究は、個々の分子の解析から、分子間、臓器間、またそれらが作る階層間で形成されるシグナルネットワークの探求へとパラダイムシフトしています。本GCOEではこのシグナルネットワークを基盤とする新しい医学体系"Network Medicine"を確立し、革新的な診断法・治療法・予防法の開発を目指します。疾患横断・異分野融合型の先端研究と教育活動を一体化して推進し、広く科学を見渡せる視野を持ち、自由な発想で既存の枠組みを超えた科学に挑戦できる研究者を育成します。
数学、物理学、 地球科学 井上 邦雄 教授	物 理 学	物質階層を紡ぐ 科学フロンティアの新展開	21COEの実績に基づき、素粒子から宇宙に亘る物質階層を広くカバーする本拠点では、数学の関与を強化し階層間の連携を蜘蛛の巣のように張り巡らすことでサイエンスウェブを構築し、未踏の科学フロンティアを開拓します。さらに物理でカバーできなかった化学・生物・地球などの中間階層への波及を行い、哲学講座との連携も開拓することで物質階層を鳥瞰する視点からの宇宙物質像の統一的研究を目指します。また、この科学フロンティアの新展開を教育に活かし、産学官の広い分野に多くの有能な人材を輩出します。
数学、物理学、 地球科学 大谷 栄治 教授	地球惑星科学	変動地球惑星学の 統合教育研究拠点	本拠点では、地球と惑星系の多様な変動現象のメカニズムを解明し、その統合的理解を目的とした「変動地球惑星学」の創出を目指します。本拠点では多様な時間スケールの現象を超高精度で観測・分析し、未踏再現実験を行い、多様な空間スケールの不均質性を高解像度で解析し、地球惑星の変動と地球環境変動を解明します。そして、国際連携に基づく先端的研究とそれに連携する大学院教育を実施し、課題発掘力、技術開発力を持ちフィールドに強く、統合力と総合力を有する国際的若手研究リーダーを育成し、自然災害・環境変動など人類が直面する多様な課題に取り組む優れた人材を育成します。
機械、土木、建築、 その他工学 圓山 重直 教授	総 合 工 学	流動ダイナミクス 知の融合教育研究世界拠点	本プログラムは、流動ダイナミクスを基軸に置き、情報科学、化学工学、医工学との異分野融合、これまで形成してきた国際ネットワークを活用した多国間研究融合、多面的な価値観を理解できる国際的な異文化融合などの知の融合によって、流動融合分野の基礎学理を構築すると共に、国際連携フロンティアプロジェクト研究推進によりイノベーション科学技術領域を創成し、総合学術領域としての流動ダイナミクスの研究教育世界拠点を確立することを目的としています。
社会科学 佐藤 嘉倫 教授	社 会 学	社会階層と不平等教育 研究拠点の世界的展開	本プログラムでは、21世紀COEプログラム「社会階層と不平等研究教育拠点の形成」と特別推進研究「社会階層と社会移動調査研究」を基盤として、階層・不平等・格差の研究拠点を世界的に展開します。そして格差問題に対して融合的にアプローチし、格差の綿密な測定、格差を生み出す社会的メカニズムの解明、格差の影響の研究を推進し、格差是正のための政策提言を行います。また教育面では、優れた人材育成プログラムにより、世界で活躍する、タフで独創的な人材を育成します。
社会科学 辻村 みよ子 教授	法学・政治学	グローバル時代の 男女共同参画と多文化共生	この拠点は、21世紀COE「男女共同参画社会の法と政策」の成果を継承・発展させて「グローバル時代の男女共同参画（ジェンダー平等）と多文化共生」に関する世界的ネットワークを確立し、社会科学を総合する学際融合研究教育基盤を創生することを目的としています。東京大学社会科学研究所や海外の諸機関との連携に基づいた人材育成プログラムにより、若手研究者・法曹実務家・政策担当者など高度な専門家を養成することを旨とし、教育研究の成果を政策に還元します。
学際・複合・新領域 中静 透 教授	環 境 学	環境激変への生態系適応に 向けた教育研究	避けられない環境変化に対して、生物・生態系の適応力を生かした対策をおこなう複合的分野の確立と、そのための人材育成および社会への発信を目的とした教育研究拠点を創出します。生物・生態システムのもつ頑健性や回復力の基礎的解明を行うと同時に、それを応用した技術の開発、さらに社会システムとしての定着まで一連の学問体系を確立します。研究能力・専門性だけでなく、国際的視野、社会性・実践力をもつ人材を育成し、国際機関、企業、NGO、自治体との環境機関コンソーシアムを通じて社会に発信します。

計/7件

21世紀COE

21世紀COEプログラムは、我が国の大学が世界トップレベルの大学と伍して、教育及び研究水準の向上や世界をリードする創造的人材を育成していくために、競争的環境を醸成し、学問分野ごとに、世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援することにより、活力に富み、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進することを目的に平成14年度から、文部科学省に新規事業として措置されたものです。

平成16年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
革新的な学術分野 今井 潤 教授	臨 床 薬 学	医薬開発統括学術分野 創生と人材育成拠点	ある薬が人類の健康と福祉に貢献するまでに成長するためには様々な過程が必要です。基礎的な創薬科学にはじまり、人への応用までの過程です。殊に人への応用の過程では、医学、薬学に加えて、倫理、経済等を含めた知識と経験の集約・統括が必要です。本拠点はこうした知識と経験を有する職能を育成し、臨床開発の提案から管理までを担える「医薬開発学術研究機構(Academic Research Organization)」への発展を期します。

計/1件

主な科学技術振興調整費

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、各府省の施策の先鞭となるもの、各府省毎の施策では対応できていない境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組むべきもの等で、政府誘導効果が高いものに活用される経費です。

平成18年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
若手研究者の自立的な研究環境整備促進	工学研究科・加齢医学研究所	先端融合領域フロンティアプログラム	国際的な競争環境下で世界的なレベルで先端領域の開拓ができる人材の育成を推進することを目的としています。
女性研究者支援モデル育成	全学(自然科学系)	杜の都女性科学者ハードリング支援事業	女性科学者のキャリアパスに障害となる様々なハードルの乗り越えを支援することを目的としています。
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成	工学研究科	ナノ・マイクロものづくり-ITの融合領域	MEMS技術を中心とする異分野技術の融合によって、産学連携で次世代・次々世代の産業技術を創出し、総合的な「ものづくり」イノベーション拠点を構築することを目的としています。

平成19年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成	全学(工学研究科)	マイクロシステム融合研究開発拠点	集積化マイクロシステムを中核に、機械、電気・電子、材料、化学、電気化学、バイオ工学、医学などの様々な技術を融合させて、我が国の次世代産業の種を創るイノベーション創出拠点を形成するとともに、イノベーションに繋げるための研究開発システム、新しい産学連携モデルの構築を目的としています。

教育

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

特色ある大学教育支援プログラム

各大学・短期大学が実施している大学教育の改善に資する取組を、更に充実・発展する特色ある優れた取組を選定・支援するものです。

実施年度	プログラム名称	内容
平成17年度～平成20年度	融合型理実科実験が育む自然理解と論理的思考	融合型理実科実験は、従来のような物理学、化学、生物学、地学に分けた方式ではなく、「同じ現象を違った側面から実験し、複雑な自然の現象を論理的に整理し、記述することを学べる」ように、まったく新しい発想で実験を設計し開講します。
平成18年度～平成20年度	「学びの転換」を育む研究大学型少人数教育	基礎ゼミは、全学的支援体制のもとで運営され、15名平均の学部横断型のクラス編成の下、学生は、実験、実習、調査、合宿等の多彩な授業の中で、特定の課題を調べ、発表、討論する。基礎ゼミを起点として「大学での学び」を構築します。

大学院教育改革支援プログラム

社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材養成のため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援するものです。

実施年度	プログラム名称	内容
平成19年度～平成21年度	実践指向型教育専門職の養成プログラム	学校教育の質的改善・高度化に貢献する教育実践力を備えた専門人材を組織的に養成し、また、教育設計評価専攻を中心として、教育学研究科及び東北大学全体の支援を受け、理論と実践とを融合した教育研究プログラムを展開し、高度職業人と研究者の養成を行います。
平成19年度～平成21年度	理学の実践と応用を志す先端的科学者の養成	国際的に通用する深い専門性を持った先端理学若手研究者を養成するこれまでの理学研究科の大学院教育を基本にしつつ、新たな学問分野や急速な技術革新に対応できる幅広い実践力と応用力を持った「理学の実践と応用を志す先端的科学者」(フロンティア・サイエンティスト)を養成します。
平成19年度～平成21年度	多層的かつ双方向性の大学院医学教育実質化-指導的フィジシャンサイエンティスト養成ルネサンス計画-	「複数教員指導制」の実質化を徹底し、博士(医学)の学位を目指す研究活動の中で自立性・協調性の涵養を図り、また、知識と経験の両面から国際性と学際性を育み、国際的に通用する「指導的フィジシャンサイエンティスト」の育成を目指します。
平成19年度～平成21年度	機械工学フロンティア創成-フライト、ロボティクス、ナノを基盤としたシステム統合イノベーション-	従来型の「研究力重視」の教育方針に加え、社会において即戦力となりうる「実現力重視」へと教育方針を拡大し、鍛え抜かれた優れた人材を国際社会・産業界・学術機関のフロンティアへ送り出すことを目指し、機械工学の各分野を包括した分野融合と、評価基準の多様化を軸とした新しい体系的な大学院教育を実施します。
平成19年度～平成21年度	メディカルバイオエレクトロニクス教育拠点	電気系の大学院学生がバイオに加えて医学の知識を体系的に学ぶことにより、エレクトロニクス技術のバイオ応用およびメディカル応用という、21世紀の人類の福祉にとって重要な学際分野を開拓する能力を身につかせます。
平成19年度～平成21年度	環境フロンティア国際プログラム-国際実務研修を通じた文理融合高度教育-	環境科学研究科と経済学研究科との連携によって、経済システムに関する知識と、理系の環境技術に関する知識とを合わせ持った人材(環境フロンティア)を養成します。

教育

専門職大学院等教育推進プログラム

法曹や教員などの社会的ニーズの高い高度専門職業人を養成する専門職大学院等における教育方法・内容の充実等を図る優れた取組を支援するものです。

実施年度	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成20年度	心理学的法曹実務教育プログラムの構築	法曹実務において民事・刑事・行政の個別問題ごとに取り上げられてきた心理学的知見を体系的に総合・整理し、「法心理学」の構築を目指し、同時に、法科大学院の授業科目とりわけ実務基礎科目を中心に、法心理学的知見に基づいた教育を実践し、法心理学的知見を体系的に伝授する教育方法・教育内容の策定を目指します。

がんプロフェッショナル養成プラン

がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんに特化した医療人養成の取組を支援します。

実施年度	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成23年度	東北がんプロフェッショナル養成プラン	がん対策の一層の充実を図るため、がん専門医療者を目指す若い人材を育成し、専門資格取得のために必要な学識・技能習得と学際的かつ総合的な臨床研究推進能力を高める大学・地域一体の包括的教育プログラムです。

地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

地域医療等社会的ニーズに対応したテーマ設定を行い、国公私立大学から申請された取組の中から、質の高い医療人を養成する特色ある優れた取組について財政支援します。

実施年度	プログラム名称	内容
平成18年度～ 平成20年度	地域ニーズ対応型総合周産期実践医育成計画	東北大学病院を中心として、後期臨床研修としての3年間のコースにおいて、産科、麻酔科、NICUを各々研修させることにより、周産期医療を横断的に習熟させることで、総合周産期実践医を育成します。

派遣型高度人材育成協同プラン

産学が人材の育成・活用に関して建設的に協力しあう体制を構築することにより、社会の抱える諸問題や産業界の取組を理解し、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を育成する、これまでにない新たなコンセプトのインターンシップの開発を文部科学省が大学に委託するものです。

実施年度	プログラム名称	内容
平成17年度～ 平成21年度	環境に優しい鉄鋼材料創出教育プログラム	「環境にやさしい鉄鋼材料：グリーンスチール」を実現していく研究実践の場として、鉄鋼企業へ学生を派遣し、社会に有益な新たな技術体系や領域、あるいは価値観を提案・創出していく能力を育成します。

サービス・イノベーション人材育成推進プログラム

サービスに関する学際的・分野横断的な学問体系を構築することにより、サービスに関して高い専門性を持った人材を育成し、今後のサービス産業の生産性、国際競争力の向上に資する人材を育成する教育拠点を支援します。

実施年度	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成21年度	サービス・イノベーション・マネージャーの育成－サービス・セクターの生産性管理のための人材育成－	サービス・セクター、従事者の生産性を正しく評価し、サービス・セクターにおいて新たな生産性を創造し、クオリティを管理できる人材(サービス・イノベーション・マネージャー)を育成します。

理数学生応援プロジェクト

将来有為な科学技術関係人材を育成するため、理数学部を置く大学において、理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力をさらに伸ばすことに重点を置いた取組を文部科学省が大学に委託するものです。

実施年度	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成23年度	先端的数学・物理学の英才教育プロジェクト	数理に突出した素養を早期に引き出し、大学院における研究への橋渡しとすることを目的として、「数学」および「物理学」に特化した少人数の英才教育を行います。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。

実施年度	プログラム名称	内容
平成17年度～	ブラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ディスカッションやプレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。

寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成20年5月1日現在)

寄附講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成20年度(継続)	薬学研究科	医薬開発構想	平成20年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	先進感染症予防学	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	ナノ医科学	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度	環境科学研究科	エネルギー・セキュリティ学(JAPEX)	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 9月30日
平成20年度	環境科学研究科	環境物質制御学(DOWAホールディングス)	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	工学研究科	コンビナトリアル計算化学	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度	歯学研究科	口腔ケア推進開発	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	歯学研究科	歯科医薬品創生学	平成20年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成20年度	経済学研究科	地域経済金融論(七十七銀行)	平成20年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成19年度	医学系研究科	循環器EBM開発学	平成19年10月 1日 ~ 平成24年 9月30日
平成19年度	医学系研究科	多発性硬化症治療学	平成19年 5月 1日 ~ 平成22年 4月30日
平成19年度	工学研究科	先端応用量子光学	平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成19年度(継続)	医学系研究科	血液病理学	平成19年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成18年度	経済学研究科	中小企業政策(中小機構)	平成18年 9月15日 ~ 平成20年 9月14日
平成18年度(継続)	医学系研究科	先進漢方治療医学(ツムラ)	平成18年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
平成18年度	医学系研究科	循環器先端医療開発学	平成18年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
平成18年度(継続)	医学系研究科	先端再生生命科学(江東微生物研究所)	平成18年 6月 1日 ~ 平成21年 5月31日
平成18年度	理学研究科	分子変換学(サンアロイ)	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成18年度(継続)	工学研究科	先端電力工学(東北電力)	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成18年度(継続)	農学研究科	テラヘルツ生物工学(竹本油脂・ミツカン)	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成18年度	情報科学研究科	先端情報交換技術論(KDDI)	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成17年度	医学系研究科	高齢者高次脳医学	平成17年11月 1日 ~ 平成20年10月31日
平成17年度	医学系研究科	腎不全対策研究(アステラス製薬)	平成17年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日

寄附研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成20年度	未来医工学治療開発センター	ニューロ・イメージング研究(住友電気工業)	平成20年 5月 1日 ~ 平成23年 4月30日
平成20年度	工学研究科	高速鉄道システムの保全技術高度化と信頼性評価研究(JR東日本)	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	未来科学技術共同研究センター	未来量子生命反応工学創製	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	未来科学技術共同研究センター	未来情報産業創製	平成20年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
平成20年度	加齢医学研究所	認知機能発達(公文教育研究会)	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成20年度	流体科学研究所	衝撃波学際応用	平成20年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
平成19年度	多元物質科学研究所	窒化物結晶	平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成19年度(継続)	工学研究科	電力エネルギー未来技術(東北電力)	平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成19年度(継続)	金属材料研究所	ナノ金属高温材料学	平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成19年度	加齢医学研究所	抗感染症薬開発	平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
平成18年度	多元物質科学研究所	先端圧セラミックス	平成19年 1月 1日 ~ 平成21年12月31日
平成18年度	学際科学国際高等研究センター	窒化物半導体デバイス基盤技術	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
平成18年度	多元物質科学研究所	有機ナノ結晶科学技術	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日

産学連携ポリシー

大学における社会貢献は、教育と学術研究という基本的使命に加え、第三の使命です。東北大学は、研究中心大学としての知の成果を積極的に社会に還元し、人類社会の福祉と発展に寄与します。

産学等の連携は、知の成果の社会還元の中でも重要であり、大学として今後ともより積極的に取り組むことが必要です。

そのために、東北大学は、

1. 開学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を産業界等に積極的に技術移転することを通じ、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 大学における知的活動の成果を活用するための組織をおき、産学連携活動を通じ、国際競争力を持つ我が国産業の発展に貢献します。
3. 「産学連携」活動を効果的に推進し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 地域産業界との持続的な連携を目指します。

産学連携

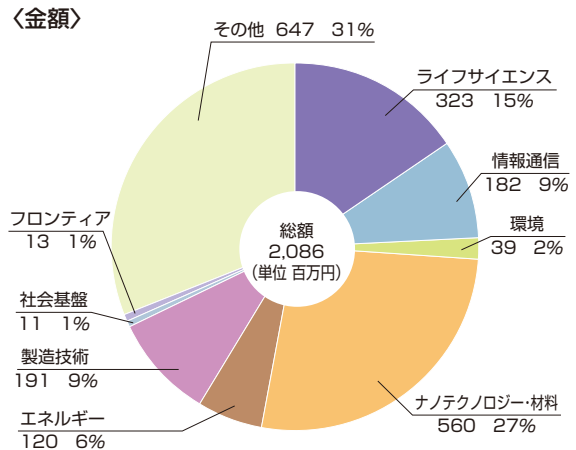
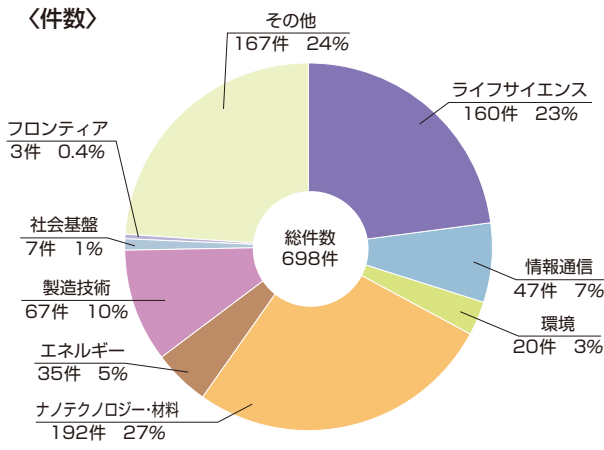
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	284	1,129
平成16年度	392	1,675
平成17年度	479	1,827
平成18年度	519	2,028
平成19年度	698	2,086

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	373	3,450
平成16年度	456	6,149
平成17年度	483	7,358
平成18年度	591	7,927
平成19年度	554	9,101

平成19年度 民間等との共同研究実施状況



※文部科学省産学連携等実施状況調査による区分

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年 1月19日	日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究を目指す。
平成18年 2月21日	放射線医学総合研究所	PET(陽電子断層撮像法)を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	河北新報	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWAホールディングス	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年 8月 3日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)	宇宙及び航空科学分野を中心に、生命科学など他分野を含めた共同研究や教育・人材育成を目指す。

特色ある研究・教育・社会貢献活動

社会との連携協力

サイエンスカフェ

サイエンスカフェとは、高校生など一般の方々と科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、社会の広い範囲の方々にサイエンスの楽しさに触れてもらう場であり、毎月1回仙台市内で開催しています。

イノベーションフェア(先端技術交流会)

開催日	内容	開催地
平成19年10月 5日	ナノテク・材料、情報通信、医工連携・ライフサイエンス、ロボット、環境・エネルギーの各分野における独創的研究及び若手研究者による萌芽的研究の紹介とプレゼンテーション	仙台国際センター



イノベーションフェア

社会との連携協力

公開講座

(平成19年度)

区分	講座の名称	実施部局
部局主催	原子核システム安全工学特論	工学研究科
	軽水炉高齢化対応セミナー	
	研究開発マネージメント論	
	スピン工学・スピンシステム	
	先端工学セミナー「極限知能デバイスシステム工学」	
	先端工学セミナー「極限表面制御半導体プロセス工学」	
	先進材料システムの加工プロセスと評価	
	エコテクノロジーによる環境の修復と保全とその機能の活用 実態論ベースの安全学に向けて	
みやぎ県民大学	中高年の精神の健康	医学系研究科
	18世紀文芸にみる異人像-日本・イギリス・ドイツを中心に-	国際文化研究科
	環境問題を科学する	環境科学研究科
	東北大学電気・情報 東京フォーラム2007 先端技術セミナー	電気通信研究所
	生あっての死、死あっての生	文学研究科
	地域企業の飛躍を考える40の質問	経済学研究科
	健やかな毎日を地域で生きるために -私たちの住む街の口腔保健の現状-	歯学研究科
	安全でおいしいわが国の食料	農学研究科
学都仙台サテライト キャンパス	地球・環境・エネルギー -未来に向かって-	環境科学研究科
	最近のバイオテクノロジー研究	多元物質科学研究所
高校生のための 公開講座	教育情報学の最先端	教育情報学研究部
	村上春樹訳で有名なRaymond Chandlerを原文で読む コーチングの応用	
	ことばの科学	泉館山高校
	地球物理学のすすめ	
	土木工学と社会生活のかかわり	
	文学の世界	宮城野高校
	物理学の世界	
	生物学の世界	
	医学・医療の世界	医学系研究科
	社会的排斥と不適応行動	文学研究科
	憲法改正問題と日本の将来	法学研究科
	アジア情勢と日本の経営戦略	経済学研究科
	昆虫の能力	理学研究科
	航空新世紀	工学研究科
	エンジョイ DNA -遺伝子組み換え植物-	農学研究科
	文学部的学生生活~文化人類学専修を例にして	文学研究科
	日本国憲法の解釈	法学研究科
	経済学と会計	仙台一高
	原子や電子の奇妙な振る舞い:量子力学と表面の物理	理学研究科
	錯体~遷移元素と典型元素とが織り成す多様な化学結合の世界	
	社会環境工学の最前線	工学研究科
	宇宙航空機とそのエンジン	
	動物の育種改良~美味しい豚肉の改良方法	農学研究科
	光と量子	電気通信研究所
	人間は機械である~人間機械論の今日的展開	加齢医学研究所
	ロボットの未来	白石高校
	最新の科学技術が加速する伝統的微生物産業の新規生産物への発展	農学研究科
	ロボットに関する研究について	工業高校
低温のミステリー ~超伝導って何?~	工学研究科	
生物の設計図であるDNAとは	生命科学研究科	
失踪宣告と身分行為 ~法の解釈と適用~	法学研究科	
バイオメカトロニクスに関する研究 ~感性計測と医療福祉機器開発研究の最先端~	工学研究科	
刑事裁判と刑法	法学研究科	
地球物理学のスズメ「地震の謎にせまろう!」	理学研究科	
心理学入門~心の不思議を探る	文学研究科	
航空工学入門	工学研究科	
インターネットと著作権	法学研究科	
高齢化社会における先進医療開発	仙台二高	
私の歩んできた道-遺伝子と細胞ガン化の仕組み	生命科学研究科	

開放講座

講座の名称	実施部局
社会教育主事講習	教育学研究科
教育指導者講座	

特色ある研究・
教育・社会貢献活動



國際交流

大学間協定

26ヶ国・地域 129機関

ドイツ

- *アーヘン工科大学 (1998. 5.19)
- *ドルトムント大学 (1999. 3. 2)
- *ザールラント大学 (1999.10. 5)
- *ダルムシュタット工科大学 (2003. 4.30)
- *ゲッティンゲン大学 (2003.10.23)
- *ドレスデン工科大学 (2006. 6.26)

ベルギー

- ベルギー原子力研究センター (2005. 6.16)

イギリス

- ロンドン大学"The London School of Economics and Political Science" (1989. 1. 3)
- ロンドン大学"The School of Oriental and African Studies" (1989. 4.10)
- ロンドン大学"Imperial College London" (1998. 5. 4)
- *ノッチンガム大学 (2001. 5.15)
- ヨーク大学 (2004. 6. 7)

フランス

- *ピエール・マリー・キュリー大学 (1999. 8.19)
- *レンヌ第2大学 (1999.12. 3)
- *グルノーブルコンソーシアム及び
ストラスブールコンソーシアム (2000. 3.31)
- グルノーブル第1大学ジョセフフーリエ
- グルノーブル第2大学ピエールメンデスフランス
- グルノーブル第3大学スタンダール
- グルノーブル理工大学 (INPG)
- ストラスブール第1大学ルイパスツール
- ストラスブール第2大学マルクブロック
- ストラスブール第3大学ロベールシューマン
- *レンヌ第1大学 (2000.12.20)
- *The Global Education for European Engineers and Entrepreneurs (2002.11.14)
- *国立応用科学院リヨン校 (2004. 7.13)
- *ボルドー第1大学 (2005. 7.28)
- *国立中央理工学校校
(Ecole Centrale)5校 (2006. 2.13)
- リール校
- リヨン校
- マルセイユ校
- ナント校
- パリ校
- *アルビ鉱山大学 (2006. 9.12)
- *リヨン政治学院 (2008. 6. 6)

スイス

- *ローザンヌ工科大学 (2000.11.20)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 (1990. 9.27)

モロッコ

- *ムハンマド5世大学-アグダル (2001. 4.30)

ウクライナ

- *ウクライナ国立工業大学(キエフ工科大学) (2004. 6. 2)

イラン

- *テヘラン大学 (1999. 8.25)

インド

- *インド工科大学ボンベイ校 (2000. 8.21)

スウェーデン

- *ウーメオ大学 (1997. 8.1)
- *スウェーデン王国国立工科大学 (2000. 9.20)
- *ウプサラ大学 (2002. 3.20)
- *ストックホルム大学 (2003. 1.14)
- *ルンド大学 (2003. 4.10)
- *チャルマース工科大学 (2006. 4.19)

フィンランド

- *ヘルシンキ工科大学 (2001.11. 5)
- *オウル大学 (2004. 8. 9)
- *タンペレ工科大学 (2006. 1.31)



タイ

- *アジア工科大学院 (1998.11. 9)
- *スラナリー工科大学 (2001. 3. 1)
- *キングモンクット工科大学
ラカバン校 (2004. 4.15)

シンガポール

- *シンガポール国立大学 (2000. 9.16)

インドネシア

- *インドネシア大学 (2004. 3.19)
- *ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- *バンドン工科大学 (2008. 6. 4)

ニュージーランド

- *オークランド大学 (2002.11.15)

(平成20年6月現在)

ポーランド

ポーランド科学アカデミー触媒表面化学研究所 (1999. 8. 4)

モンゴル

- *モンゴル科学アカデミー (2000. 8.21)
- *モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

ロシア

- ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (1992. 8.10)
- *モスクワ国立大学 (1998. 2.19)
- *ノボシビルスク国立大学 (2003. 7. 4)

カナダ

- *ウォータールー大学 (2006.10.30)

アメリカ

- *ペンシルバニア州立大学 (1988.11.29)
- *カリフォルニア大学 (1990. 3.15)
 - バークレー校
 - デイビス校
 - アーヴィン校
 - ロスアンゼルス校
 - リバーサイド校
 - サンディエゴ校
 - サンタバーバラ校
 - サンフランシスコ校
 - サンタクルス校
 - マーセド校
- *ワシントン大学(シアトル) (1996. 7. 3)
- *パーデュー大学 (1997. 9.23)
- *アラスカ大学 (1999. 1.12)
- *コロラド鉱山大学 (2004. 1. 7)

中国

- *東北大学(瀋陽) (1983. 8. 5)
- *中国科学技術大学 (1998. 6.15)
- *清華大学 (1998. 8.31)
- *南京大学 (1999. 9. 1)
 - 北京大学 (1999.11.10)
- *吉林大学 (2001. 3. 1)
- *浙江大学 (2001. 4. 9)
- *復旦大学 (2001. 4.19)
- *武漢理工大学 (2001. 4.30)
- *重慶大学 (2001. 7. 4)
- *同濟大学 (2002. 8.13)
- *中国海洋大学(旧青島海洋大学) (2002.10.21)
- *北京科技大学 (2002.10.25)
- *南京航空航天大学 (2003. 3.10)
- *陝西科技大学 (2004. 5.30)
- *青島科技大学 (2004. 7. 7)
- *厦門大学 (2005. 6.29)
- *華中科技大学 (2005.10.12)
- *西安交通大学 (2006. 8.31)
- *華東師範大学 (2006. 9.20)
- *北京航空航天大学 (2006.12.16)
- *蘭州大学 (2007. 4.17)
- *天津大学 (2007. 6. 8)
- *大連理工大学 (2007. 6.16)
- *揚州大学 (2008. 6.20)

韓国

- *全北大学校 (1991.11.12)
- *ソウル大学校 (1998. 7. 8)
- *光州科学技術院 (2000. 8.21)
- *釜慶大学校 (2000. 8.21)
- *浦項工科大学校 (2000. 9.22)
- *韓国科学技術院 (2001. 4.24)
- *忠南大学校 (2001. 7. 9)
- *慶北大学校 (2002. 9. 2)
- *嶺南大学校 (2003.12. 3)
- *東義大学校 (2003.12.19)
- *朝鮮大学校 (2004. 3.18)
- *高麗大学校 (2004. 3.31)
- *国立昌原大学校 (2005.10. 2)
- *西江大学校 (2007. 2.2)
- *延世大学校 (2007. 5.29)
- *釜山大学校 (2007. 7.26)
- *公州国立大学校 (2007. 7.29)
- *中央大学校 (2008. 3.27)

ベネズエラ

- *シモン・ボリバル大学 (2008. 1. 8)

台湾

- *国立台湾大学 (2000.11.18)
- 国立台湾海洋大学 (2002. 3. 8)
- *国立中正大学 (2003.11.14)
- *国立成功大学 (2005. 8. 9)
- *国立交通大学 (2005.12.15)

オーストラリア

- *シドニー大学 (1993. 1. 8)
- *ニューサウスウェールズ大学 (2001. 4. 7)
- *オーストラリア国立大学 (2002. 7.16)

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
 注2) 協定大学名の後の括弧は協定締結年月日。

部局間協定

40ヶ国・地域 284機関

部局名	エリア	国・地域名	協定校名		
文学研究科・文学部(4)	アジア	インドネシア	インドネシア大学大学院学部		
		台湾	国立中山大学文学院中国文学系 中央研究院歴史語言研究所		
教育学研究科・教育学部(5)	オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学アジア研究学部		
	アジア	韓国	明知大学校社会教育大学院 延世大学校社会教育科学大学		
		中国	北京大学日本研究センター		
ヨーロッパ	イギリス	ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション ヨーク大学教育学部			
法学研究科・法学部(7)	アジア	韓国	国民大学校社会科学大学		
		中国	中国社会科学院法学研究所		
	中南米	ブラジル	リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部		
	ヨーロッパ	イタリア	ミラノ大学法学部		
		ドイツ	ゲッチンゲン大学法学部 ハイデルベルグ大学法学部		
	ヨーロッパ	ポーランド	マリア・キュリー・スクロドゥスカ大学法学部		
経済学研究科・経済学部(9)	アジア	タイ	泰日工業大学		
		台湾	東呉大学商学院		
		中国	復旦大学日本研究センター 中国社会科学院日本研究所		
			中国人民大学商学院 東北財経大学会計学院		
		ヨーロッパ	イギリス	レスター大学社会科学部	
	ドイツ	ミュンヘン社会科学研究所			
	フランス	レンヌ第一大学レンヌ経営研究所			
	理学研究科・理学部(26)	アジア	インドネシア	ディボネゴロ大学水産・海洋科学部	
			タイ	スラナリー工科大学大学院加速物理学研究科 チュラロンコンン大学理学部	
			ベトナム	ベトナム国立大学ハノイ校ハノイ科学大学	
韓国			韓国水産研究振興院 国立公州大学大学院 成均館大学自然科学部		
中国		廈門大学海洋・環境科学院 聖南大学生命科学・工学部 中国科学院南海海洋研究所 蘭州大学 中国科学院上海有機化学研究所 中山大学環境科学・工程学院 大連理工大化学工学院			
		オセアニア	オーストラリア	メルボルン大学理学部	
		北米	アメリカ	アラスカ大学フェアバンクス校 イリノイ大学シカゴ校	
		ヨーロッパ	イギリス	サセックス大学化学、物理及び環境科学部	
			オランダ	ユトレヒト大学生物学部	
			デンマーク	コペンハーゲン大学	
ドイツ	ゲッチンゲン大学化学研究科 ハイデルベルグ大学化学研究科				
フランス	フランス高等師範学校リヨン校				
ベルギー	ルーバンカトリック大学理学研究科				
ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部自動制御処理研究所 ロシア科学アカデミー極東支部・V.I. Il'ichev太平洋海洋研究所				
医学系研究科・医学部(14)	アジア	フィリピン	サンラザロ病院		
		韓国	又松大学校保健福祉大学		
		中国	中国医科大学 浙江医科大学 上海第二医科大学 湖北医学院 衛生部北京医院 ハルビン医科大学		
			オセアニア	オーストラリア	クイーンズランド工科大学衛生保健学部看護学科
			北米	アメリカ	ワシントン大学医学部
				カナダ	カルガリー大学医学部 トロント大学医学部 オタワ大学医学部
	ヨーロッパ	ハンガリー	デブレツェン大学医学部		
	歯学研究科・歯学部(7)	アジア	韓国	全南大学校歯科大学	
			中国	四川大学華西口腔医学院	
		北米	アメリカ	フォーサイス研究所	
カナダ			ブリティッシュコロンビア大学歯学部		
ヨーロッパ		イギリス	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート		
		スウェーデン	ウーメオ大学歯学部		
フィンランド	オウル大学歯学部				

(平成20年5月現在)

部局名	エリア	国・地域名	協定校名			
薬学研究科・薬学部(3)	アジア	韓国	成均館大薬学大学 忠北大薬学大学			
	ヨーロッパ	イタリア	ミラノ大薬学部			
工学研究科・工学部(56)	アジア	インド	ブネ国立化学研究所			
		インドネシア	バンドン工科大学 インドネシア科学院 セブル・ノーベンバー工科大学			
	タイ	ソクラー大工学部 タマサート大シリントーン国際工学部				
	フィリピン	ミンダナオ州立イリガン工科大学				
	ベトナム	水資源大 ベトナム科学技術アカデミー材料科学研究所 全北大工科大学 釜山水産大(釜慶大) ソウル大工科大学 慶北大工科大学 延世大工科大学 嶺南大工科大学 忠南大工科大学 漢陽大工科大学及び大学院 全南大工科大学				
	台湾	国立彰化師範大大学院				
	中国	東北工学院(東北大) 浙江大学工学系 重慶大工学院 ハルビン工業大 西安電子科技大 大連理工大研究生院 西北有色金属研究院 中国科学院化学研究所				
	中近東	イラン	シラズ大工学部			
	オセアニア	オーストラリア	グリフィス大工学・情報学部			
	北米	アメリカ	イリノイ大工学部・バイオアクステイクス研究所 ワシントン大工学部 アメリカ合衆国国際教育協会 イリノイ工科大学 ジョージア工科大学工学部 ワイオミング大工学部			
			カナダ	ウォータールー大工学部		
			メキシコ	メキシコ国立工科大学		
			チリ	アタカマ大		
			ヨーロッパ	イギリス	マンチェスター大物理工学部機械・航空・土木工学科	
				スイス	ローザンヌ工科大学	
				スウェーデン	スウェーデン王国立工科大学 リンショーピン大工学部 チャルマース工科大学	
				スロベニア	リュブリャナ大工学系4学部	
				チェコ	VSB-オストラバ工科大学	
				デンマーク	デンマーク工科大学	
	ドイツ	アーヘン工科大学機械工学部、鉱山冶金・地球科学部 ハンブルグ・ハールブルグ工科大学 フライブルグ大マイクロシステム技術研究所 エルランゲン大工学部				
	フランス	メッス大 IFMA大工学部 国立応用科学院トゥールーズ校 国立ポルドー高等電気情報通信大 国立モンペリエ高等建築大				
	ロシア	ロシア科学アカデミー マイクロ電子工学・高純度物質研究所				
	農学研究科・農学部(13)	アジア		タイ	カセサート大理学部 カセサート大農学部 カセサート大水産学部	
			韓国	済州大農科大学		
			台湾	台湾台北医学大公衆衛生栄養院		
			中国	青島海洋大水産学院(現中国海洋大) 上海水産大 揚州大動物科学技術学院 中国科学院上海有機化学研究所		
			ヨーロッパ	イタリア	ラキユラ大実験医学部	
				スウェーデン	スウェーデン農科大農業・景観計画・園芸学部及び獣医学部	
				スペイン	ピゴ大理学部	
			ハンガリー	セント・イーストバン大(旧校名:ハンガリー農科・食品工科大学)		
			国際文化研究科(3)	ヨーロッパ	ウズベキスタン	タシケント国立経済大
					フランス	レンヌ第二大多言語学部

■ 学術交流協定締結等

部局間協定

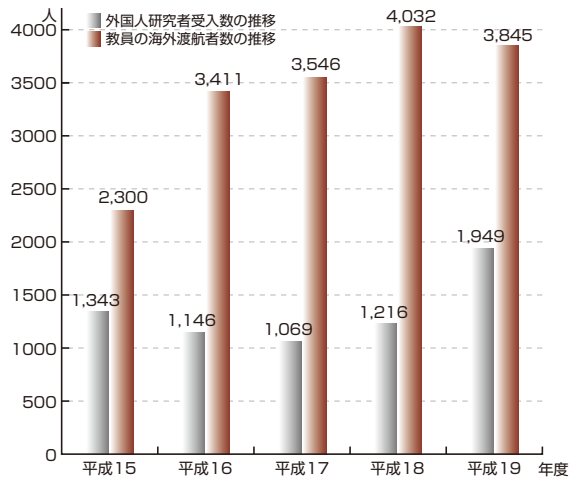
部局名	エリア	国・地域名	協定校名
国際文化研究科(3) 情報科学研究科(5)	ヨーロッパ	キルギス	キルギスタン国際大学
	アジア	タイ	タマサート大学シリントーン/国際工学部
台湾		国立台北大学社会科学学院	
生命科学研究所(4)	ヨーロッパ	イタリア	ローマ大学トアヴェルガータ校ヴォルテラ・センター バジリカータ大学工学部
		ポーランド	ヴロツワフ大学数学研究所
	アジア	タイ	スラナリー工科大学農業工学研究所バイオテクノロジー研究科
		韓国	順天大学校農業生命科学大学
環境科学研究科(4)	ヨーロッパ	オランダ	ユトレヒト大学生物学部
		チェコ	マサリク大学理学部
	アジア	インドネシア	バンドン工科大学
教育情報学研究所(1)	アジア	韓国	韓国生産技術研究院光州研究センター
		ウズベキスタン	タシケント国立経済大学
金属材料研究所(44)	アジア	ドイツ	ライプニッツ応用地球化学研究所
		タイ	チュラロンコーン大学教育学部
金属材料研究所(44)	アジア	シンガポール	シンガポール生産技術研究所
		韓国	韓国科学技術研究院 産業科学技術研究所 国立釜山大学校生産技術研究所 延世大学原子スケール表面研究所 漢陽大学校セラミックス工程研究センター 韓国科学技術院電子部品・材料設計人力教育センター 成均館大学校技術革新センター 仁荷大学工科大学 東義大学校電子セラミックス研究センター 昌原大学校基礎科学研究所 高麗大学校工科大学材料工学科 釜山大学校素材技術研究所
金属材料研究所(44)	アジア	台湾	国立台湾大学工学院 財団法人工業技術研究院工業材料研究所
		中国	中国科学院固体物理研究所 中国科学院物理研究所 武漢工業大学新材料研究所 清華大学近代物理研究所、応用物理系 香港科学技術大学 中国科学院金属研究所 中国科学院上海硅酸塩研究所 大連理工科大学材料科学工程学院 北京航空航天大学材料学院 天津大学材料学院
金属材料研究所(44)	アフリカ	エジプト	アシウト大学
	北米	アメリカ	ペンシルバニア大学工学部 ハーバード大学理工学部 スタンフォード大学シボール先端材料科学研究所
金属材料研究所(44)	ヨーロッパ	イギリス	ヨーク大学電子工学部
		イタリア	ピサ大学物理学科
		スロベニア	ジョセフ・ステファン研究所
		ドイツ	ゲッチンゲン大学金属物理学研究所 マックス・プランク金属研究所 カールスルーエ研究所微細加工技術研究所
	フランス	フランス	ロレーヌ国立総合工科大学 サンティエヌヌ鉱山大学材料構造センター リヨンIクラウドベルナル大学発光材料物理化学研究所 グルノーブル国立理工科大学熱力学物理化学冶金研究所
		ベルギー	ベルギー原子力研究所材料研究部
		ポーランド	ポーランド真空工学研究所 ポーランド科学院物理研究所 ポーランド国電子材料技術研究所
	金属材料研究所(44)	ロシア	ロシア科学アカデミー総合物理学研究所
		中国	遼寧省腫瘤病院・遼寧省腫瘤研究所
	金属材料研究所(44)	北米	アメリカ
中南米		キューバ	キューバ・ニューロサイエンスセンター
ヨーロッパ		ロシア	スモレンスクステートメディカルアカデミー
流体科学研究科(24)	アジア	シンガポール	シンガポール国立大学工学部 ナンヤン工科大学機械・生産工学部
		韓国	韓国高等科学技術院工学部 成均館大学校工学部
		台湾	国立応用研究所・ナノデバイス研究所
		中国	清華大学水利水電工程系 中国科学院理論物理研究所 中国科学院物理研究所
		中国	南京航空航天大学機電学院

(平成20年5月現在)

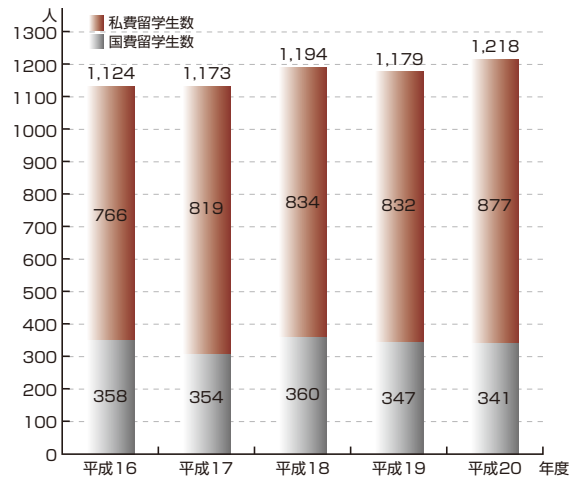
部局名	エリア	国・地域名	協定校名			
流体科学研究所(24)	オセアニア 北米	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学工学部			
		カナダ	トロント大学航空宇宙研究所			
	ヨーロッパ	アメリカ	シラキュース大学工学部			
		イギリス	クランフィールド工科大学航空学部 マンチェスター工科大学機械、航空、製造工学部			
		イタリア	トリエステ大学工学部			
		ギリシア	アテネ工科大学機械工学部			
		チェコ	チェコ科学アカデミープラズマ物理研究所			
		ドイツ	カールスルーエ大学流体力学研究所			
		ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー物理材料技術研究所 ブダペスト工科大学化学・生命工学部			
		フランス	国立応用科学院リヨン校			
		ルーマニア	ブカレスト工科大学電気工学部			
		ロシア	ロシア科学アカデミー理論及び応用力学研究所 モスクワ電力工学研究所(工科大学)電力機械工学部			
	電気通信研究所(14)	アジア	タイ	チュラロンコーン大学理学部		
			韓国	成均館大学校情報通信技術研究所 大邱大学校情報通信工学部		
中国			ハルビン工業大学計算機科学工程系 深圳大学科研処 南京大学電子科学技術系 中国科学院半導体研究所			
北米			アメリカ	シカゴ大学ジェームス・フランク研究所		
ヨーロッパ			イギリス	ロンドン大学クイーンメアリー・ウェストフィールド カレッジ		
			オランダ	トウェンテ大学応用物理学部材料科学研究所		
			ドイツ	アイエイチビー(IHP-Innovations for High Performance microelectronics)		
		フランス	国立科学研究所固体材料ナノサイエンス研究センター			
ポーランド		ポーランド科学アカデミー物理研究所				
ロシア		ロシア科学アカデミー通信電子工学研究所				
多元物質科学研究所(24)		アジア	韓国	韓南大学校ハイブリット材料研究所 成均館大学校情報通信新機能性素材及び工程研究センター		
			中国	東北工学院(東北大学) 北京大学ナノ科学技術研究センター 中国科学院長春光学精密機械物理研究所 華僑大学材料科学工程学院 鄭州大学材料工程学院		
			北米	アメリカ	コロンビア大学化学科 コロンビア大学理工学部地域・環境工学科 ユタ大学金属工学科	
				カナダ	マギル大学金属プロセス研究センター トロント大学金属・材料科学科	
	ヨーロッパ		イギリス	英国リサーチカウンシル中央研究機構ダースペリ研究所		
			イタリア	トリエステ放射光研究所		
			ウクライナ	材料科学基礎国立研究所		
		ドイツ	ベルリン自由大学物理学科 イエナ・フリードリッヒ・シラー大学固体物理研究所 結晶成長研究所			
		フランス	アルビ鉱山大学			
		ルーマニア	レーザー・プラズマ・放射物理国立研究所			
		ロシア	ロシア科学アカデミー固体物理学研究所 トムスク工科大学原子核物理研究所 ロシア科学アカデミーレベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー極東支部自動制御プロセス研究所			
		東北アジア研究センター(10)	アジア	モンゴル	モンゴル技術大学ジオサイエンスセンター	
				韓国	高麗大学校中国学研究所 高麗大学校日本学研究センター	
				中国	広東省民族研究所 家蒙古師範大学蒙古学学院	
	ヨーロッパ		ロシア	ロシア科学アカデミーシベリア支部V.N.スカチョフ森林研究所 ロシア連邦ゴラ情報技術研究所 ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所 国際技術投資振興財団 ロシア連邦サハ共和国アカデミー人文科学研究所		
			中南米	キューバ	フィンレイ研究所	
			学際科学国際高等研究センター(2)	アジア	中国	山西経済管理幹部学院
				韓国	昌原大学校産業技術研究院	

研究者等受入状況

教職員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移



外国人留学生受入数の推移



海外拠点

リエゾンオフィス

締結機関 (設置場所)	国名 (締結日)	オフィス名	世話部署
① ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (ノボシビルスク学術センター)	ロシア (1997年 9月22日)	東北アジア研究センターシベリア連絡事務所	東北アジア研究センター
② ケンブリッジ大学 (金属冶金学科)	イギリス (2002年 4月23日)	IFCAM Cambridge Office	金属材料研究所
③ ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア (2002年 5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
④ ハーバード大学 (理工学部)	アメリカ (2002年 5月31日)	IFCAM Harvard Office	金属材料研究所
⑤ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア (2002年 6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 金属材料研究所
⑥ スウェーデン王国王立工科大学 (材料科学科)	スウェーデン (2002年 9月 6日)	IFCAM Stockholm Office	金属材料研究所
⑦ スタンフォード大学 (シボル先端材料科学研究所)	アメリカ (2003年 2月11日)	IFCAM Stanford Office	金属材料研究所
⑧ 中国科学院物理学研究所 (表面物理国家重点実験室)	中国 (2003年 2月20日)	IFCAM Beijing Office	金属材料研究所
⑨ シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ (2003年 11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑩ 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国 (2003年 12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑪ 国立応用科学院リヨン校 (金属材料物理研究所)	フランス (2004年 1月23日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所

海外事務所

	設立
⑫ 米国代表事務所 Tohoku University US Office	2006年 5月24日
⑬ 中国代表事務所 Tohoku University China office	2007年 4月20日



外国人留学生数

(平成20年5月1日現在)

外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

地域	国籍	費用別人数						計	学籍別人数													
		国費		私費					大学院生				研究生			その他						
		男	女	政府派遣	その他	男	女		男	女	学部	大学院	研究所等	日本語研修コース	特別聴講学生・学部	特別聴講学生・大学院	特別研究学生	科目等履修生				
アジア(19ヶ国・地域) 1,001人 82.2%	アゼルバイジャン	2			1	3		1	1	1												
	インド	7	2		3	13		1	9	1	1		1									
	インドネシア	19	11		10	6	46	4	15	18	2	2	2			2		1				
	韓国	29	12	1	100	57	199	26	39	77	3	8	4	2	33		6	1				
	カンボジア		1				1	1														
	シンガポール		1		1		2		1						1							
	スリランカ	2				2	4		2	2												
	タイ	8	5	2		5	9	29	2	5	13	2	2	1	2		2					
	台湾					5	28	33	1	9	14		4	1		4						
	中国	36	30		193	253	512	36	187	131	28	88	9	7	14		12					
	ネパール	5	1		2		8	3	3				2									
	パキスタン	4	1				5			5												
	バングラデシュ	7	1		8	2	18		3	12	1		2									
	フィリピン	6	5		1		12			10					2							
	ベトナム	11	3		10	5	29	10	5	10		2		1		1						
	マレーシア	5	5	19	4	7	40	27	6	3	2	1	1									
	ミャンマー	3	2		1		6		2	3					1							
	モンゴル	2	7		10	16	35	3	13	8		10		1								
	ラオス				5	1	6		3	2										1		
中近東(5ヶ国・地域) 36人 3.0%	イエメン	1				1		1														
	イラン	13	1		6	6	26		8	16	1		1									
	シリア	2	1				3		1		2											
	トルコ	4			1		5			5												
	パレスチナ	1					1							1								
アフリカ(12ヶ国・地域) 33人 2.7%	ウガンダ	2				2	1		1													
	エジプト	2		2	1	6	2	13		13												
	ケニア	1					1			1												
	コートジボワール	1					1			1												
	コンゴ民主共和国	2			1		3		1	1				1								
	ザンビア	1					1				1											
	ジンバブエ	1					1			1												
	タンザニア	1					1			1					1							
	チュニジア	2			1		3			3												
	ナイジェリア	1					1								1							
	モロッコ	1	1				2		1	1												
	リビア	3				1	4			2				2								
	オセアニア(3ヶ国・地域) 3人 0.2%	オーストラリア				1		1											1			
		ニュージーランド	1					1											1			
バブアニューギニア		1					1			1												
北米(2ヶ国・地域) 30人 2.5%	アメリカ合衆国	3	1		18	6	28		3		1	2	1		20		1					
	カナダ	1				1	2		1	1												
中南米(12ヶ国・地域) 35人 2.9%	アルゼンチン	1					1					1										
	エルサルバドル						1		1													
	グアテマラ	2					2		1	1												
	コスタリカ	2					2			1		1										
	コロンビア	4			1		5	1	2	2												
	ニカラグア	1					1				1											
	パナマ	2	1				3				1											
	ブラジル	5	2		1	1	9	1	3	2	1				2							
	ペネズエラ	1					1			1												
	ペルー	1	1				2	1	1													
	ボリビア	2	1				3			2	1											
	メキシコ	3		1		1	5		1	3	1											
	ヨーロッパ(22ヶ国・地域) 80人 6.5%	イギリス	1					1			1											
		ウクライナ	1					1			1											
		ウズベキスタン						1			1											
		オーストリア		1				1			1											
キルギス			1				1			1												
スウェーデン						8	4	12							8		4					
スペイン		2				2		4		1	2				1							
スロバキア						1		1				1										
チェコ		1					1				1											
デンマーク						1	1	2							2							
ドイツ		1	2			5	2	10		1		1	1	1	4		2					
トルクメニスタン			1				1					1										
ノルウェー		1					1								1							
フィンランド						5	1	6							4		2					
フランス		3				11	3	17		7			1		4	1	4					
ブルガリア		1					1							1								
ボスニア・ヘルツェゴビナ							1			1												
ポルトガル		1					1				1											
ポーランド		2			1		3			1	1	1										
モルドバ			1				1			1												
ルーマニア	3	3				1	7	4	1	2												
ロシア	2	2				2				3		1		2								
合計(75ヶ国・地域)				234	107	24	6	431	416	1,218	122	334	388	52	126	25	15	17	104	1	33	1

国際シンポジウム等開催状況

開催日	名称	内容	開催地
平成19年12月11日	東北大学百周年記念セミナー 「世界をリードする科学技術者の育て方 —新エリート養成への日仏の挑戦—」	グローバル化・ハイテク化が進む現代社会においては、優れた専門知識、国際性に加えて社会や組織を改革・リードする能力を備えた新たなエリートの育成が求められている。東北大学及びフランスの国立中央理工学校リヨン校（ECL）、国立応用科学院リヨン校（INSA-Lyon）に加え、日仏の産業界・教育研究界を代表する方々が、現代社会が直面する問題を解決し、指導していく能力・識見を備えたエリート科学技術者像や、その育成について論じ合った。	東京
平成19年12月13日、14日	第4回国際産学連携フォーラム —ジョイント・ラボラトリーの設置に向けて—	上記のECL, INSA-Lyonとの間で、Biosciences and Engineering, Durability Reliability in Energy and Transportation, Fabrication of Nano and Micro Scale Materials and Devices, Fluid Dynamics and Heat Transfer, Tribologyの5分野でのジョイント・ラボラトリー設置に向けて、実質的な連携構築を図るための情報交換・ディスカッションを行った。	仙台市
平成20年1月12日	東北大学百周年記念北京セミナー 「ICT技術の新時代」	北京の清華大学を会場に、情報科学研究科を中心に、北京郵電大学、中国科学院計算機研究所の教員らによりICT技術の新時代について講演を行った。	北京(中国)
平成20年3月27日	AEARU国際シンポジウム "Collaborations with Industry, City, and Public"	大学における産学官連携活動は、大学の知の活用を通じた社会貢献としての役割のみならず、教育・研究を活性化し、大学の国際競争力の強化を図る上で重要である。しかしながら国際的な産学官連携活動を行う上では、まだノウハウ、経験ともに少なく、ポリシーの不明確さ、精通した人材・法務機能・情報発信の不足などが課題としてあげられる。本シンポジウムは中国、台湾、日本での産学官連携に関する最新情報を交換することを目的として各国の大学、企業、政府機関の代表者の方々から産学官連携の取り組みに対する貴重な経験を紹介頂き、参加者間で情報を共有した。	仙台市



大連理工大学 協定締結調印式 平成19年6月16日



釜山大学校 協定締結調印式 平成19年7月26日



バンドン工科大学 協定締結調印式 平成20年6月4日

国際交流戦略の基本指針

2005年3月8日 東北大学

東北大学は、真理を探究して、新たな知識の創造とその普及に努め、それによって、人類が尊厳を保ちながら平和のうちに共生する社会の実現に貢献することを使命にしている。より具体的には、本学は、多様な分野の学芸が集い相互に協力・刺激し合いながら研鑽を積む総合大学として、世界と歴史の知の成果に学び、現在と未来の学問的課題を見極め、新たな知識の発見・創出と社会における公開・応用に取り組むと共に、知を以て人類社会に貢献する意欲と能力を備えた人材を育成することを目指すものである。

本学は、既にこれまで1世紀の間、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」を精神的支柱として掲げてきた。このことは、本学構成員が、開学以来一貫して、研究・教育の国際化が本学の使命・目標を達成するための不可欠の条件をなすと明確に意識してきたことを示している。

近年に目を向けると、本学は、2000年8月に国際交流を通じて世界最高水準の研究・教育拠点作りを目指すことを世界に向けて宣言した。また、2004年4月の法人化に当たり、本学は、「国際競争力のある研究・教育拠点」として発展することを主要目標に挙げた。さらに2004年11月には、本学が今後、「Tohoku University, Creating Global Excellence」(「東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します」)を標榜することを表明した。

このような宣言・表明からも明らかのように、今日、国際交流の推進は、本学の使命・目標の達成にとってますます重要な位置を占めるものとなっている。また、それ故に、今後の国際交流の立案・実施に当たっては、それを本学の使命・目標の実現に可能な限り役立てるといった戦略性が強く求められるに至っている。

したがって、本学は、今後、以下の主要目的を最大限に果たすことを基本指針にして国際交流戦略を立案・実行していかなければならない。

- (1) 国際学術ネットワークを通じた世界最高水準の研究を推進する。
- (2) 広く世界から意欲と能力を備えた俊秀を受け入れて世界の発展に役立つ指導的人材を育成する。
- (3) 研究教育を国際社会に発信するとともに、国際貢献に活用する。
- (4) 上記を達成するために研究・教育基盤を強化し、本学の国際的知名度・信頼性を向上させる。



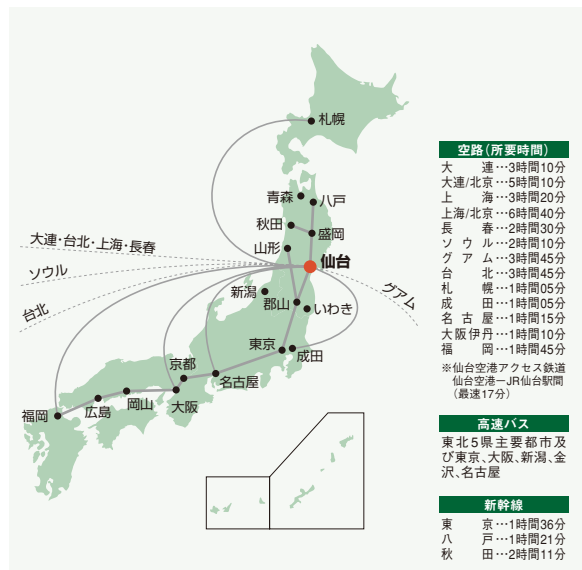
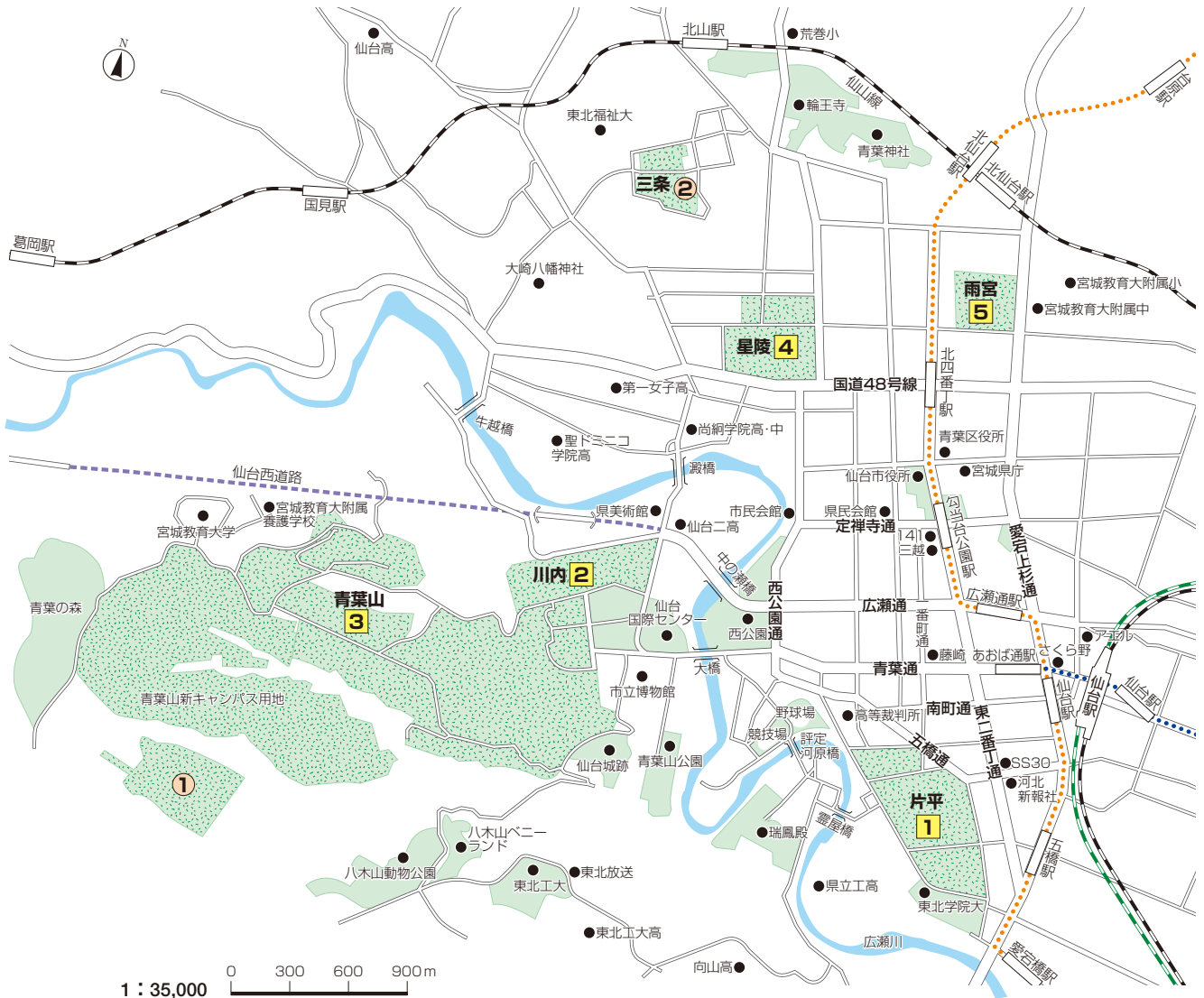
キャンパス

キャンパス

施設所在地一覧

主要地区

- 1 片平キャンパス 2 川内キャンパス 3 青葉山キャンパス 4 星陵キャンパス 5 雨宮キャンパス



施設所在地一覧

その他の地区

施設名	住所・郵便番号(県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻青葉519-1176	022(229)4113
② 国際交流会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(275)9901
③ 理学研究科附属原子核理学研究施設	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3440
④ 理学研究科附属惑星・プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎	0225(53)3374
⑤ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2242 牡鹿郡女川町小乗浜字向15	0225(53)2436
⑥ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑦ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑧ 理学研究科附属惑星・プラズマ・大気研究センター 惑星圏蔵王観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原200-1	0224(34)2743
⑨ 生命科学研究所附属浅海海洋生物学研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑩ 学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030-0111 青森県青森市大字荒川字南荒川山1-1	017(738)0621
⑪ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市将軍野南1-14-46	018(845)8716
⑫ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (本荘地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築	0184(29)2124
⑬ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (三陸地震観測所)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑭ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木干地割120-74	0198(62)2800
⑮ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県茨城県大洗町成田町2145-2	029(267)3181
⑯ 金属材料研究所附属研究施設大阪センター	〒593-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学内	072(254)5603
⑰ 理学研究科附属惑星・プラズマ・大気研究センター 惑星圏飯館観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯館村前田	0244(42)0530
⑱ 理学研究科附属ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
⑲ 流体科学研究所附属流体融合研究センター 東北大学宮崎大学共同研究施設(日向灘研究施設)	〒889-1111 宮崎県日向市美々津町松ノ本1610-3	0982(58)1988
⑳ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階	03(3218)9612
㉑ 東北大学米国代表事務所(Tohoku University US Office)	4410 El Camino Real,Suite#111,Los Altos CA94022,USA	+650-947-0664
㉒ 東北大学中国代表事務所(Tohoku University China Office)	北京市中关村北四环西路33号 中国科学院文献情報中心616号室 日本学術振興会北京研究連絡センター内	+86-10-6253-8332
㉓ 東北大学大学院環境科学研究科エネルギー・セキュリティ学(JAPEX) 寄附講座(インドネシア・バンドン工科大学内)	JL Ganesha 10, Bandung, 40132, Indonesia Institut Teknologi Bandung	

学寮、ユニバーシティ・ハウス

施設名称	概要	所在地	電話番号
日就寮(男子)	収容定員103名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-1858
以文寮(男子)	// 96名	〒982-0832 //	022-229-5392
霽風寮(男子)	// 81名	〒982-0832 //	022-229-4954
如春寮(女子)	// 64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857
明善寮(男子)	// 160名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目3-2	022-234-0134
松風寮(男子)	// 150名	〒980-0011 //	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス三条(男子、女子、留学生)	// 416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305

課外活動施設

施設名称	住所	代表電話番号
評定河原運動場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1	
名取ボート艇庫・合宿所	〒981-1201 名取市下増田字屋敷10-1	022-384-0455
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50	048-447-0658
七ヶ浜ヨット艇庫・合宿所	〒985-0802 宮城県七ヶ浜町吉田浜 字浜屋敷61-5	022-357-2659
秋雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉 荒敷820-1	0236-94-9094
清溪小屋	〒980-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳 国有林305口林小班	
片平中央体育館	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1	
片平(1・2・4・5・6)ホール	//	
片平武道場	//	
片平テニスコート	//	
富沢野球場・自動車練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5	
青葉山馬場	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻青葉6-3	
川内ホール	〒980-8576 仙台市青葉区川内41	
川内サークル会館	//	
課外活動施設A	//	
サークル部室E・F・G	//	

国際交流会館

(入居収容室数)

区分	单身室	夫婦室	家族室	計
留学生	147	42	31	220
研究者	12	14	8	34
計	159	56	39	254



東京分室サビアタワー

建物配置図

1 片平キャンパス

●土地:237,563㎡ ●建物:156,645㎡(平成20年7月現在)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 電話番号案内 022(717)7800

大学本部、研究所



片平さくらホール(写真左)、材料・物性総合研究棟

- 総長室経営企画スタッフ室、総務部総務課 25
- 総務部法務課、総務部人事課、財務部、研究協力部、監査室 29
- 総務部広報課 26
- 施設部、キャンパス移転推進室、環境・安全推進室 33
- 情報部情報推進課 27
- 国際交流部国際交流課 30

- 生命科学研究所 事務室 35
- 生命科学研究所棟 35 58
- 環境制御実験棟 36

- 医工学研究所 研究室 54
- 法科大学院、公共政策大学院 事務室 28
- 片平第2号棟(法政実務研修棟) 34
- 片平第3号棟 33
- 片平第4号棟 38
- 片平第5号棟 26
- ジェンダー法・政策研究センター 26
- 片平第4講義室 32

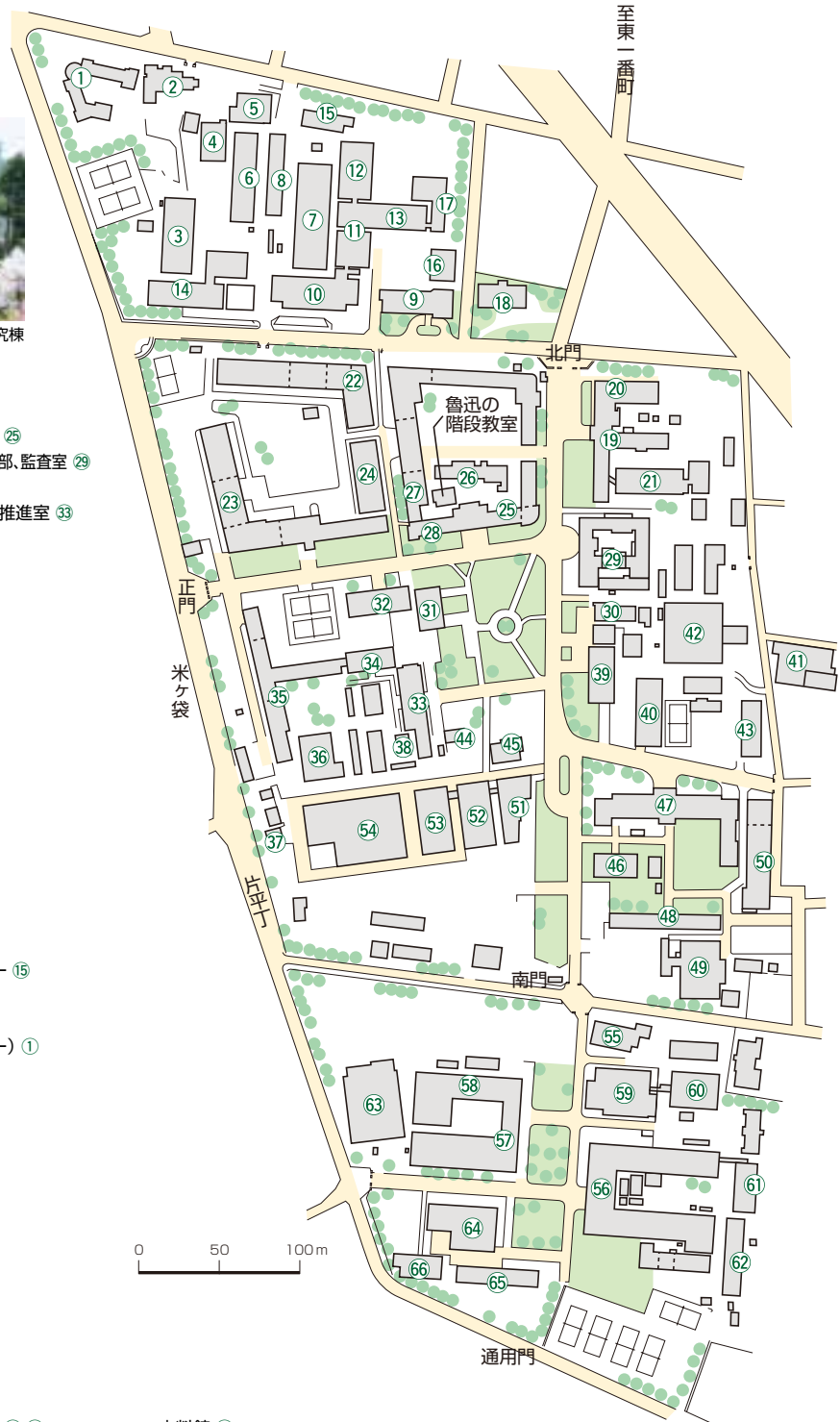
- 金属材料研究所 事務室 9
- 附属金属ガラス総合研究センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 附属材料科学国際フロンティアセンター 15
- 本多記念館 9
- 金研1号館 10、2号館 11、3号館 12
- 金研10号館(放送大学宮城学習センター) 1
- 共同研究プロジェクト研究棟 4
- 金研計算機棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 金研技術棟 7 8
- 金研COE棟 16

- 流体科学研究所 事務室 39
- 附属流体融合研究センター 39
- 流体研1号館 39、2号館 40、3号館 41
- 高速流実験棟 42
- 衝撃波学際応用実験棟 43
- 環境流体研究棟 64
- 電気通信研究所 事務室 57
- 附属ブレインウェア実験施設 59 60 62
- 附属ナノ・スピニング総合研究棟 54
- 附属21世紀情報通信研究開発センター 65 66
- 通研1号館 56、2号館 57 58
- 評価・分析センター 61

- 多元物質科学研究所 事務部棟 46
- 多元研素材工学研究棟 47 48 49
- 多元研反応化学研究棟 19 20 21
- 多元研科学計測研究棟 22 23
- 多元研科学計測研究棟工場 24
- 多元研工業化試験工場 50
- 材料・物性総合研究棟 52 53

- 史料館 32
- 極低温科学センター 3
- 百万ボルト電子顕微鏡室 31
- 特定領域研究推進支援センター 29
- 埋蔵文化財調査室 37
- グローバルオペレーションセンター 30
- キャンパス計画室 33
- 原子分子材料科学高等研究機構 事務室 15
- インテグレーション・ラボ棟 17
- 研究室 20

- 片平会館 2
- 厚生施設(北門食堂) 18
- 片平さくらホール 51
- 文化財収蔵庫 44
- 厚生施設(片平売店) 45
- 厚生施設(学生ホール) 55
- 体育館 63



建物配置図

2川内キャンパス

人文社会科学学部、全学教育

●土地:816,887㎡ ●建物:119,678㎡(平成20年7月現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 電話番号案内 022(717)7800



- 教育・学生支援部(管理棟) ⑦
- 教育・学生支援部入試課 ⑱
- 国際交流部留学生課 ①
- 附属図書館 本館 ⑲
- 文学部・文学研究科 事務室 ⑳
- 文学研究科・法学研究科合同研究棟 ㉓
- 教育学部・教育学研究科 事務室 ㉔
- 文科系総合研究棟 ㉔
- 法学部・法学研究科 事務室 ㉒
- 経済学部・経済学研究科 事務室 ㉘
- 経済学研究科演習室 ㉘ ㉙
- 国際文化研究科 事務室 ⑥
- 附属言語脳認知総合科学研究センター ③
- 教育情報学研究部・教育情報学教育部 事務室 ㉔
- 会計大学院 ㉘
- 東北アジア研究センター ③
- 高等教育開発推進センター ③ ⑪
- 保健管理センター・学生相談所・ハラスメント全学学生相談窓口 ④
- 入試センター ⑱

- キャリア支援センター ⑦
- 植物園本館 ㉓
- 植物園記念館 ㉑
- 国際交流センター ①
- 教養教育院 ⑦
- 学生実験棟 ②
- 川北合同研究棟 ③
- 講義棟 A棟 ⑧、B棟 ⑨、C棟 ⑩
- マルチメディア教育研究棟 ⑪
- サークル部室 ⑤ ⑫
- 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) ⑬
- 川内体育館 ⑭
- 川内ホール ⑮
- 課外活動室A棟 ⑰
- 川内サークル会館 ⑰
- 百周年記念会館(川内萩ホール) ⑳
- 中講義棟 ㉕
- 大講義棟 ㉖
- 文科系合同研究棟 ㉗
- 厚生施設(文系食堂) ㉚



川内キャンパス 春

3 青葉山キャンパス

理工系学部



情報部情報基盤課 25

情報科学研究科 事務室 28

国際高等研究教育機構 24

サイクロトロン・RIセンター 22

未来科学技術共同研究センター 30

学際科学国際高等研究センター 24

サイバーサイエンスセンター 25

産学官連携推進本部 30

未来情報産業研究館 29

青葉山体育館 26

厚生施設(けやきダイニング) 31



青葉通から青葉山新キャンパスへ移植されたケヤキ



こもればいカフェ

●土地:785,049㎡ ●建物:291,796㎡(平成20年7月現在)

工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科以外 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800

附属図書館 北青葉山分館 ⑰

理学部・理学研究科 事務室(管理棟) ⑫

- 附属巨大分子解析研究センター ⑨
- 附属大気海洋変動観測研究センター ⑳
- 附属惑星プラズマ・大気研究センター ㉑
- 附属地震・噴火予知研究観測センター ㉒
- 附属ニュートリノ科学研究センター ⑱

数学棟 ⑦

物理棟 ② ③ ④

化学棟 ⑧

地学棟 ⑪

生物棟 ⑩

理学総合研究棟 ㉓

大講義棟 ⑤

数理科学記念館 ⑥

自然史標本館 ⑲

薬学研究科・薬学部 事務室 ⑬

附属薬用植物園 ⑮

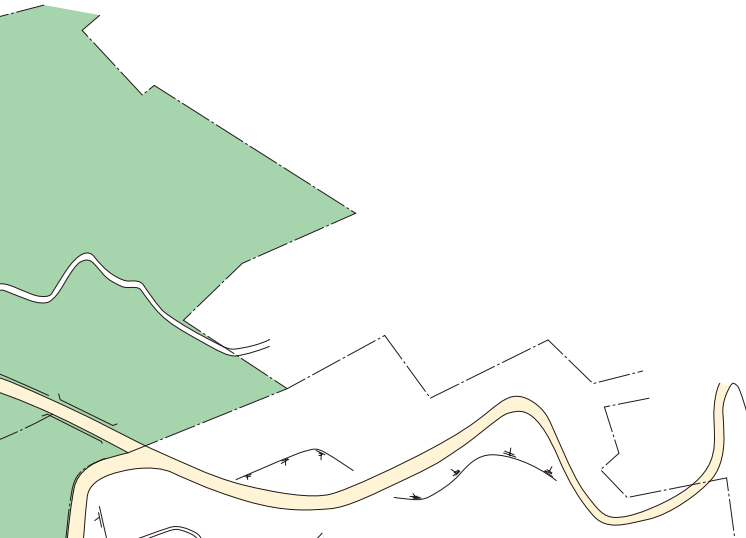
応用薬学総合研究棟 ⑭

生命科学研究科 研究室 ⑧ ⑩ ㉔

総合学術博物館 ⑲

極低温科学センター ①

厚生施設(理薬生協) ⑯



附属図書館 工学分館 ㉙

工学部・工学研究科 事務室(管理棟) ㉚

附属災害制御研究センター ㉛

附属エネルギー安全科学国際研究センター ㉜

附属超臨界溶媒工学研究センター ㉝

技術社会システム専攻室 ㉞

附属マイクロ・ナノマシニング研究教育センター ㉟

機械・知能系事務室 ㊱

量子エネルギー工学専攻分室 ㊲

電子情報システム・応物系事務室 ㊳

化学・バイオ系事務室 ㊴

マテリアル・開発系事務室 ㊵

人間・環境系事務室 ㊶

工学系総合研究棟 ㊷

共通講義棟 ㊸

創造工学センター ㊹

建築実験所 ㊺

環境科学研究科 事務室 ㊻

医工学研究科 事務室 ㊼

研究室 ㊽ ㊾ ㊿ ㉘ ㉙ ㉚

環境保全センター ㊼

ハッチェリースクエア ㊽

厚生施設(中央食堂・売店) ㊾

青葉記念会館 ㊿

厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) ㊿

クラシックカー展示室 ㊿



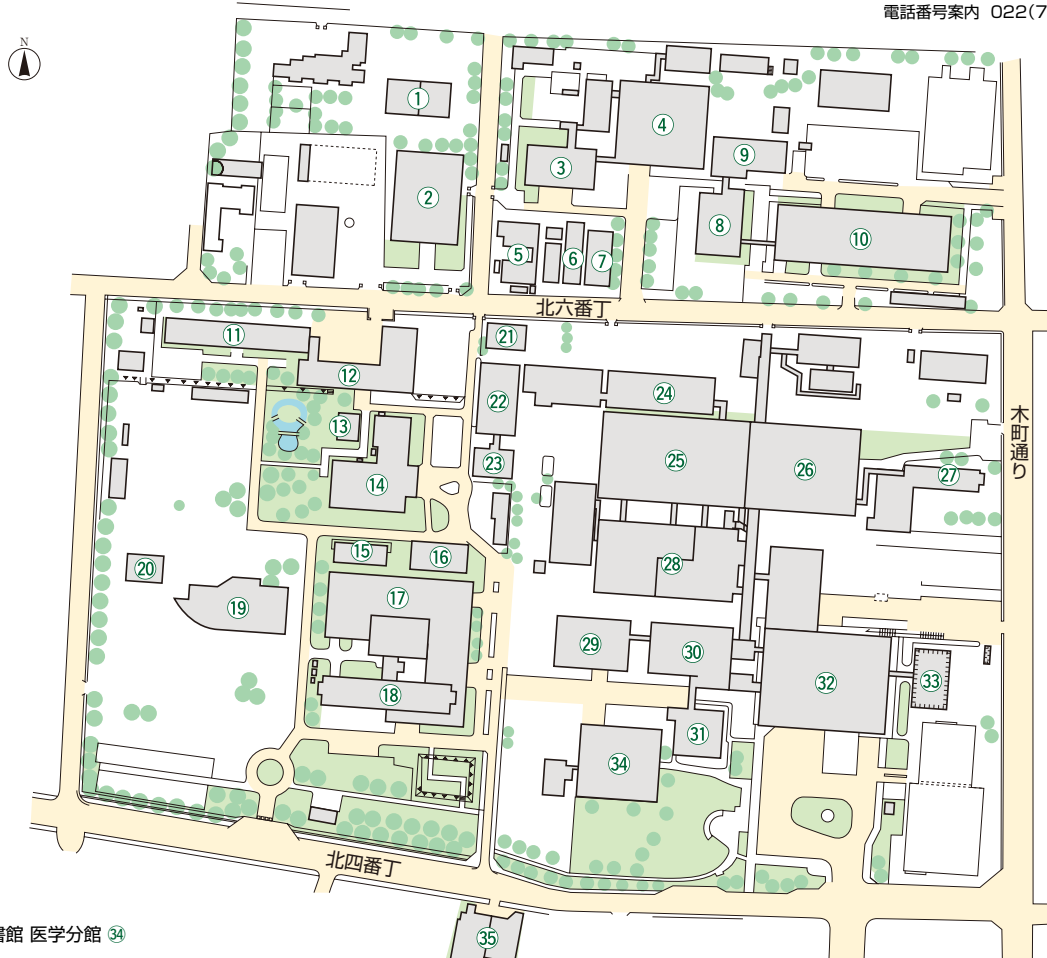
建物配置図

4 星陵キャンパス

●土地:179,214㎡ ●建物:259,767㎡(平成20年7月現在)

医・歯学部、病院

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 附属歯科医療センター 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 電話番号案内 022(717)7000



附属図書館 医学分館 34

病院 事務室(管理棟) 33

- 外来診療棟 32
- 中央診療棟 28
- 総合研究施設棟(仮称) 24
- 西病棟 25
- 東病棟 26
- 新南病棟 27

- 歯学部・歯学研究科 事務室 10
- 附属歯科医療センター 10
- 基礎研究棟 8
- 実習講義棟 9
- 生命科学系研究科 研究室 3 4
- 医工学研究科 研究室 3 15 18 29 30

0 50 100m

医学部・医学系研究科 事務室 18

- 医学部O号館 15
- 1号館 18
- 2号館 29
- 3号館 30
- 4号館 16
- 5号館 19
- 保健学科 11 12
- フロンティア研究棟 13
- バイオメディカル研究棟 20
- プリオン研究実験棟 21
- 動物実験施設 22
- 実習講義棟 17
- 臨床講義棟 31

加齢医学研究所 事務室 4

- 加齢実験研究棟 3
- プロジェクト総合研究棟 4
- ブレインイメージング研究棟 6
- ブレインダイナミクス研究棟 7
- 腫瘍動物実験棟 5

未来医工学治療開発センター 26

- RI星陵サブセンター 23
- 星陵学生サークル棟 1
- 星陵体育館 2
- 厚生施設(星陵会館) 14
- 医学部長陵会館 35



医学部棟

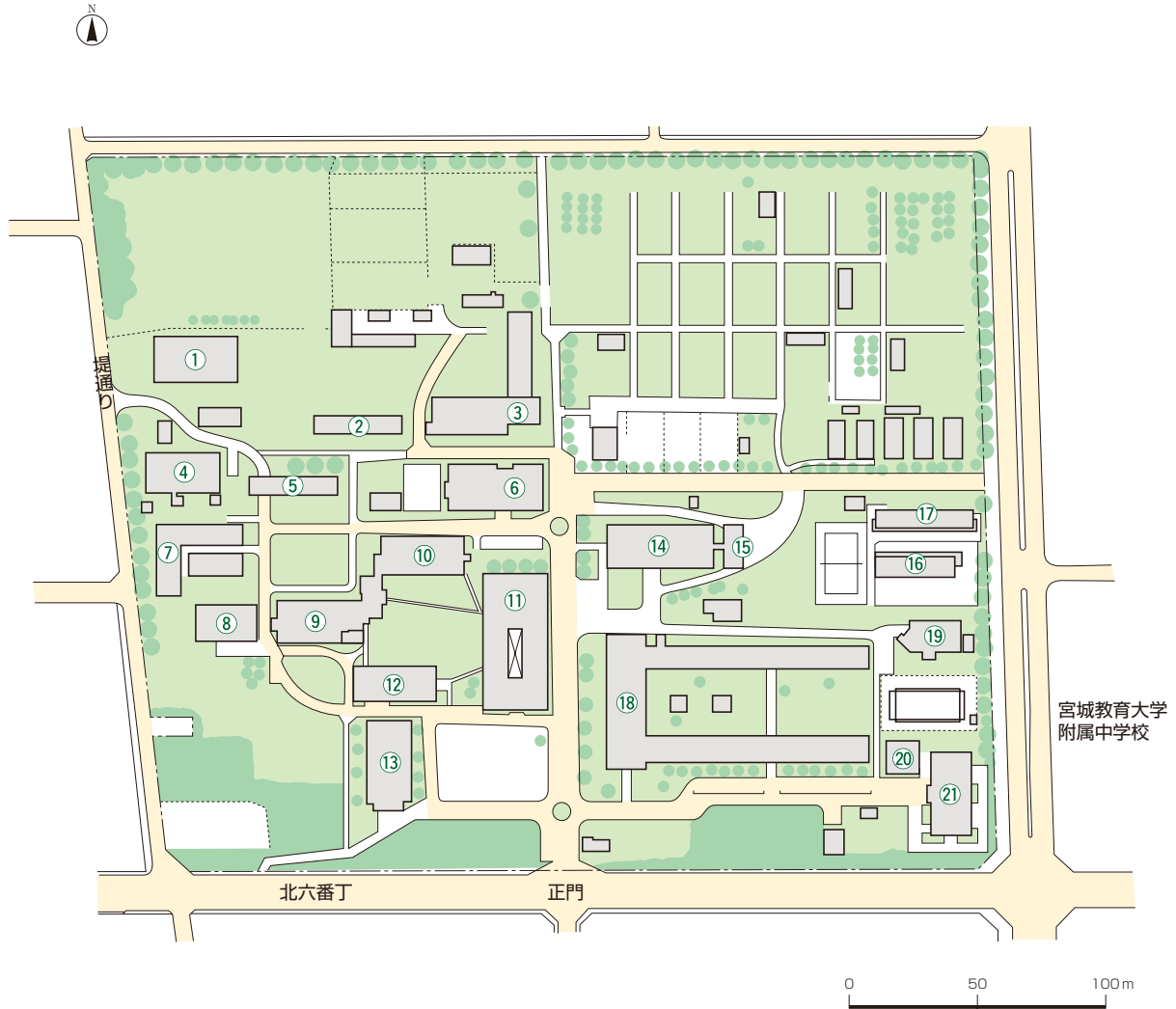
建物配置図

5 雨宮キャンパス

●土地:92,746㎡ ●建物:31,297㎡(平成20年7月現在)

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 電話番号案内 022(717)8604

農学部



附属図書館 農学分館 ⑥

農学研究科 事務室(管理棟) ⑫

農学研究科本館 ⑮

第一研究棟 ⑨

第二研究棟 ⑩

研究実験棟第一 ⑮

研究実験棟第二 ⑰

研究実験棟第三 ⑤

研究実験棟第四 ②

動物飼育実験棟 ③

食品加工実験棟 ④

水産生物飼育実験棟 ⑦

植物環境応答実験施設 ⑳

生命科学研究科 研究室 ⑤ ⑩ ⑮

加齢医学研究所附属ゲノムリサーチセンター ㉑

講義棟 ⑪

講堂 ①

RI実験施設 ⑲

パワーセンター ⑧

旧体育館 ⑬

厚生施設 ⑭

学生談話室 ⑮



雨宮キャンパス 正門

東北大学概要 2008

●
[編集・発行]
平成20年7月

東北大学総務部広報課

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

●
<http://www.tohoku.ac.jp/>

